

# 2007中野区区民意識調査 報告書

2008年（平成20年）3月

中 野 区

## はじめに

中野区では、平成17年3月に新たな基本構想を制定し、豊かな地域社会をつくりあげていくための基本理念とまちの将来像・10年後に実現するまちの姿を明らかにしました。そして、この基本構想に掲げられた将来像「多彩なまちの魅力と支えあう区民の力」を実現するための基本計画である「新しい中野をつくる10か年計画」では、中長期的な目標と戦略を明示しています。

区民のライフスタイルや価値観の多様化に伴い、様々な区民ニーズに的確に対応していくことが行政に求められる時代となっています。区民の意識や行動を行政が把握・分析することは、今後の施策を進める上で重要なことであり、そのような観点から、従来「中野区政世論調査」として行ってきたものを、今年度は、区民の生活に関する実態や意識を様々な観点で捉えることに主眼をおいた調査として行うこととし、これに伴い名称も「中野区区民意識調査」と変更しました。

「定住意向」「生活環境の満足度」「区のイメージ」「環境問題」「区民の買物動向」「交通手段」「施策への要望」などが主な調査項目です。

従来の世論調査では、主として区民の意見や要望を伺うことを目的としていましたが、それに加え今回の調査では、様々な場面での区民の意識や行動について調査を行いました。このことにより、生活している区民の姿が見えてきたのではないかと考えています。

調査結果は、今後の区政運営の貴重な資料として活用していきますが、多くの皆さまに参考としていただければ幸いです。

最後になりましたが、今回の調査の実施にあたり、ご協力いただきました区民並びに関係者の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

2008年（平成20年）3月

中野区長 田中大輔

# ～ 目 次 ～

調査の概要	3
回答者の属性	9
質問と回答	13
結果と分析	31
1 定住意向	31
(1) 居住年数	31
(2) 定住意向	34
2 生活環境の満足度	38
(1) 生活環境の満足度	38
(2) 近所づきあいの程度	42
3 区のイメージ	46
(1) 中野のまちの印象	46
(2) 中野のまちの理想像	48
(3) 知名度・地域イメージの向上策	50
4 現在の生活について	52
(1) 起床・就寝時間<朝起きる時間>	52
(2) 起床・就寝時間<夜寝る時間>	54
(3) 1日の食事回数	56
(4) 1週間の外食回数	57
(4-1) 外食をした場所	60
(5) 家族との食事	63
(6) 自分の自由になる時間の過ごし方	64
(7) 生活の中の充実感	66
(7-1) 充実感を感じる時	68
(8) 日ごろの不安や悩み	70
(8-1) 悩みや不安を感じていること	72
5 区施設の利用状況と職員対応	74
(1) 区の施設の利用状況と窓口の職員の印象	74
(1-1) 改善に取り組むべき点	77
6 環境問題	78
(1) 関心がある環境問題	78

( 2 ) 省エネルギーのための取り組み .....	80
( 2 - 1 ) 省エネルギーのための取り組みをしない理由 .....	82
( 3 ) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるもの .....	83
( 3 - 1 ) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいない理由 .....	85
7 区民の買物動向 .....	86
( 1 ) 最も多く利用する店舗 .....	86
( 1 - 1 ) 購入店舗を選ぶ理由 .....	87
( 2 ) 購入地区 .....	93
8 交通手段 .....	94
( 1 ) 最寄り駅までの交通手段 .....	94
( 2 ) 公共交通機関の利用頻度 .....	96
9 インターネットの利用状況 .....	99
( 1 ) インターネットの利用状況 .....	99
( 1 - 1 ) インターネットの利用目的 .....	101
10 施策への要望 .....	103
( 1 ) 区の施策への評価 .....	103
( 2 ) 区の施策への要望 .....	106
集計表 .....	117

## 調査の概要

# 調査の概要

## 1 調査目的

区民の生活に関する実態や意識を様々な観点でとらえ、客観的に分析することにより、広く行政運営の基礎資料とする。

## 2 調査の内容

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境の満足度
- (3) 区のイメージ
- (4) 現在の生活について
- (5) 区施設の利用状況と職員対応
- (6) 環境問題
- (7) 区民の買物動向
- (8) 交通手段
- (9) インターネットの利用状況
- (10) 施策への要望
- (11) フェイスシート

## 3 調査の設計

- (1) 調査地域 中野区全域
- (2) 調査対象 中野区内に住む満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 1,300人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送配布・調査員による訪問回収
- (6) 調査期間 平成19年11月10日(土)～11月30日(金)
- (7) 調査機関 (株)サーベイリサーチセンター

## 4 回収結果

- (1) 標本数 1,300
- (2) 有効回収数 1,104 (84.9%)
- (3) 回収不能数 196 (15.1%)

(無効票の内訳)

	転居	不在	住所不明	調査拒否	病気・入院・死亡	その他	合計
件数	19件	99件	7件	57件	4件	10件	196件
(%)	(9.7)	(50.5)	(3.6)	(29.1)	(2.0)	(5.1)	(100.0)

( )内の百分比は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(4) 地域センター別調査区域図



地 域	20歳以上の人口	標 本 数	有効回収数	有効回収率
南 中 野	25,952	130	93	71.5%
弥 生・東 部	43,107	210	178	84.8%
鍋 横・桃 園	31,412	160	124	77.5%
昭 和・東中野	20,273	100	88	88.0%
上高田・新 井	26,256	130	114	87.7%
江古田・沼 袋	33,904	180	153	85.0%
野 方・大 和	35,487	180	163	90.6%
鷺 宮・上鷺宮	41,734	210	191	91.0%
計	258,125	1,300	1,104	84.9%

20歳以上の人口は平成19年11月1日現在

(5) 地域センター担当区域一覧

地 域	担 当 町 丁
南 中 野	南台1～5丁目、弥生町1～2丁目の一部、弥生町3～6丁目
弥 生・東 部	弥生町1～2丁目の一部、本町1～3丁目、本町4丁目の一部、中央1～2丁目、中央3丁目の一部、東中野1～2丁目、東中野4丁目の一部、中野1丁目の一部
鍋 横・桃 園	本町4丁目の一部、本町5～6丁目、中央3丁目の一部、中央4～5丁目、中野1丁目の一部、中野2～3丁目、中野4～5丁目の一部
昭 和・東中野	東中野3・5丁目、東中野4丁目の一部、中野5丁目の一部、中野6丁目、上高田1～2丁目の一部、新井1丁目の一部
上高田・新 井	上高田1～2丁目の一部、上高田3～5丁目、中野4～5丁目の一部、新井1～3丁目の一部、新井4～5丁目
江古田・沼 袋	松が丘1～2丁目、江原町1～3丁目、江古田1～4丁目、沼袋1～4丁目
野 方・大 和	中野4丁目の一部、新井2～3丁目の一部、丸山1丁目、丸山2丁目の一部、野方1～4丁目、野方5～6丁目の一部、大和町1～3丁目、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目の一部
鷺 宮・上鷺宮	丸山2丁目の一部、野方5～6丁目の一部、大和町4丁目の一部、若宮1～2丁目の一部、若宮3丁目、白鷺1～3丁目、鷺宮1～6丁目、上鷺宮1～5丁目

## 5 報告書の見方

- ( 1 ) 集計は、小数点第 2 位を四捨五入して算出した。したがって、百分比の合計が 100%に満たない、または上回る場合がある。
- ( 2 ) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると 100%を超えることがある。
- ( 3 ) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- ( 4 ) 集計は、すべて単純集計、必要に応じて属性別クロス集計を行った。また、分析の必要に応じて設問間クロス集計を行った。
- ( 5 ) 分析軸に使用した属性項目は、無回答を除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。また、設問間クロス集計についても、視点の明確化を図るため、必要選択肢にのみしぼって使用している場合があるため同様となっている。
- ( 6 ) この調査の標本誤差は、おおよそ下表のとおりである。標本誤差は、次式によって得られ、比率算出の基数 ( n ) および 回答の比率 ( p ) によって誤差幅が異なる。

$$\text{標本誤差} = 2 \sqrt{2 \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{p(1 - p)}{n}}$$

( 2 段抽出 )

N = 母集団数

n = 比率算出の基数 ( 回答者数 )

p = 回答の比率

回答の比率 ( p ) 基数( n )	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,104	± 2.6%	± 3.4%	± 3.9%	± 4.2%	± 4.3%
1,000	± 2.7%	± 3.6%	± 4.1%	± 4.4%	± 4.5%
800	± 3.0%	± 4.0%	± 4.6%	± 4.9%	± 5.0%
600	± 3.5%	± 4.6%	± 5.3%	± 5.7%	± 5.8%
400	± 4.2%	± 5.7%	± 6.5%	± 6.9%	± 7.1%
200	± 6.0%	± 8.0%	± 9.2%	± 9.8%	± 10.0%
100	± 8.5%	± 11.3%	± 13.0%	± 13.9%	± 14.1%

( 注 ) 1 . 表は  $\frac{N - n}{N - 1} = 1$  として算出した。

2 . この表の見方は次のとおりである。

「ある設問の回答者が 1,104 人であり、その設問中の選択肢の回答比率が 70%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 3.9%である。」とみることができる。



## **回答者の属性**

# 回答者の属性

図1 性・年代別

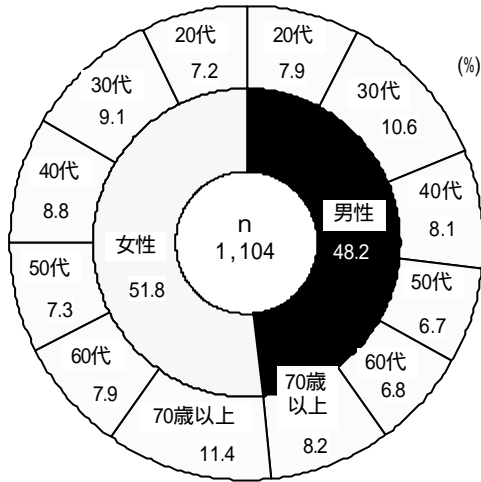


図2 年代別

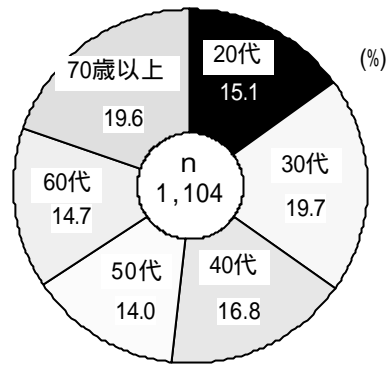


図3 母集団との比較 - 性・年代別 -

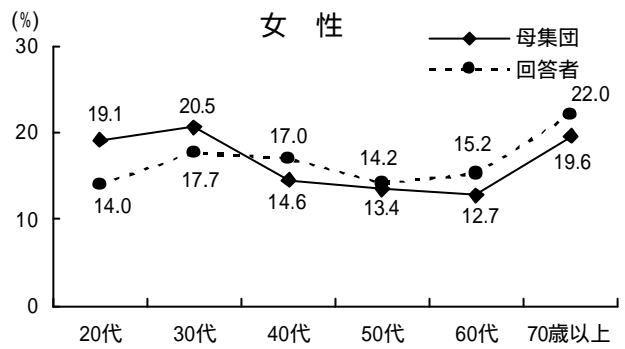
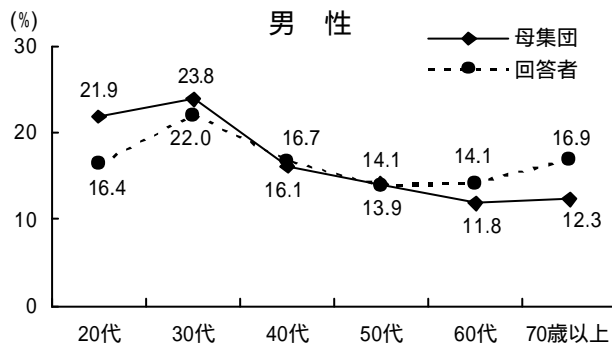


図4 職業

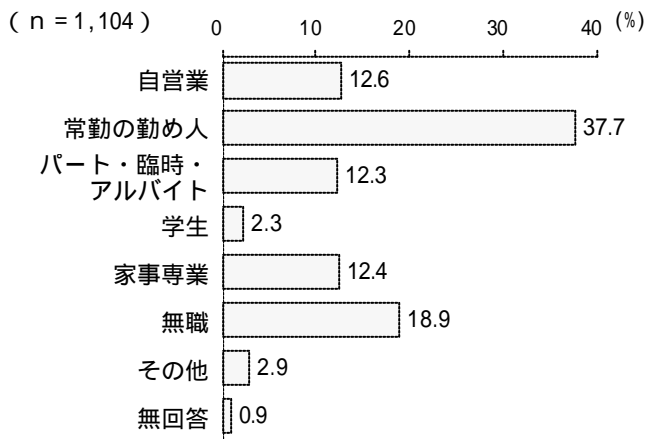


図5 通勤・通学先

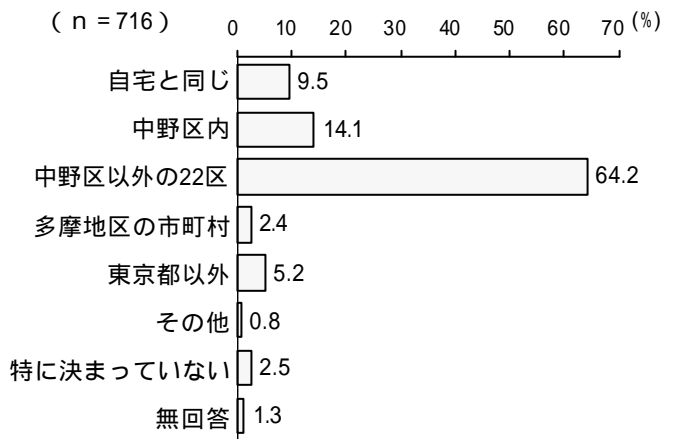


図6 家族形態

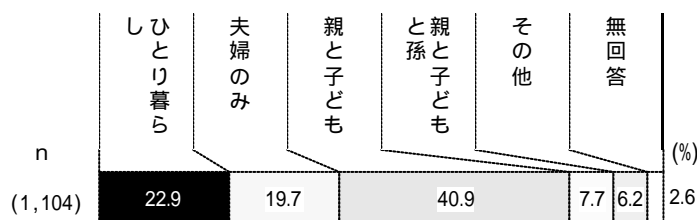


図7 居住形態

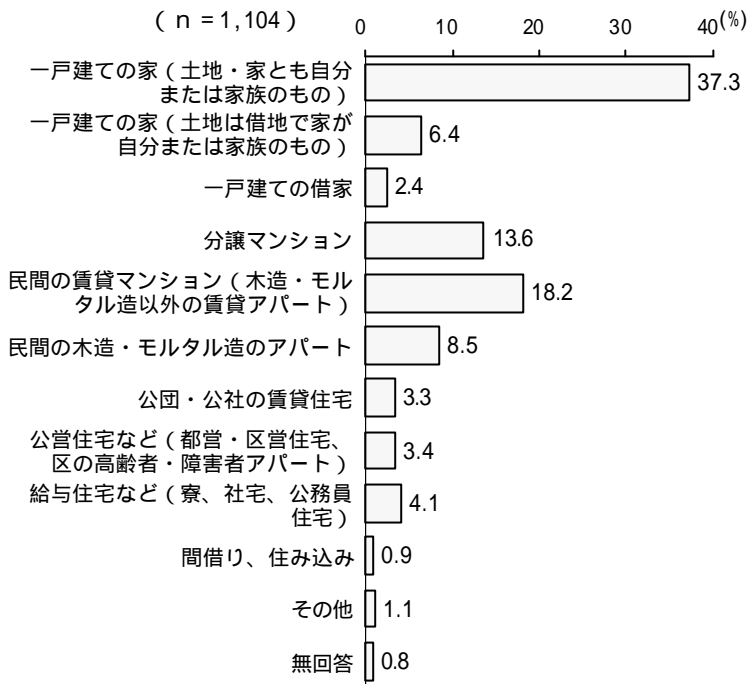


図8 ライフステージ

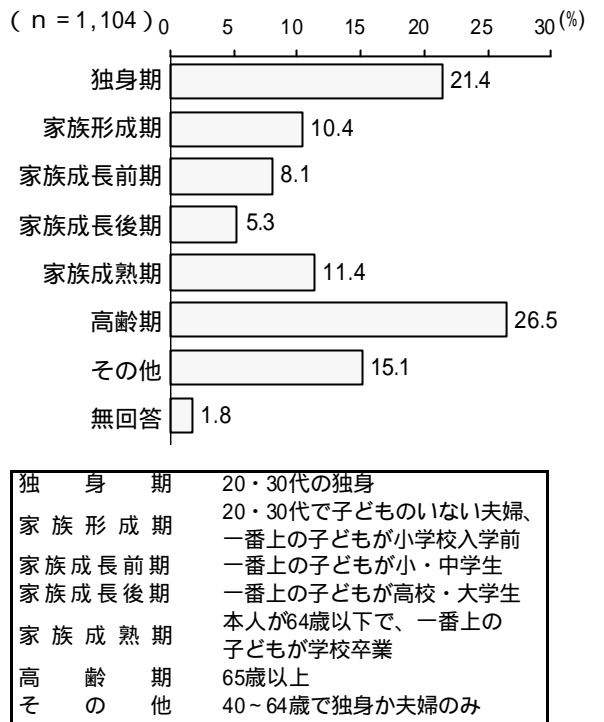


図9 居住年数

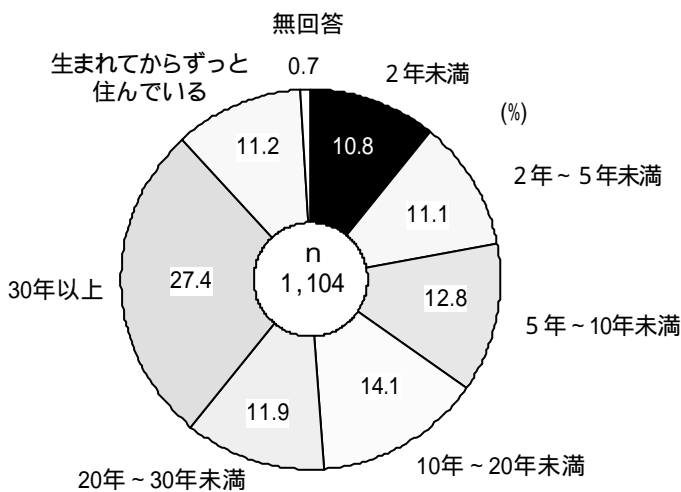


図10 地域別

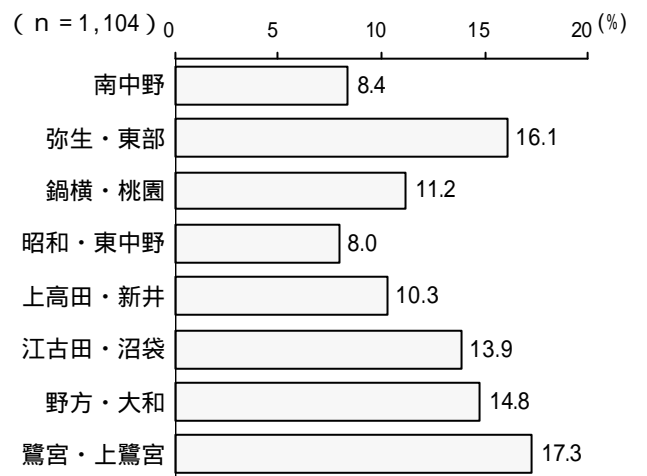


表1 昨年1年間の世帯年収

	n	200万円未満	200～300万円未満	300～400万円未満	400～500万円未満	500～700万円未満	700～900万円未満	900～1,100万円未満	1,100～1,300万円未満	1,300～1,500万円未満	1,500～2,000万円未満	2,000万円以上	わからない	無回答
全体	1,104	10.7	12.8	14.3	9.4	12.1	7.9	6.5	3.5	1.6	2.7	1.6	13.0	3.8

## 質問と回答

# 質問と回答

地区番号：

## 2007中野区区民意識調査

皆様におかれましては、日ごろから区政の運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび中野区では、区民の皆様のお考えや、日常生活実態などをお伺いし、今後の区政推進の基礎資料とすることを目的に、「中野区区民意識調査」を行うことといたしました。

今回の調査は、区内にお住まいの20歳以上の区民の皆様1,300人を対象に、「生活環境の満足度」「定住意向」「施策への要望」などについて実施します。

また、今回、あなた様にこの調査票をお送りしたのは、中野区民の中から統計的手法によって無作為に選ばせていただいた結果です。調査は無記名でお願いし、お答えいただいた内容は統計的数値としてまとめますので、個人のお名前や回答内容が外部に漏れるなど、ご迷惑をおかけすることはありません。お忙しいところ恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査の実施につきましては、世論調査の専門機関である「株式会社サーベイリサーチセンター」に委託しております。調査内容や回収方法について、ご不明の点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

平成 19 年 11 月

中野区政策室区民の声担当

### ご記入にあたってのお願い

調査票は、あて名のご本人がご記入ください。

濃いえんぴつ、ボールペンまたは万年筆でご記入ください。

お答えは、あてはまる回答の番号に を付けてください。なお、複数回答もございしますので、 は( )の中に指定した個数まで付けてください。

お答えの中で「その他」を選んだときは、その内容をできるだけ具体的に( )の中にご記入ください。

ご記入後、本調査票は、お手元で保管してください。

**11月14日～30日までに、調査員が調査票をいただきにまいります**ので、その際にお渡しくださいますようお願いいたします。なお、郵送による回答をご希望の方は、返信用封筒(中野区役所担当宛)をお届けしますので、株式会社サーベイリサーチセンターまでご連絡ください。

### < 問い合わせ先 >

調査内容については： 中野区政策室区民の声担当  
〒164 - 8501 中野区中野四丁目8番1号  
電話 03 - 3228 - 8988 (直通)

回収については： 委託先：株式会社サーベイリサーチセンター  
〒116 - 8581 東京都荒川区西日暮里2 - 40 - 10  
電話 0120 - 396 - 740 (フリーダイヤル)  
(受付時間 月～金曜日 9:00～17:00)

### 「地区番号」について

調査票右上の番号は、お住まいの地域に該当する01～15の番号です。統計的数値として処理し、個人を特定するものではありませんので、ご理解ください。

## 1 定住意向

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに ) n = 1,104

1	2年未満	10.8	5	20年～30年未満	11.9
2	2年～5年未満	11.1	6	30年以上	27.4
3	5年～10年未満	12.8	7	生まれてからずっと住んでいる	11.2
4	10年～20年未満	14.1		無回答	0.7

問2 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに ) n = 1,104

1	ずっと住み続けるつもり	35.7	3	いずれ転出するつもり	8.8
2	今のところは住み続けるつもり	42.4	4	近いうち転出するつもり	1.3
			5	わからない	11.0
				無回答	0.9

## 2 生活環境の満足度

問3 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。項目ごとにお答えください。  
(それぞれ1つずつ )  
n = 1,104

	良い	どちらかといえは良い	どちらかといえは悪い	悪い	無回答
(ア)交通の便	62.0	29.2	6.6	1.6	0.6
(イ)買い物の便	44.8	38.0	12.8	3.3	1.2
(ウ)みどりの豊かさ	12.3	35.9	35.1	14.3	2.4
(エ)公園や広場	13.0	32.8	37.2	14.7	2.3
(オ)近所付き合い	11.5	48.6	29.1	8.6	2.2
(カ)交通の安全性	13.7	47.5	28.9	8.2	1.8
(キ)災害時の安全性	5.9	39.9	35.2	14.9	4.1
(ク)風紀や治安	10.8	58.8	23.2	4.6	2.6
(ケ)景観や街並み	7.5	47.9	33.8	8.1	2.7
(コ)騒音や大気汚染	6.9	41.7	34.9	14.0	2.5
(サ)ごみ出しやリサイクル	15.1	59.2	18.8	4.7	2.2
(シ)全体としての住みやすさ	20.7	66.3	10.1	1.2	1.7

問4 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに ) n = 1,104

1	家族ぐるみで親しくしている	7.9	4	会えばあいさつをする	53.4
2	困った時に協力している	6.4	5	ほとんど付き合いはない	15.0
3	ときどき世間話をする	15.7	6	その他(具体的に )	0.5
				無回答	1.1

### 3 区イメージ

問5 中野のまちについて、あなたの印象に近いものを、次の中から選んでください。(2つ以内に )  
n = 1,104

1 通勤や通学に便利	60.0	10 活気があってにぎやか	5.2
2 買い物に便利	38.7	11 文化・スポーツ施設が充実している	2.7
3 静かな住宅地が多い	20.2	12 福祉施設や医療機関が整っている	4.4
4 花やみどりが多い	1.7	13 犯罪が少なく安心	7.2
5 まちの景観が良い	0.9	14 防災対策が整っている	0.4
6 公園や遊び場が多い	2.1	15 独自の若者文化がある	6.3
7 教育や文化の水準が高い	1.6	16 その他(具体的に )	2.4
8 子育てがしやすい	0.9	17 特に思いあたらない	6.3
9 近所づきあいなど人間関係が良い	5.8	無回答	1.3

問6 あなたは、中野のまちが将来どのようなまちになれば良いと思いますか。(2つ以内に )  
n = 1,104

1 通勤や通学に便利なまち	9.4	10 活気があってにぎやかなまち	7.7
2 買い物に便利なまち	14.0	11 文化・スポーツ施設が充実しているまち	9.2
3 静かな住宅地が多いまち	8.4	12 福祉施設や医療機関が整っているまち	27.0
4 花やみどりが多いまち	19.0	13 犯罪が少なく安心なまち	31.3
5 景観の良いまち	7.5	14 防災対策が整っているまち	14.2
6 公園や遊び場が多いまち	7.3	15 若者にとって魅力のあるまち	4.1
7 教育や文化の水準が高いまち	7.6	16 その他(具体的に )	1.6
8 子育てがしやすいまち	9.0	17 特に思いあたらない	2.2
9 近所づきあいなど人間関係が良いまち	4.7	無回答	1.1

問7 中野区の知名度や地域イメージを向上させるために効果があると思われることは何ですか。  
(いくつでも )  
n = 1,104

1 中野区の魅力を伝える中野区の情報誌・マップの作成	40.3
2 新聞・雑誌・テレビなどによる中野区に関する報道	32.0
3 中野区の特徴を生かした音楽・演劇などの文化事業の開催	25.2
4 区内の企業などと連携したPR活動	19.3
5 インターネットを利用した情報提供やイメージアップ戦略	23.3
6 その他(具体的に )	6.5
7 特にない	10.6
無回答	4.1

#### 4 現在の生活について

問8 あなたのふだんの朝起きる時間、夜寝る時間について伺います。項目ごとにお答えください。  
(1つずつ)

##### <朝起きる時間>

n = 1,104

1	午前3時台	0.5	6	午前8時台	9.7
2	午前4時台	2.4	7	午前9時台	3.0
3	午前5時台	13.0	8	上記以外の時間帯	2.6
4	午前6時台	36.2	9	決まっていない	5.6
5	午前7時台	26.8		無回答	0.1

##### <夜寝る時間>

n = 1,104

1	午後6時台	0.1	6	午後11時台	28.4
2	午後7時台	0.2	7	午前0時台	23.1
3	午後8時台	0.8	8	午前1時台	14.8
4	午後9時台	5.5	9	上記以外の時間帯	6.5
5	午後10時台	14.1	10	決まっていない	6.4
				無回答	0.1

問9 あなたは1日に、何回食事をしますか。(1つに)

n = 1,104

1	3回	75.8	4	4回以上	0.8	7	その他(具体的に)	-
2	2回	18.1	5	決まっていない	4.3		無回答	0.3
3	1回	0.5	6	食べない	0.1			

問10 あなたは最近1週間のうち、何回くらい外食をしましたか。朝食、昼食、夕食ごとにお答えください。(1つずつ)

n = 1,104

	0回	1~2回	3~4回	5回以上	食べない	無回答
(ア)朝食	65.9	6.4	2.5	3.0	9.5	12.6
(イ)昼食	29.7	25.9	10.1	24.7	3.9	5.7
(ウ)夕食	35.1	34.0	9.3	9.5	4.4	7.7

【問10で「2」~「4」に1つでもをした方に伺います】

問10-1 最近1週間のうち、外食をした場所はどこですか。(いくつでも)

n = 819

1	自宅の近く	31.1	7	池袋	4.8
2	中野区内	32.6	8	六本木・赤坂	4.6
3	高円寺・阿佐ヶ谷	8.3	9	銀座・丸の内	9.3
4	吉祥寺	3.9	10	前記以外の職場の近く	25.2
5	新宿	31.9	11	その他(具体的に)	12.3
6	渋谷	6.1		無回答	1.3



問11 あなたは最近1週間のうち、何日くらい家族と食事をしましたか。(1つに ) n = 1,104

1 毎日	42.1	4 週1～2日	13.0
2 週5～6日	9.6	5 一緒に食事をしなかった	13.1
3 週3～4日	10.0	6 その他(具体的に )	9.0
		無回答	3.3

問12 あなたは、現在、どのようなことをして自分の自由になる時間を過ごしていますか。

(いくつでも )

n = 1,104

1 ラジオを聞いたり、テレビを見たりする	64.4	7 趣味を楽しむ	41.4
2 新聞・雑誌などを読んだりする	41.8	8 知識を吸収する	13.8
3 パソコンや携帯電話などを利用して情報等の閲覧やメールのやり取りなどをする	31.8	9 旅行に行く	16.8
4 のんびり休養する	32.2	10 ショッピングに行く	31.1
5 運動やスポーツなど体を動かす	24.1	11 家族との団らんを楽しむ	23.1
6 地域活動や社会活動をする	3.8	12 知人・友人と過ごす	34.1
		13 その他(具体的に )	2.4
		14 わからない	0.6
		無回答	0.5

問13 あなたは、日ごろの生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。(1つに ) n = 1,104

1 十分充実感を感じている	13.9	4 ほとんど(全く)充実感を感じていない	4.4
2 まあ充実感を感じている	50.6	5 どちらともいえない	12.0
3 あまり充実感を感じていない	11.7	6 わからない	5.7
		無回答	1.6

【問13で「1」～「3」、「5」に をした方に伺います】

問13-1 日ごろの生活の中で、充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。(いくつでも )

n = 974

1 仕事にうちこんでいる時	35.5	6 友人や知人と会合、雑談している時	32.0
2 勉強や教養などに身を入れている時	16.9	7 社会奉仕や社会活動をしている時	5.5
3 趣味やスポーツに熱中している時	43.6	8 その他(具体的に )	2.8
4 ゆったりと休養している時	27.7	9 わからない	2.1
5 家族団らんの時	29.9	無回答	5.1

問14 あなたは、日ごろの生活の中で、悩みや不安を感じていますか、それとも悩みや不安を感じていませんか。(1つに ) n = 1,104

1	悩みや不安を感じている	64.1	3	わからない	9.9
2	悩みや不安を感じていない	24.4		無回答	1.6

【問14で「1 悩みや不安を感じている」に をした方に伺います】

問14 - 1 悩みや不安を感じているのは、どのようなことについてですか。(いくつでも )

n = 708

1	自分の健康について	57.1	7	老後の生活設計について	46.8
2	家族の健康について	43.5	8	家族・親族間の人間関係について	11.9
3	自分の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について	25.3	9	近隣・地域との関係について	3.4
4	家族の生活(進学、就職、結婚など)上の問題について	21.0	10	勤務先での仕事や人間関係について	15.8
5	現在の収入や資産について	29.0	11	事業や家業の経営上の問題について	7.2
6	今後の収入や資産の見通しについて	46.6	12	その他(具体的に)	3.5
			13	わからない	0.1
				無回答	0.3

## 5 区施設の利用状況と職員対応

問15 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用または電話をしたことがあるものはどれですか。(いくつでも ) n = 1,104

1	区役所	51.3	14	社会福祉会館(なかの芸能小劇場を含む)	2.0
2	地域センター	35.6			
3	図書館	23.6	15	勤労者福祉会館	2.4
4	区立保育園	1.6	16	男女共同参画センター	0.5
5	区立幼稚園	0.6	17	消費者センター(環境リサイクルプラザ)	1.5
6	区立小学校	7.1			
7	区立中学校	2.8	18	商工会館	1.6
8	保健所	8.2	19	なかのZERO	13.6
9	保健福祉センター	4.0	20	野方区民ホール	2.7
10	高齢者会館	3.0	21	清掃事務所	6.0
11	地域包括支援センター	2.5	22	公園・運動施設	15.1
12	高齢者福祉センター	2.0	23	体育館	5.1
13	障害者福祉会館	1.3	24	その他(具体的に )	2.3
			25	特になし	15.9
				無回答	10.0

問16 上記のこの1年間で利用または電話をしたことのある区の施設のうち、窓口や職員の印象が最も良かった施設はどこですか。問15の「1」～「25」の番号を記入してください。 n = 819

1	区役所	20.1	14	社会福祉会館（なかの芸能小劇場を含む）	
2	地域センター	15.1			0.1
3	図書館	10.9	15	勤労者福祉会館	0.4
4	区立保育園	1.1	16	男女共同参画センター	-
5	区立幼稚園	0.4	17	消費者センター(環境リサイクルプラザ)	0.4
6	区立小学校	1.1			
7	区立中学校	1.3	18	商工会館	-
8	保健所	2.0	19	なかのZERO	1.8
9	保健福祉センター	1.1	20	野方区民ホール	-
10	高齢者会館	0.4	21	清掃事務所	2.3
11	地域包括支援センター	1.6	22	公園・運動施設	1.0
12	高齢者福祉センター	0.6	23	体育館	2.2
13	障害者福祉会館	0.6	24	その他（具体的に	1.2
			25	特にな	6.8
				無回答	27.5

問17 上記のこの1年間で利用または電話をしたことのある区の施設のうち、窓口や職員の印象が最も悪かった施設はどこですか。問15の「1」～「25」の番号を記入してください。 n = 819

1	区役所	13.2	14	社会福祉会館（なかの芸能小劇場を含む）	
2	地域センター	5.3			-
3	図書館	1.1	15	勤労者福祉会館	0.2
4	区立保育園	0.1	16	男女共同参画センター	-
5	区立幼稚園	-	17	消費者センター(環境リサイクルプラザ)	-
6	区立小学校	0.2			
7	区立中学校	-	18	商工会館	0.1
8	保健所	1.2	19	なかのZERO	-
9	保健福祉センター	0.2	20	野方区民ホール	0.2
10	高齢者会館	-	21	清掃事務所	1.0
11	地域包括支援センター	0.2	22	公園・運動施設	1.0
12	高齢者福祉センター	0.1	23	体育館	0.4
13	障害者福祉会館	-	24	その他（具体的に	1.0
			25	特にな	17.1
				無回答	57.3

問16と問17のnは問15の「1」～「24」に回答した人数

【問17で「1」～「24」の番号を記入した方に伺います】

問17-1 問17でお答えいただいた印象が悪かった施設の窓口で、今後改善に取り組むべき点は何ですか。(いくつでも) n = 210

1	職員の窓口などでのあいさつ	22.4	7	職員の電話での対応	31.4
2	職員の身だしなみ	9.0	8	意見・要望・苦情などに対する対応	26.2
3	職員からの声かけ	13.8	9	窓口の整理整頓	3.8
4	職員の窓口などでの説明	31.0	10	申請や届出などの手続きの簡略化	17.1
5	仕事・サービスの迅速さ	25.2	11	その他(具体的に)	12.4
6	仕事・サービスの的確さ	15.7		無回答	6.2

## 6 環境問題

問18 さまざまな環境問題が指摘されていますが、次の中であなたが関心のあるものをあげてください。(いくつでも)

n = 1,104

1	地球の温暖化	81.9	5	酸性雨	21.4	9	騒音・振動	28.5
2	地球の砂漠化	24.1	6	大気汚染	47.7	10	住宅地の緑の減少	35.9
3	オゾン層の破壊	37.0	7	海洋汚染	23.7	11	その他(具体的に)	1.8
4	熱帯雨林の減少	23.6	8	河川の汚れ	23.5	12	特にない	4.0
							無回答	2.4

問19 あなたの家庭では、地球温暖化防止につながる省エネルギーのため、どのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

n = 1,104

1	こまめに照明を消す	68.5	6	風呂の水を洗濯などに利用する	31.9
2	テレビなどは主電源を消す	29.5	7	車をなるべく使わず、自転車や公共交通機関を利用する	35.4
3	冷暖房の設定温度を控えめにする	60.9	8	その他(具体的に)	3.0
4	電化製品の買い替え時には、省エネルギー効果の高いものを選ぶ	35.7	9	特に取り組んでいることはない	4.5
5	シャワーを流しっぱなしにしない	44.6		無回答	0.9

【問19で「9 特に取り組んでいることはない」にをした方に伺います】

問19-1 あなたが、省エネルギーのための取り組みをしていない理由は何ですか。(いくつでも)

n = 50

1	関心がないから	18.0	4	温暖化防止に効果があると思わないから	16.0
2	大した問題だと思わないから	8.0			
3	手間がかかり、面倒だから	36.0	5	その他(具体的に)	16.0
				無回答	10.0

問20 あなたが家庭生活の中で、ごみを減らすための実践やリサイクルに取り組んでいるものは何ですか。 (いくつでも ) n = 1,104

1	買い物に行くときは、専用のバッグ(マイバッグ)を持っていく	42.1
2	詰め替え商品やリサイクル品を選んでいる	51.1
3	過剰な包装は断っている	44.6
4	必要なもの以外は買わないようにするため、買うものを決めてから出かける	37.7
5	生ごみは、よく水切りをしてから出している	41.0
6	フリーマーケットでの出店や購入など、よく利用する	5.6
7	ペットボトルは回収ボックスに出している	53.9
8	食品トレイや牛乳パックはスーパーなどの店頭回収に出している	31.1
9	新聞・雑誌等は古紙回収に出している	68.8
10	びん・缶は分別し、指定の日時に出している	78.4
11	その他(具体的に )	1.9
12	特に取り組んでいることはない	3.3
	無回答	0.5

【問20で「12 特に取り組んでいることはない」に をした方に伺います】

問20 - 1 あなたが、ごみを減らすための実践やリサイクルに取り組んでいない理由は何ですか。  
(いくつでも ) n = 36

1	関心がないから	30.6	4	分別方法がよくわからないから	11.1
2	忙しくて、暇がないから	16.7	5	回収日がよくわからないから	8.3
3	大した問題だと思わないから	8.3	6	その他(具体的に )	19.4
				無回答	11.1

## 7 区民の買物動向

問21 次の(ア)～(ケ)の商品はどこで買うことが最も多いですか。あなたやあなたのご家庭で、最も多く利用している店舗についてお答えください。(それぞれ1つずつ) n=1,104

	小売店・専門店	ストア コンビニエンス	スーパーマー ケット・量販店	百貨店	デパート・	ディスカウ ント	通信販売・宅配	買わない	わからない	無回答
(ア) 生鮮食料品(肉・魚・野菜など)	12.2	2.2	72.6	2.5	0.5	3.2	3.9	1.5	1.4	
(イ) 一般食料品(乾物・酒・調味料など)	6.1	4.8	74.2	0.7	4.5	4.1	2.0	1.4	2.2	
(ウ) 米などの主食	14.9	2.2	53.4	1.1	2.4	12.7	9.5	1.7	2.3	
(エ) 雑貨品(洗剤・ティッシュペーパーなど)	19.9	3.2	51.8	0.4	16.0	3.4	1.3	1.8	2.2	
(オ) 日用衣料品(普段着、肌着など)	28.4	1.0	25.0	26.5	6.0	6.2	1.6	2.5	2.8	
(カ) 外出着(スーツ・ブラウスなど)	28.4	-	4.3	49.6	2.3	3.3	6.3	2.4	3.4	
(キ) 通学・通勤用品(靴・バッグなど)	30.9	-	6.3	38.5	4.7	2.4	6.2	3.0	8.2	
(ク) CD・書籍類	64.7	1.4	3.4	5.4	3.3	6.0	8.0	2.4	5.3	
(ケ) 家具や家電など	43.0	-	22.0	4.4	15.8	3.6	5.3	2.4	3.5	

【問21で「1」～「6」に1つでもをした方に伺います】

問21-1 あなたが(ア)～(ケ)の商品を買う店を選ぶ理由について伺います。

(それぞれいくつでも)

n=1,029

	応対が親切	ポイント サービスがある	ポイント 使える	クレジ ットカ ードが	営業時 間なが い	配達サ ービス がある	種類 や数が 豊富	値段が 安い	新製品 ・流行 品があ る/商品 が新鮮	品質(ブ ランド、 安心・安 全)	近い・ 便利	店内が 明るく 清潔	売り場 が広々 として いる	無回答
(ア) 生鮮食料品	9.2	23.1	4.1	19.3	4.1	32.2	37.3	11.3	16.0	43.1	11.3	6.6	2.8	
(イ) 一般食料品	5.6	22.6	3.5	19.6	6.0	31.5	38.5	6.2	11.4	43.0	9.4	6.0	3.0	
(ウ) 米などの主食	8.4	16.5	1.9	11.6	16.1	14.1	28.4	4.0	20.4	33.0	5.2	2.8	4.0	
(エ) 雑貨品	5.2	17.2	2.2	12.0	3.2	25.5	47.5	2.7	6.5	31.5	4.7	3.3	5.4	
(オ) 日用衣料品	8.3	11.7	8.3	5.7	2.6	34.4	35.9	9.7	21.7	16.8	5.7	4.5	5.9	
(カ) 外出着	13.3	8.9	13.8	2.7	1.3	38.9	14.9	22.1	42.5	6.8	8.0	7.6	5.0	
(キ) 通学通勤用品	9.2	8.0	11.0	2.7	1.2	36.4	20.5	14.0	32.6	7.9	5.5	4.5	9.9	
(ク) CD・書籍	7.0	13.2	4.1	6.6	3.1	54.4	11.5	10.0	6.1	17.3	5.1	8.5	4.4	
(ケ) 家具・家電	14.4	22.1	11.9	5.0	13.7	40.4	39.1	14.6	17.2	8.6	6.3	11.6	3.9	

問22 次の(ア)～(ケ)の商品は、どこで買うことが最も多いですか。(それぞれ1つずつ)

n = 1,104

	自宅近く	中野区内	阿佐ヶ谷	高円寺・吉祥寺	新宿	渋谷	池袋	銀座・丸の内	職場の近く	左記以外の	通信販売・宅配	その他	買わない	無回答
(ア) 生鮮食料品	54.6	27.1	5.1	0.2	2.4	0.3	0.4	-	0.2	3.3	1.3	3.0	2.4	
(イ) 一般食料品	55.2	28.4	4.2	0.2	1.7	0.3	0.1	-	0.2	3.8	1.4	2.2	2.5	
(ウ) 米などの主食	45.7	22.2	3.1	0.2	1.1	0.2	-	-	0.5	12.0	3.6	7.5	4.1	
(エ) 雑貨品	45.2	31.3	5.8	0.4	5.4	0.5	0.3	0.2	0.5	2.7	2.2	1.5	4.1	
(オ) 日用衣料品	22.9	27.3	4.8	1.4	22.4	1.3	1.5	0.9	0.7	5.4	4.4	1.6	5.3	
(カ) 外出着	4.9	14.5	2.4	1.9	48.1	1.8	3.7	3.1	0.6	3.4	5.8	4.0	5.9	
(キ) 通学通勤用品	7.8	17.5	2.5	1.5	35.4	1.0	2.7	1.7	0.8	2.3	5.2	6.6	14.9	
(ク) CD・書籍	16.2	22.8	4.1	0.8	26.3	2.1	2.7	0.7	1.6	5.2	2.8	5.9	8.8	
(ケ) 家具・家電	10.6	17.5	2.2	0.5	41.1	1.1	1.6	0.3	0.4	3.8	10.0	3.9	7.1	

## 8 交通手段

問23 あなたは通勤・通学を含め最寄りの駅までの交通手段として、ふだん何を利用していますか。

(いくつでも)

n = 1,104

1	バス	23.2	4	オートバイ・バイク	1.9	7	その他(具体的に)	1.0
2	タクシー	5.5	5	自転車	27.4	8	駅を利用しない	2.2
3	自家用車	4.7	6	徒歩のみ	61.5		無回答	2.3

問24 あなたは電車や路線バスなどの公共交通機関をどのくらい利用しますか。(1つに) n = 1,104

1	1週間に5日以上	40.9	5	1か月に1日程度	5.2
2	1週間に3～4日程度	14.5	6	1年に数回	4.8
3	1週間に1～2日程度	17.5	7	まったく利用しない	1.6
4	1か月に2～3日程度	15.0		無回答	0.5

## 9 インターネットの利用状況

問25 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。(いくつでも) n = 1,104

1	パソコンで利用している	54.6	5	PDA(携帯情報端末)で利用している	0.8
2	携帯電話やPHSで利用している	31.4	6	その他(具体的に)	0.3
3	区立施設に設置した区民公開用インターネット端末で利用している	0.6	7	利用していない	33.9
4	ゲーム機で利用している	2.6		無回答	4.4

【問25で「1」～「6」に をした方に伺います】

問25-1 インターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも) n = 681

1	ホームページからの情報収集	83.6	8	有料で提供されている情報の利用	6.8
2	電子メールのやりとり	69.3	9	飛行機や列車、ホテルなどの予約	31.3
3	チャットや掲示板サービス・SNS	14.2	10	金融機関や証券会社などとの取引	16.3
4	インターネットを使った電話サービス (IP電話、テレビ電話など)	8.8	11	ホームページやブログの作成及び公開	10.9
5	書籍や衣類、チケットなど商品の 購入・予約	36.7	12	オンラインゲーム	6.2
6	オークションでの商品の売買	15.7	13	国や地方自治体への電子申請	2.8
7	音楽や映画、写真・動画などの電子 データの購入や鑑賞	22.0	14	地図情報の利用	42.1
			15	その他(具体的に)	3.2
				無回答	2.3



## 10 施策への要望

問26 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を内に記入してください。

また、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を内に1つずつ記入してください。

	力を入れて いると評価 できるもの  n = 1,104	今後特に力をいれてほしいもの			
		第1位	第2位	第3位	総合
		n = 1,104	n = 1,104	n = 1,104	n = 1,104
1 平和	3.5	2.2	1.0	0.9	4.1
2 人権	2.6	0.3	0.8	0.5	1.5
3 情報化（IT）の推進	3.4	1.5	0.6	1.3	3.4
4 防災	13.2	11.1	8.3	6.0	25.5
5 地域・自治活動	12.0	0.9	1.6	0.7	3.3
6 防犯	14.7	12.0	9.8	6.5	28.4
7 産業振興	4.2	2.4	2.6	2.7	7.7
8 消費者支援	0.8	0.5	1.7	2.2	4.4
9 みどり・環境向上	5.9	6.3	6.5	5.9	18.8
10 ごみ対策	31.0	3.3	3.8	5.1	12.1
11 子育て支援	6.3	7.8	2.9	2.5	13.2
12 青少年育成	2.3	0.6	1.6	1.3	3.5
13 男女平等	0.4	-	0.1	-	0.1
14 健康	12.5	4.3	6.3	4.7	15.4
15 公衆衛生	1.4	1.4	2.4	2.5	6.3
16 高齢者福祉	9.0	11.5	8.7	7.2	27.4
17 障害者福祉	4.1	1.2	2.7	2.1	6.0
18 低所得者支援	2.0	3.1	3.0	3.7	9.8
19 道路整備	9.2	3.4	4.1	3.5	11.1
20 公園整備	4.4	2.2	5.5	4.0	11.7
21 住宅対策	0.8	1.5	1.7	2.4	5.7
22 駅前などの重点まちづくり	9.0	2.4	2.5	4.6	9.6
23 学校教育	2.4	2.4	2.3	4.1	8.7
24 文化・スポーツ	5.9	2.7	2.4	3.4	8.4
25 国際化	0.8	0.5	0.5	1.4	2.3
26 その他（具体的に）	0.3	0.6	0.2	0.4	1.2
27 特にない	7.0	0.2	-	-	0.2
28 無回答	31.6	13.6	16.2	20.5	13.6

## 11 フェイスシート

統計的に処理するために、あなた自身とご家族についてお聞きします。

F 1 あなたの性別はどちらですか。 n = 1,104

1 男	48.2	2 女	51.8
-----	------	-----	------

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあてはまりますか。 n = 1,104

1 20～24歳	6.0	4 35～39歳	10.5	7 50～54歳	7.2	10 65～69歳	8.0
2 25～29歳	9.1	5 40～44歳	9.6	8 55～59歳	6.9	11 70歳以上	19.6
3 30～34歳	9.2	6 45～49歳	7.2	9 60～64歳	6.7		

F 3 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(主なもの1つに ) n = 1,104

1 自営業	12.6	5 家事専業	12.4
2 常勤の勤め人	37.7	6 無職	18.9
3 パート・臨時・アルバイト	12.3	7 その他(具体的に )	2.9
4 学生	2.3	無回答	0.9

【F 3で「1」～「4」に をした方に伺います】

F 3 - 1 勤務先または通学先は、どちらですか。(1つに ) n = 716

1 自宅と同じ	9.5	5 東京都以外	5.2
2 中野区内	14.1	6 その他(具体的に )	0.8
3 中野区以外の22区	64.2	7 特に決まっていない	2.5
4 多摩地区の市町村	2.4	無回答	1.3

F 4 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに ) n = 1,104

1 一戸建ての家(土地・家とも自分または家族のもの)	37.3
2 一戸建ての家(土地は借地で家が自分または家族のもの)	6.4
3 一戸建ての借家	2.4
4 分譲マンション	13.6
5 民間の賃貸マンション(木造・モルタル造以外の賃貸アパート)	18.2
6 民間の木造・モルタル造のアパート	8.5
7 公団・公社の賃貸住宅	3.3
8 公営住宅など(都営・区営住宅、区の高齢者アパート・障害者アパート)	3.4
9 給与住宅など(寮、社宅、公務員住宅)	4.1
10 間借り、住み込み	0.9
11 その他(具体的に )	1.1
無回答	0.8

F 5 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。(1つに )

n = 1,104

単身者である	1 20～39歳	21.4
	2 40～64歳	10.0
	3 65歳以上	4.8
配偶者がいて 子どもがいない	4 20～39歳	4.5
	5 40～64歳	5.2
	6 65歳以上	3.1
子どもがいる (同居・別居を 問わない)	7 一番上の子どもが小学校入学前	5.9
	8 一番上の子どもが小学生～中学生	8.1
	9 一番上の子どもが高校生～大学生	5.3
	10 あなたが64歳以下で、一番上の子どもが学校を卒業している	11.4
	11 あなたが65歳以上で、一番上の子どもが学校を卒業している	18.7
	無回答	1.8

F 6 現在、いっしょにお住まいのご家族は、あなたを含め、次のどれにあたりますか。(1つに )

n = 1,104

1 ひとり暮らし	22.9	4 親と子どもと孫(三世代家族)	7.7
2 夫婦のみ	19.7	5 その他(具体的に )	6.2
3 親と子ども(二世世代家族)	40.9	無回答	2.6

F 7 お宅全体の昨年1年間の収入はおよそどのくらいでしたか。(1つに )

n = 1,104

1 200万円未満	10.7	7 900～1,100万円未満	6.5
2 200～300万円未満	12.8	8 1,100～1,300万円未満	3.5
3 300～400万円未満	14.3	9 1,300～1,500万円未満	1.6
4 400～500万円未満	9.4	10 1,500～2,000万円未満	2.7
5 500～700万円未満	12.1	11 2,000万円以上	1.6
6 700～900万円未満	7.9	12 わからない	13.0
		無回答	3.8

## 結果と分析

# 結果と分析

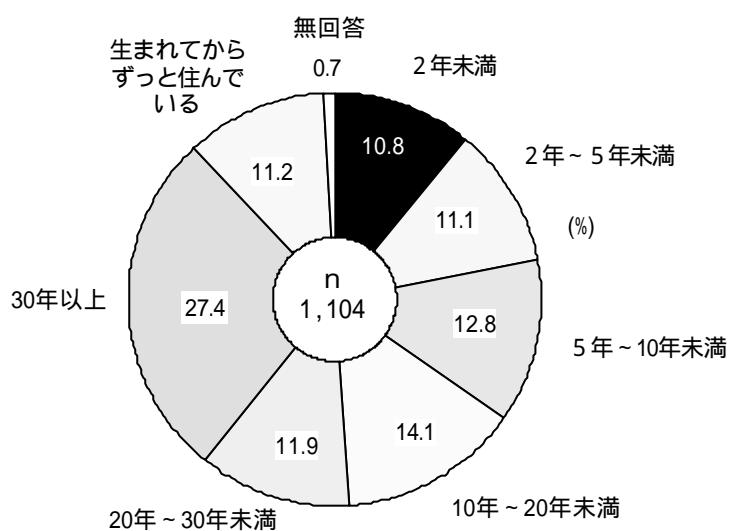
## 1 定住意向

### (1) 居住年数

「30年以上」が3割弱

問1 あなたは、中野区にお住まいになって何年になりますか。(1つに )

図1 - 1 居住年数

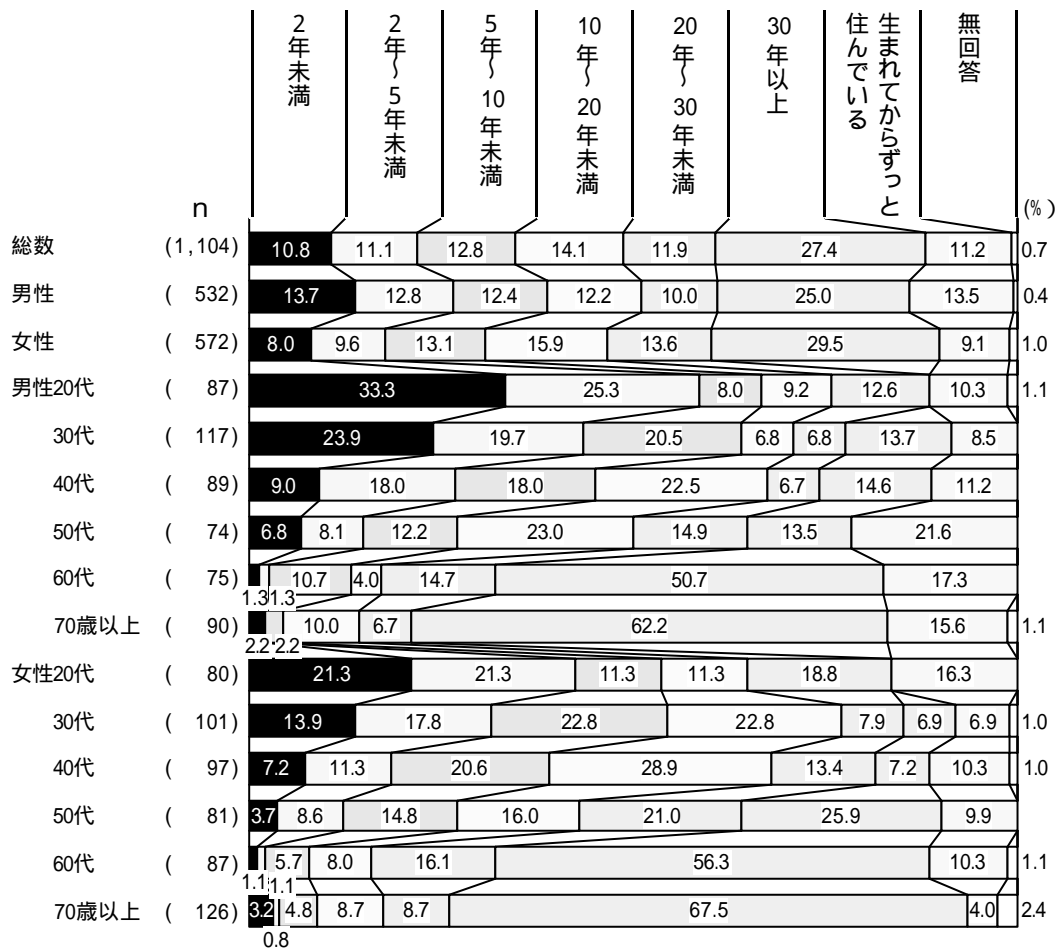


居住年数を聞いたところ、「30年以上」が27.4%で最も高く、「10年～20年未満」が14.1%、「5年～10年未満」が12.8%と続いている(図1 - 1)。

性別でみると、「2年未満」では男性（13.7%）が女性（8.0%）よりもやや高く、「30年以上」では逆に女性（29.5%）が男性（25.0%）よりもやや高い。

性・年代別でみると、男女とも30代までは10年未満が50%以上を占めている。40代以降は10年以上が多数となり、男女とも60代以上では「30年以上」が半数以上となっている（図1 - 2）。

図1 - 2 居住年数 性別、性・年代別



地域別でみると、昭和・東中野は「2年未満」(17.0%)が8地域で最も高く、10年未満の累計でも44.3%と最も高い。一方、南中野は10年未満の累計が25.8%と最も低く、「30年以上」が37.6%と特に高くなっている(図1-3)。

図1-3 居住年数 地域別

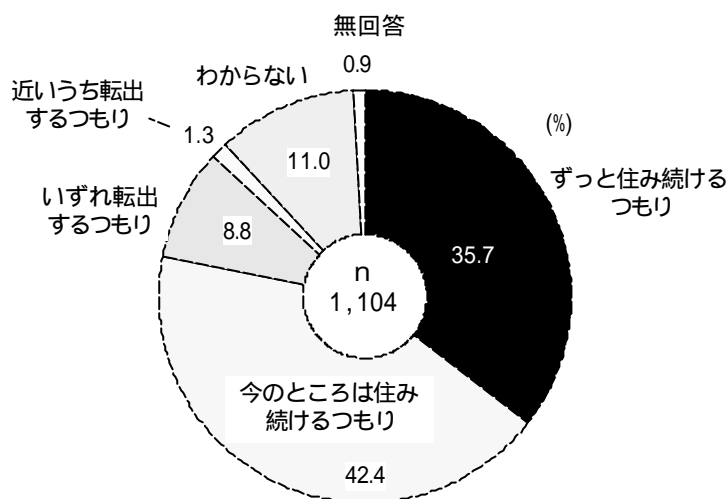
	n	2年未満	2年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	生まれてからずっと住んでいる	無回答	(%)
総数	(1,104)	10.8	11.1	12.8	14.1	11.9	27.4	11.2	0.7	
南中野	(93)	7.5	7.5	10.8	9.7	7.5	37.6	18.3	1.1	
弥生・東部	(178)	10.1	11.2	14.6	12.4	12.4	28.1	10.7	0.6	
鍋横・桃園	(124)	11.3	9.7	13.7	21.8	10.5	19.4	13.7		
昭和・東中野	(88)	17.0	9.1	18.2	10.2	9.1	27.3	6.8	2.3	
上高田・新井	(114)	7.9	14.9	14.9	17.5	12.3	21.9	10.5		
江古田・沼袋	(153)	12.4	9.2	13.7	13.7	13.7	28.1	8.5	0.7	
野方・大和	(163)	11.7	13.5	8.6	12.3	13.5	28.8	11.0	0.6	
鷺宮・上鷺宮	(191)	9.4	12.0	10.5	14.7	12.6	28.3	11.5	1.0	

## (2) 定住意向

『定住派』(「ずっと住み続けるつもり」+「今のところは住み続けるつもり」)が8割弱

問2 これからも引き続いて中野区にお住まいになりますか。(1つに )

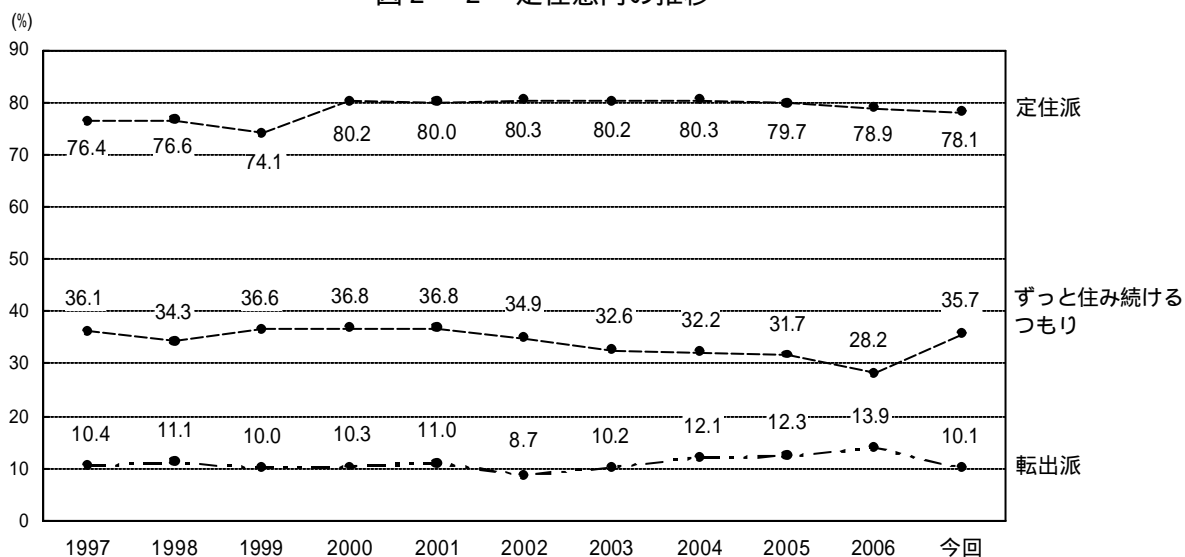
図2-1 定住意向



これからも中野区に住み続けたいかを聞いたところ、「今のところは住み続けるつもり」(42.4%)が最も高く、これに「ずっと住み続けるつもり」(35.7%)を加えた“住み続けるつもり”という『定住派』は78.1%を占める。一方、「いずれ転出するつもり」(8.8%)に「近いうち転出するつもり」(1.3%)を加えた“転出するつもり”という『転出派』は10.1%である(図2-1)。

過去11年間の定住意向の推移をみると、『定住派』は2000年度以降より横ばいを続けてきたが、2005年以降やや下降傾向となっている。「ずっと住み続けるつもり」は前回(28.2%)から今回(35.7%)にかけて8ポイント上昇している。一方、2002年度以降上昇傾向にあった『転出派』は、今回は10.1%と下降している(図2-2)。

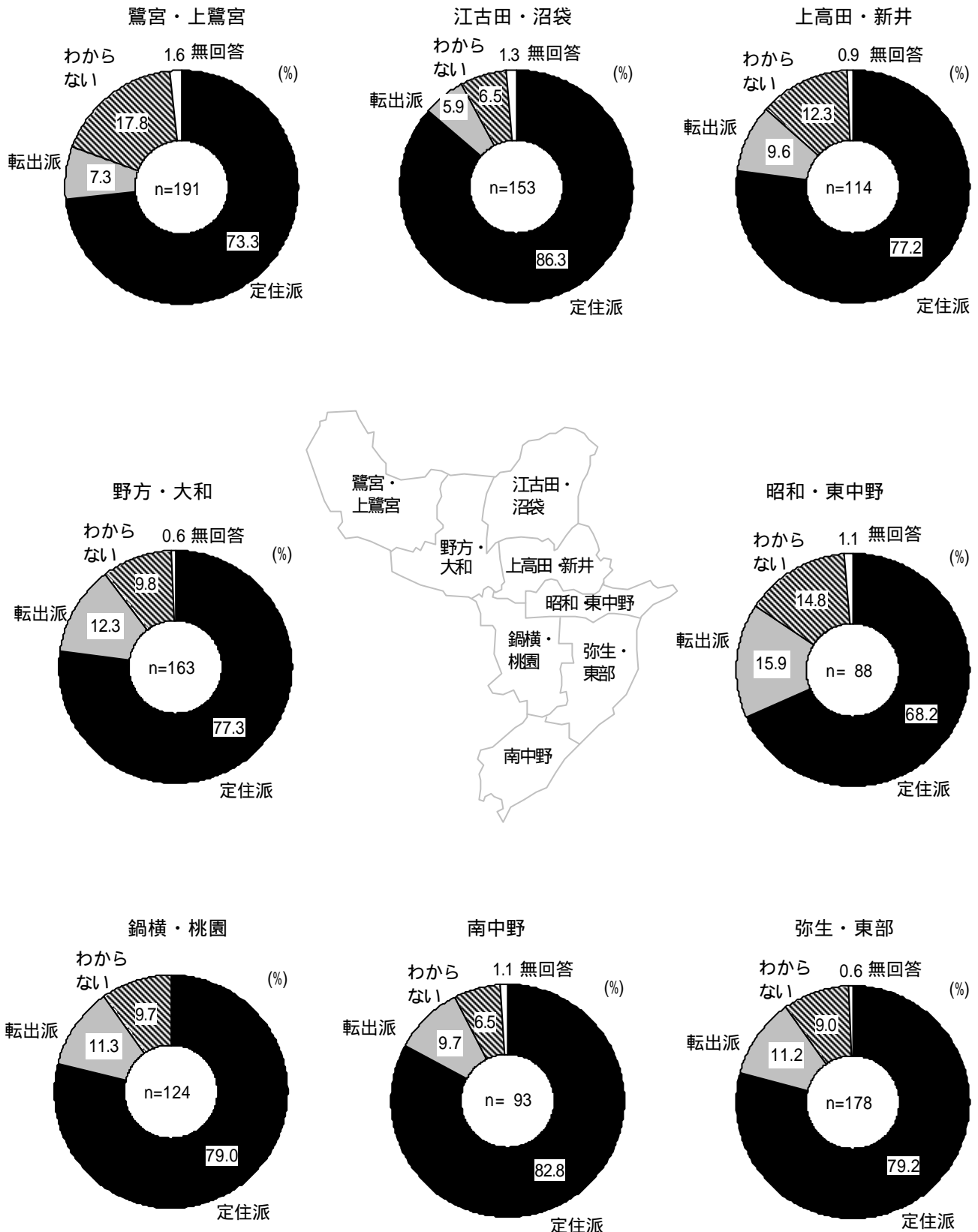
図2-2 定住意向の推移





地域別でみると、『定住派』の割合が高い地域は、江古田・沼袋（86.3%）と南中野（82.8%）である。一方、『転出派』は、昭和・東中野（15.9%）、野方・大和（12.3%）が他の地域に比べて高い（図2-3）。

図2-3 定住意向 - 地域別 -

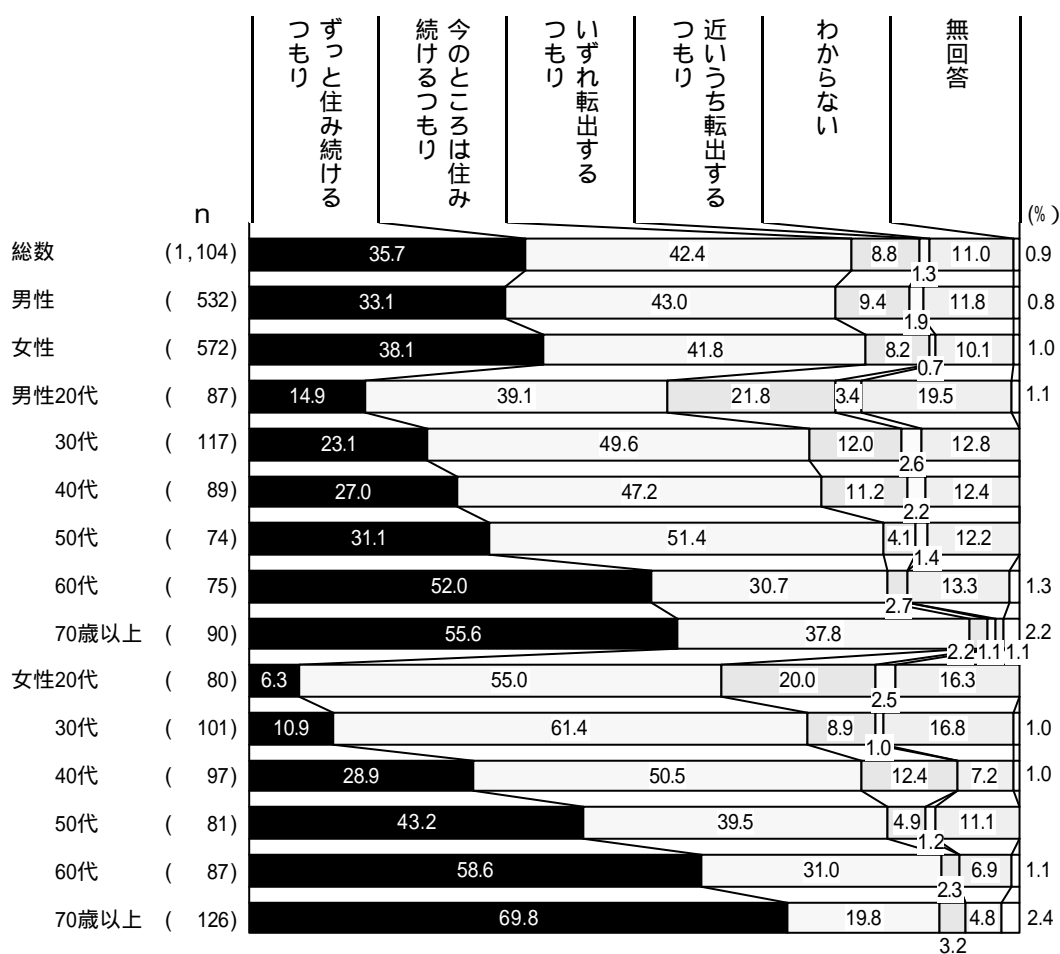


性別でみると、男女間で特に目立った違いはない。

性・年代別でみると、『定住派』は、男性では20代（54.0%）から70歳以上（93.4%）、女性では20代（61.3%）から70歳以上（89.6%）と、男女とも年代が上がるにつれて高くなる。一方、20代は男女とも『転出派』が、男性25.2%、女性22.5%と2割を超えており、「わからない」も高くなっている。

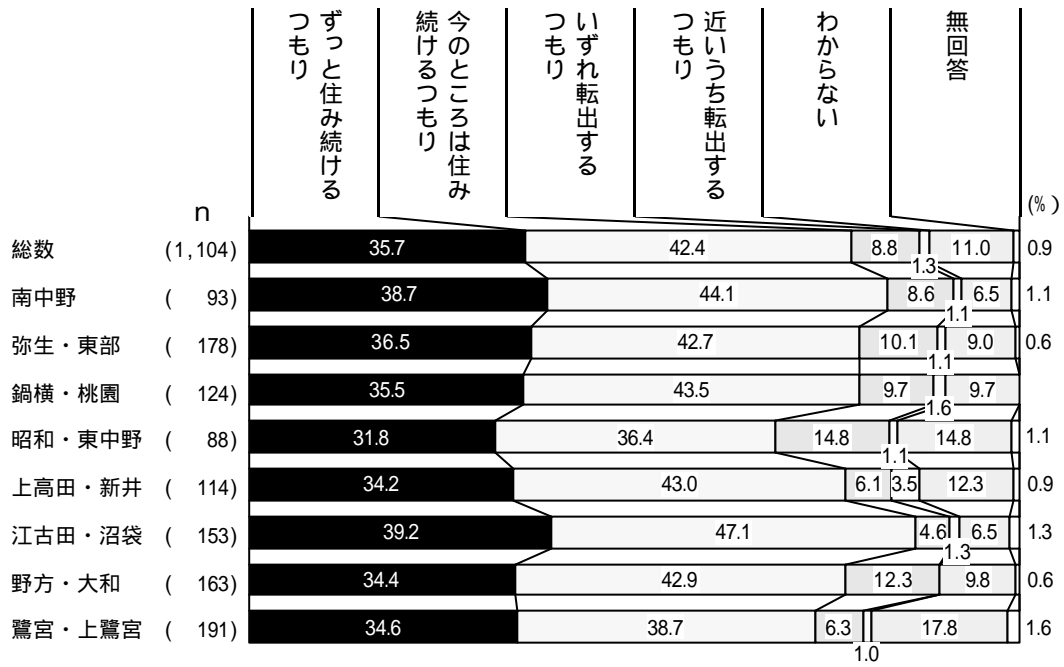
また、「ずっと住み続けるつもり」の割合をみると、女性は男性に比べて20代、30代では低いものの、50代、70歳以上では10ポイント以上高くなっている（図2 - 4）。

図2 - 4 定住意向 性別、性・年代別



地域別でみると、『定住派』は江古田・沼袋（86.3%）で8割台半ばと最も高く、昭和・東中野（68.2%）は7割弱で最も低くなっている（図2 - 5）。

図2 - 5 定住意向 地域別



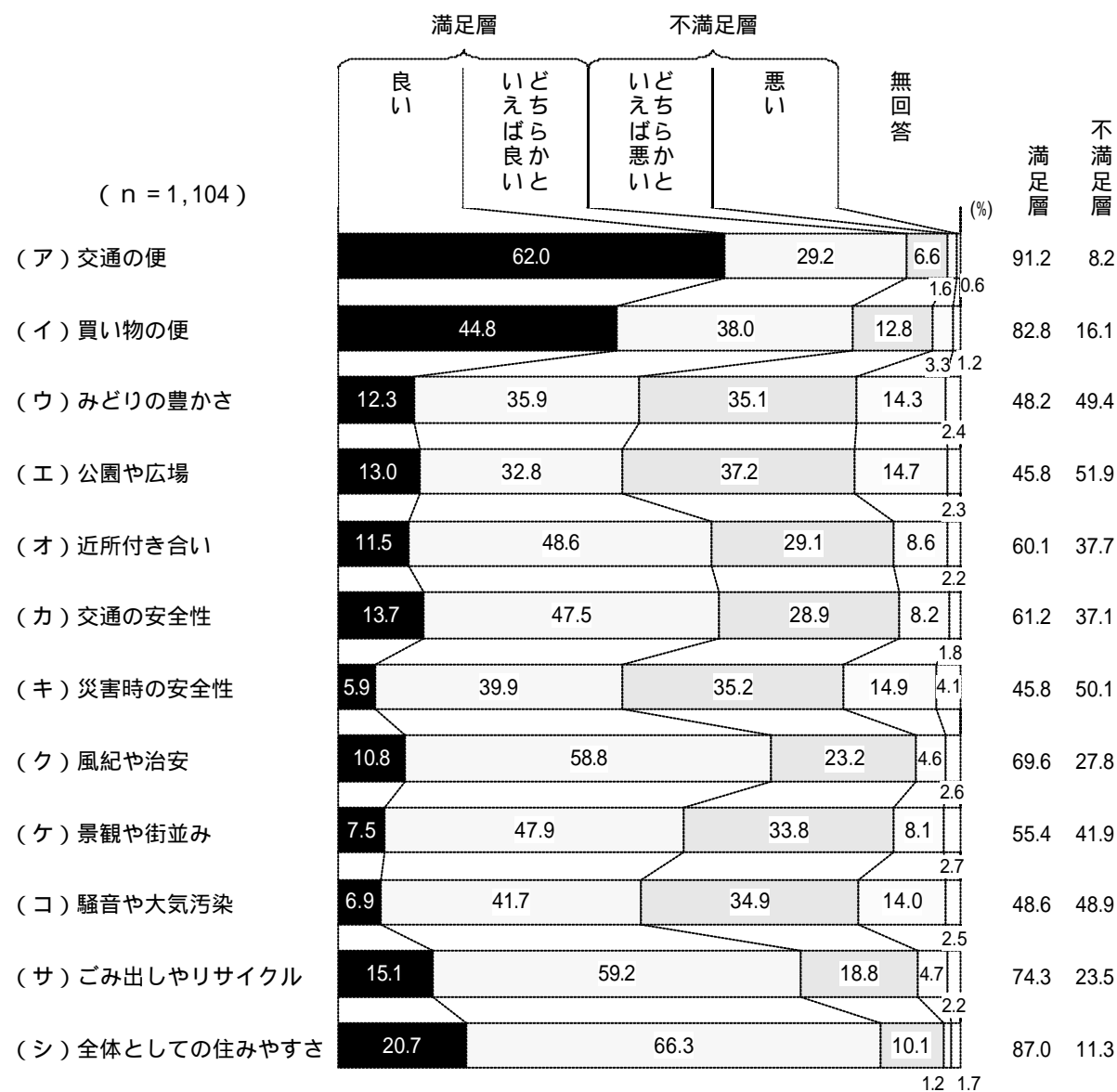
## 2 生活環境の満足度

### (1) 生活環境の満足度

「良い」は「交通の便」、「悪い」は「災害時の安全性」がトップ

問3 あなたは、自宅周辺の生活環境についてどのように感じていますか。項目ごとにお答えください。(それぞれ1つずつ)

図3 - 1 生活環境の満足度



自宅周辺の生活環境に関する各項目について、「良い」～「悪い」の4段階で評価してもらった。

「良い」では「交通の便」(62.0%)が、「悪い」では「災害時の安全性」(14.9%)が最も高い。

また、「良い」と「どちらかといえば良い」を合計した『満足層』の割合が最も高いのは、「交通の便」(91.2%)で唯一9割を超えている。次いで「買い物の便」(82.8%)が8割台、「ごみ出しやリサイクル」(74.3%)が7割台となっている。一方、「公園や広場」(45.8%)、「災害時の安全性」(45.8%)、「みどりの豊かさ」(48.2%)、「騒音や大気汚染」(48.6%)の4項目は半数未満で、『不満足層』(「悪い」と「どちらかといえば悪い」の合計)よりも低くなっている。

「全体としての住みやすさ」では、『満足層』が87.0%、『不満足層』が11.3%となっている(図3 - 1)。

【生活環境の評価点】

満足度の比較をより明確にするために、4段階評価に点数を与え、下式により評価点を算出して、各項目の評価を行った。

$$\begin{aligned} & \text{「良い」の回答者数} && \times & 4 \text{点} \\ & + \text{「どちらかといえば良い」の回答者数} && \times & 3 \text{点} \\ & + \text{「どちらかといえば悪い」の回答者数} && \times & 2 \text{点} \\ \text{評価点} = & \frac{+ \text{「悪い」の回答者数} && \times & 1 \text{点}}{\text{全回答者数 (1,104) - 無回答}} \end{aligned}$$

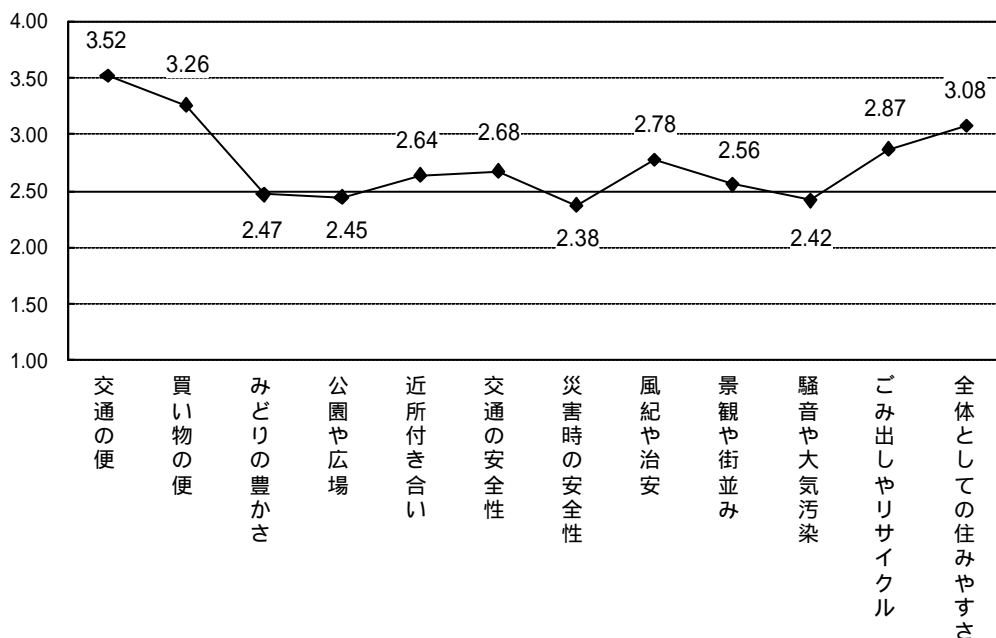
この算出方法では、評価点は1.00～4.00の間に分布し、2.50が中間値になる  
4.00に近いほど評価が良く、1.00に近いほど評価が悪い

中間値よりも評価が高い項目は、高い順に「交通の便」(3.52)、「買い物の便」(3.26)、「ごみ出しやリサイクル」(2.87)、「風紀や治安」(2.78)、「交通の安全性」(2.68)、「近所付き合い」(2.64)、「景観や街並み」(2.56)となっている。

一方、中間値よりも評価が低い項目は、低い順に「災害時の安全性」(2.38)、「騒音や大気汚染」(2.42)、「公園や広場」(2.45)、「みどりの豊かさ」(2.47)となっている。

なお、「全体としての住みやすさ」は3.08であった(図3 - 2)。

図3 - 2 生活環境の評価点



地域別にみると、「交通の便」、「買い物の便」、「近所付き合い」、「交通の安全性」、「風紀や治安」、「ごみ出しやりサイクル」はすべての地域で中間値よりも評価が高い。地域間で評価に差があるのは、差が大きい順に「みどりの豊かさ」、「公園の広場」となっている。「全体としての住みやすさ」はすべての地域で中間値を上回り、地域間の差は少ない(図3-3- ~ )。

図3-3- 生活環境の評価点 - 地域別 -

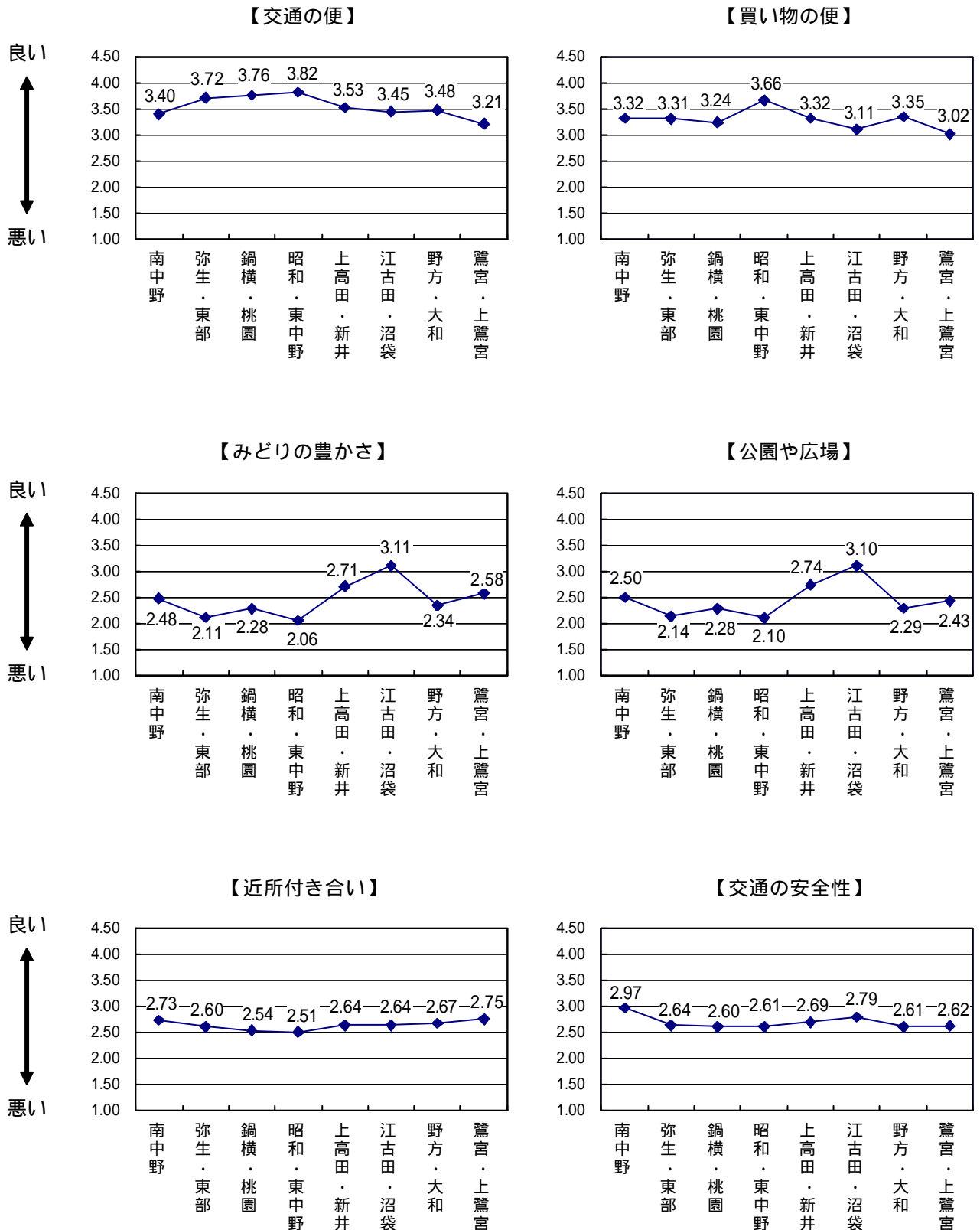
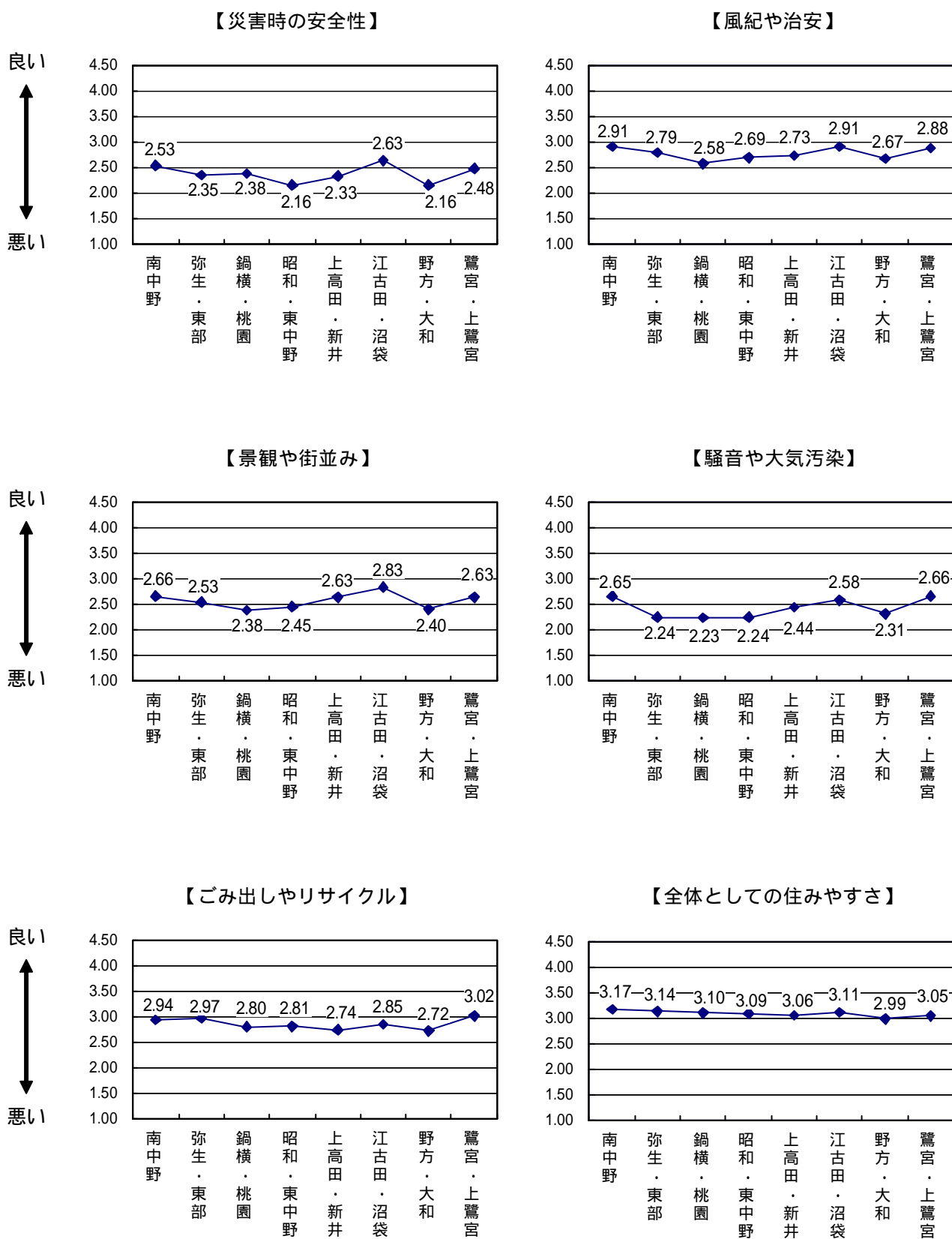


図3-3- 生活環境の評価点 - 地域別 -

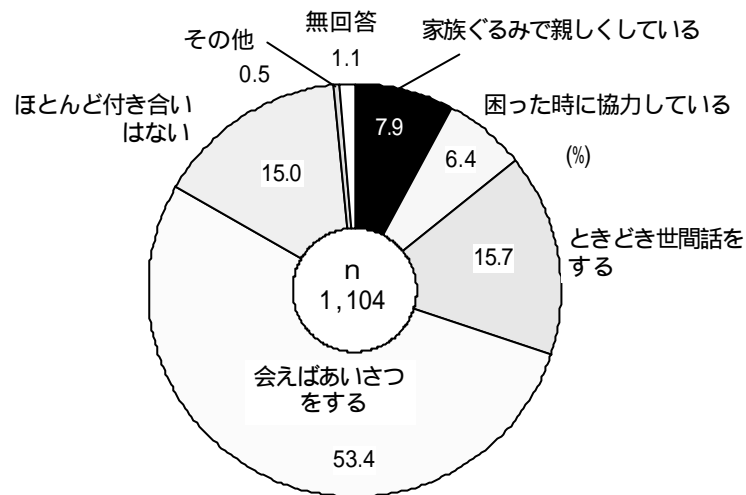


## (2) 近所づきあいの程度

「会えばあいさつをする」が過半数

問4 あなたは、隣近所の方々とどのようにお付き合いをされていますか。(1つに )

図4 - 1 近所づきあいの程度



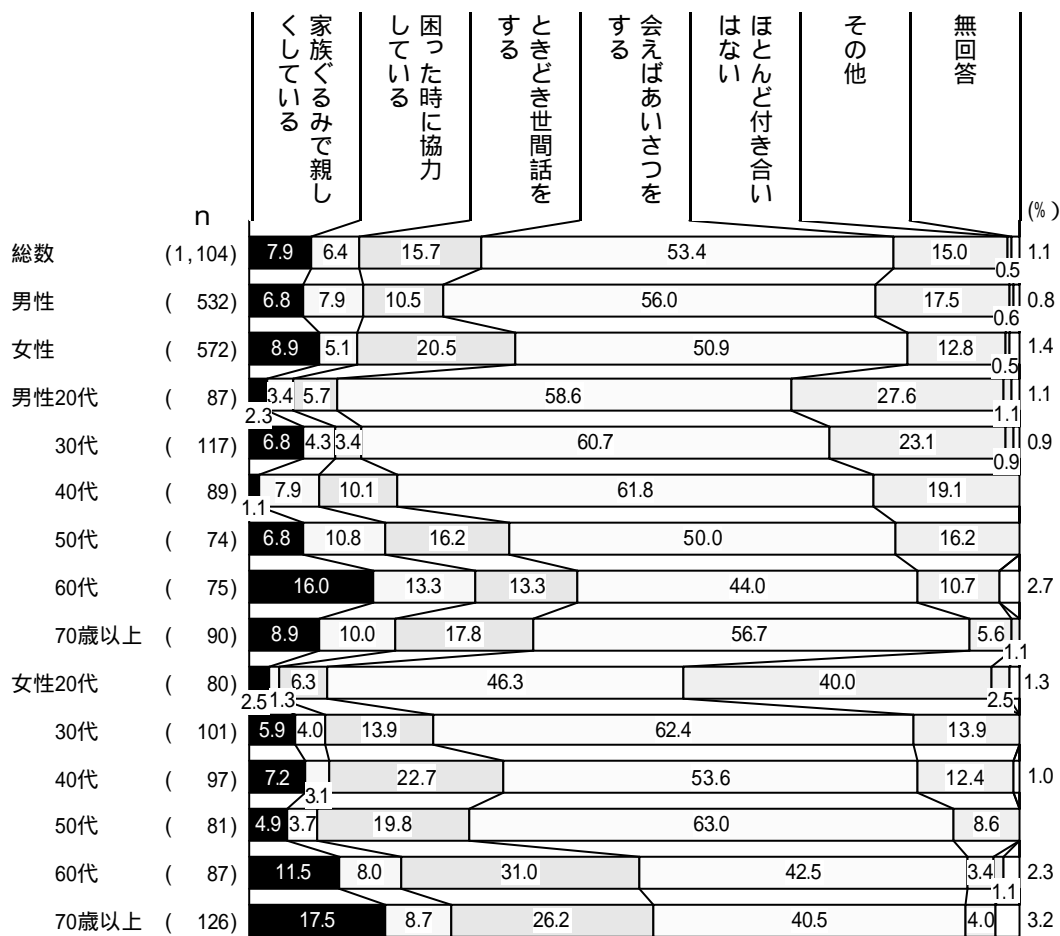
隣近所とどのような付き合いをしているかを聞いたところ、「会えばあいさつをする」(53.4%)が過半数を占め、「ときどき世間話をする」(15.7%)と「ほとんど付き合いはない」(15.0%)が1割台半ばとなっている。一方、「家族ぐるみで親しくしている」(7.9%)や「困った時に協力している」(6.4%)といった深い付き合いはいずれも1割未満である(図4 - 1)。



性別でみると、「ときどき世間話をする」は女性（20.5%）が男性（10.5%）より10ポイント高く、「会えばあいさつをする」は女性（50.9%）が男性（56.0%）より5ポイント低い。

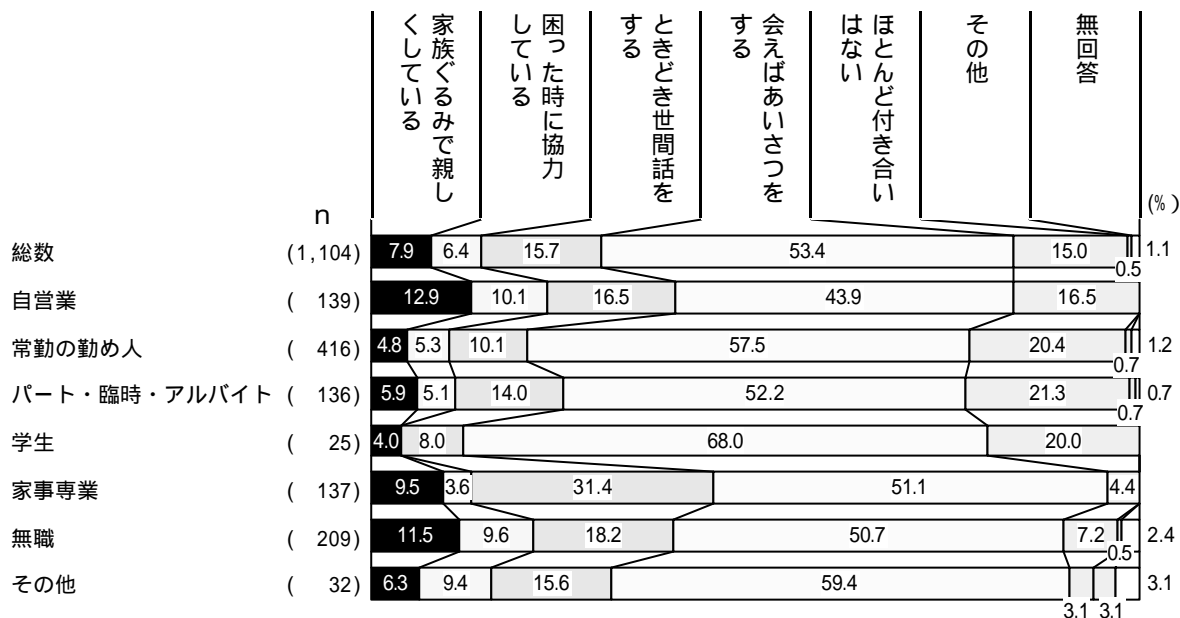
性・年代別でみると、「ほとんど付き合いはない」は男女とも年代が下がるほど高く、特に女性20代では40.0%に達している。また、「ほとんど付き合いはない」は30代以上の各年代で女性に比べ男性の方が高くなっている。「ときどき世間話をする」は60代以上の女性で2割台後半から3割台となり、他の年代に比べて高くなっている（図4-2）。

図4-2 近所づきあいの程度 性別、性・年代別



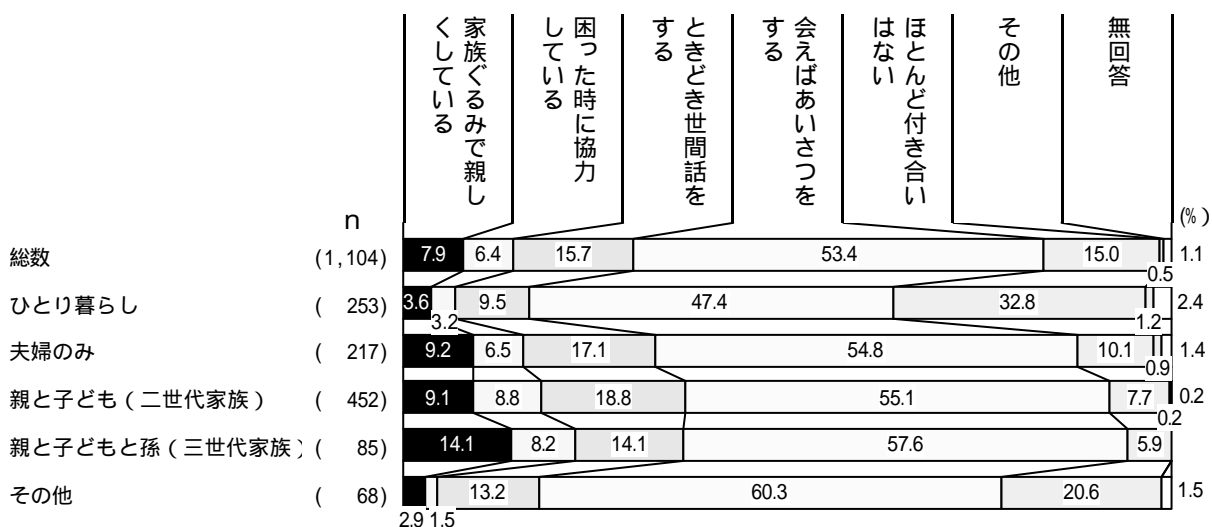
職業別でみると、「ほとんど付き合いはない」は常勤の勤め人（20.4%）、パート・臨時・アルバイト（21.3%）で約2割と高く、「ときどき世間話をする」は家事専業（31.4%）で特に高くなっている（図4-3）。

図4-3 近所づきあいの程度 職業別



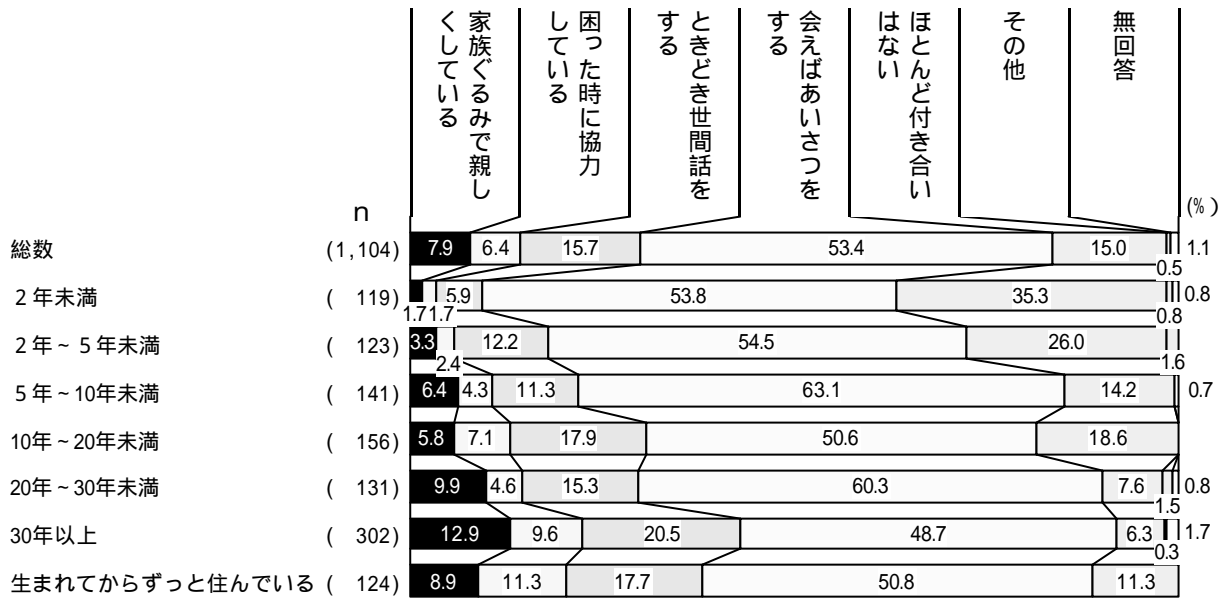
家族形態別でみると、「ほとんど付き合いはない」はひとり暮らし（32.8%）で3割を超えて高い。一方、「家族ぐるみで親しくしている」は親と子どもと孫（三世代家族）（14.1%）でやや高くなっている（図4-4）。

図4-4 近所づきあいの程度 家族形態別



居住年数別でみると、「家族ぐるみで親しくしている」、「困った時に協力している」、「ときどき世間話をする」はいずれも30年以上が最も高く、「ほとんど付き合いはない」は居住年数が長くなるほど低くなる傾向がみられる（図4 - 5）。

図4 - 5 近所づきあいの程度 居住年数別



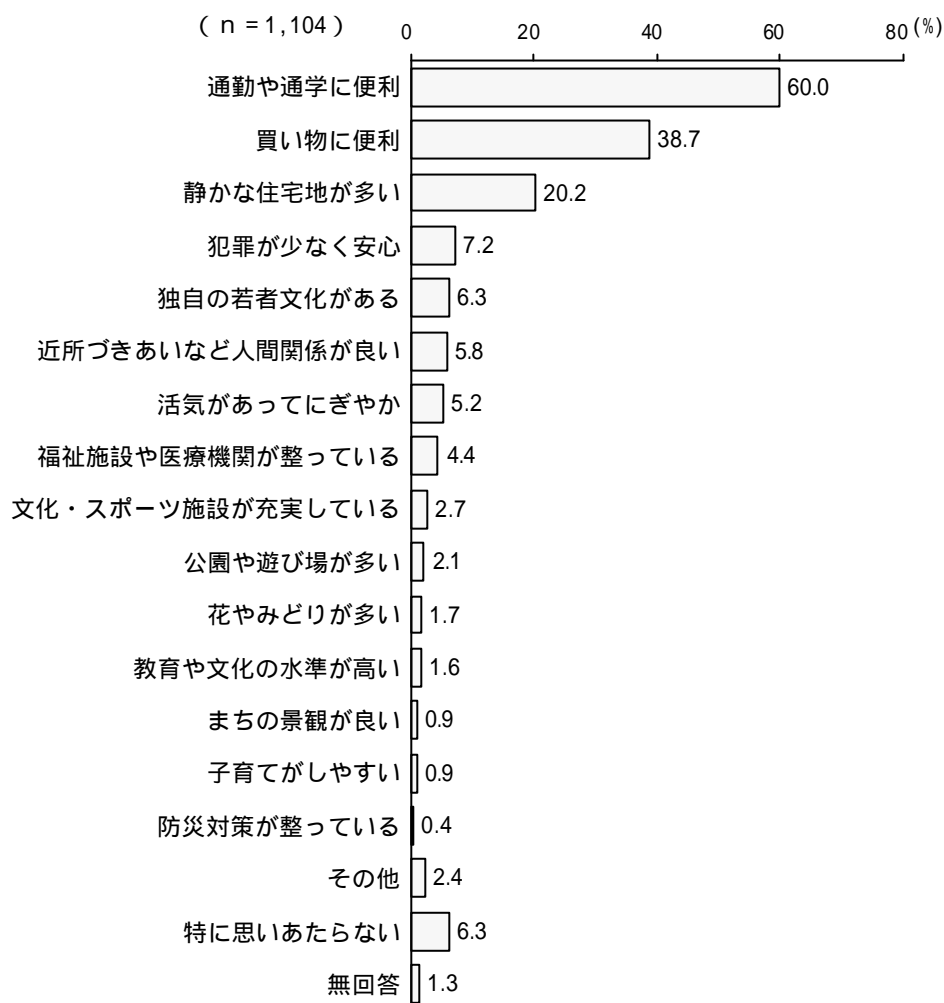
### 3 区のイメージ

#### (1) 中野のまちの印象

「通勤や通学に便利」が6割

問5 中野のまちについて、あなたの印象に近いものを、次の中から選んでください。  
(2つ以内に)

図5 - 1 中野のまちの印象

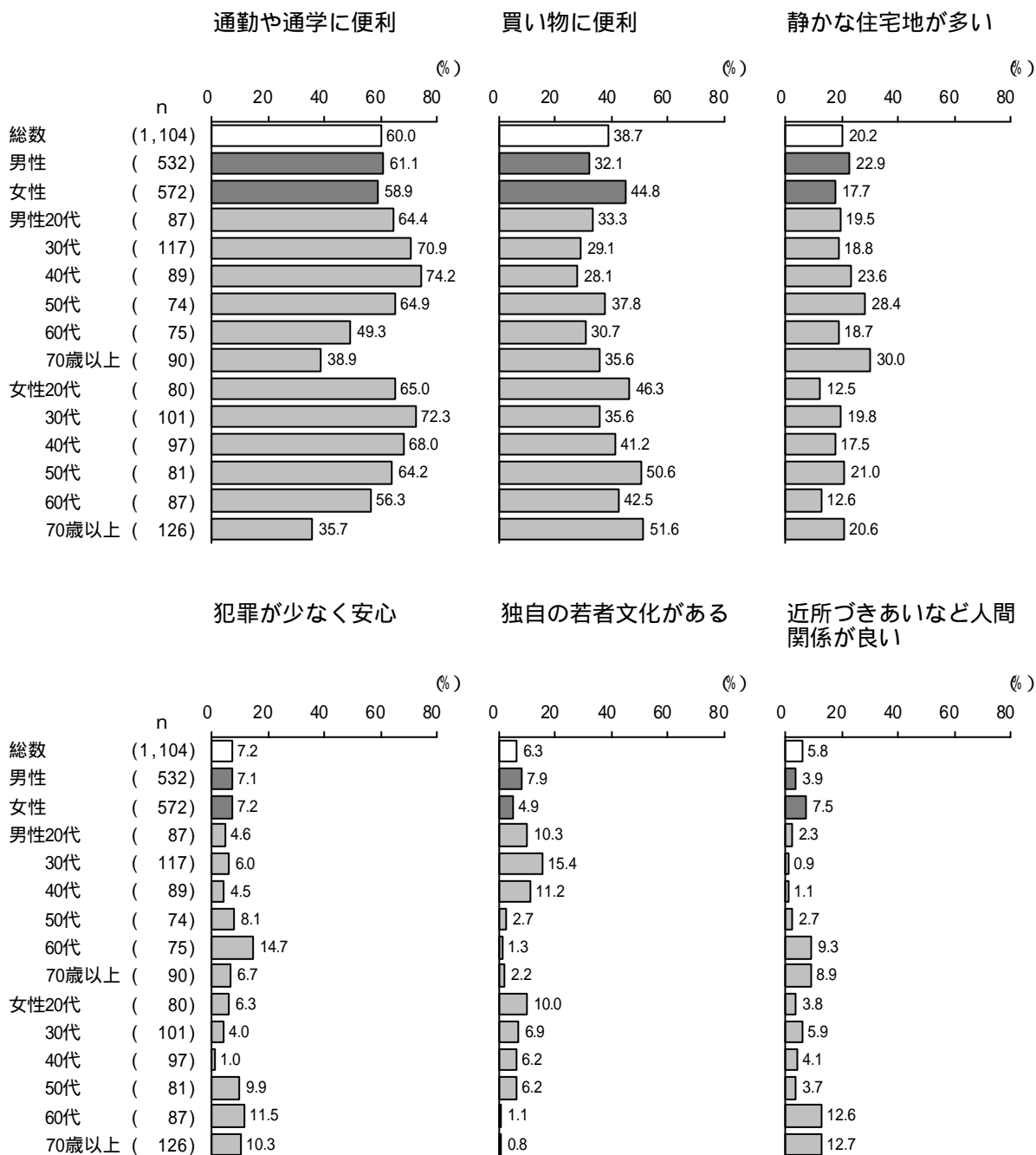


中野のまちの印象を聞いたところ、「通勤や通学に便利」(60.0%)が6割と特に高く、「買い物に便利」(38.7%)や「静かな住宅地が多い」(20.2%)がこれに続き、他の項目はいずれも1割未満となっている(図5 - 1)。

性別でみると、「買い物に便利」で女性（44.8%）が男性（32.1%）よりも13ポイント高い。

性・年代別でみると、「通勤や通学に便利」は男女とも20代から50代で6割以上となり、特に男性30代（70.9%）、40代（74.2%）、女性では30代（72.3%）で7割を超える。「買い物に便利」は特に女性の20代、50代、70代で高い。「静かな住宅地が多い」は男女とも50代と70歳以上がやや高くなっている（図5-2）。

図5-2 中野のまちの印象 性別、性・年代別（上位6項目）

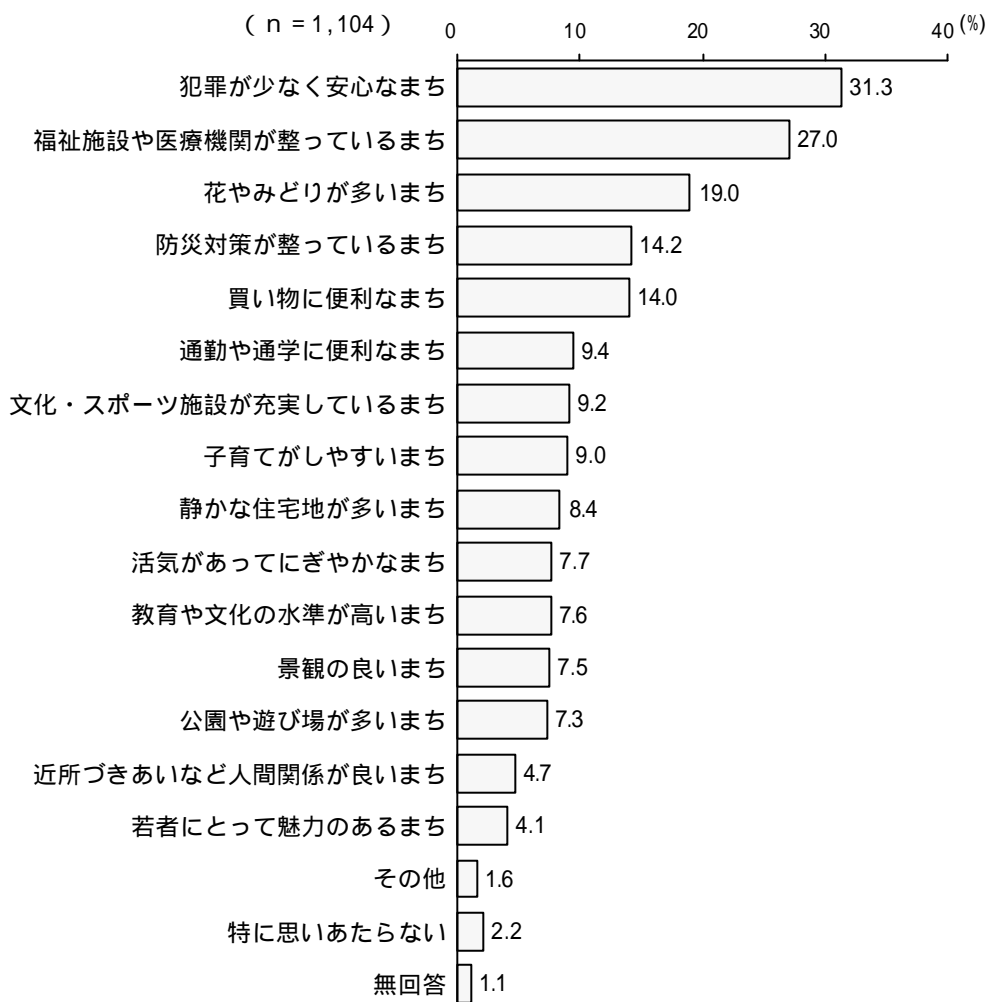


## (2) 中野のまちの理想像

「犯罪が少なく安心なまち」と「福祉施設や医療機関が整っているまち」が3割前後

問6 あなたは、中野のまちが将来どのようなまちになれば良いと思いますか。(2つ以内に)

図6-1 中野のまちの理想像

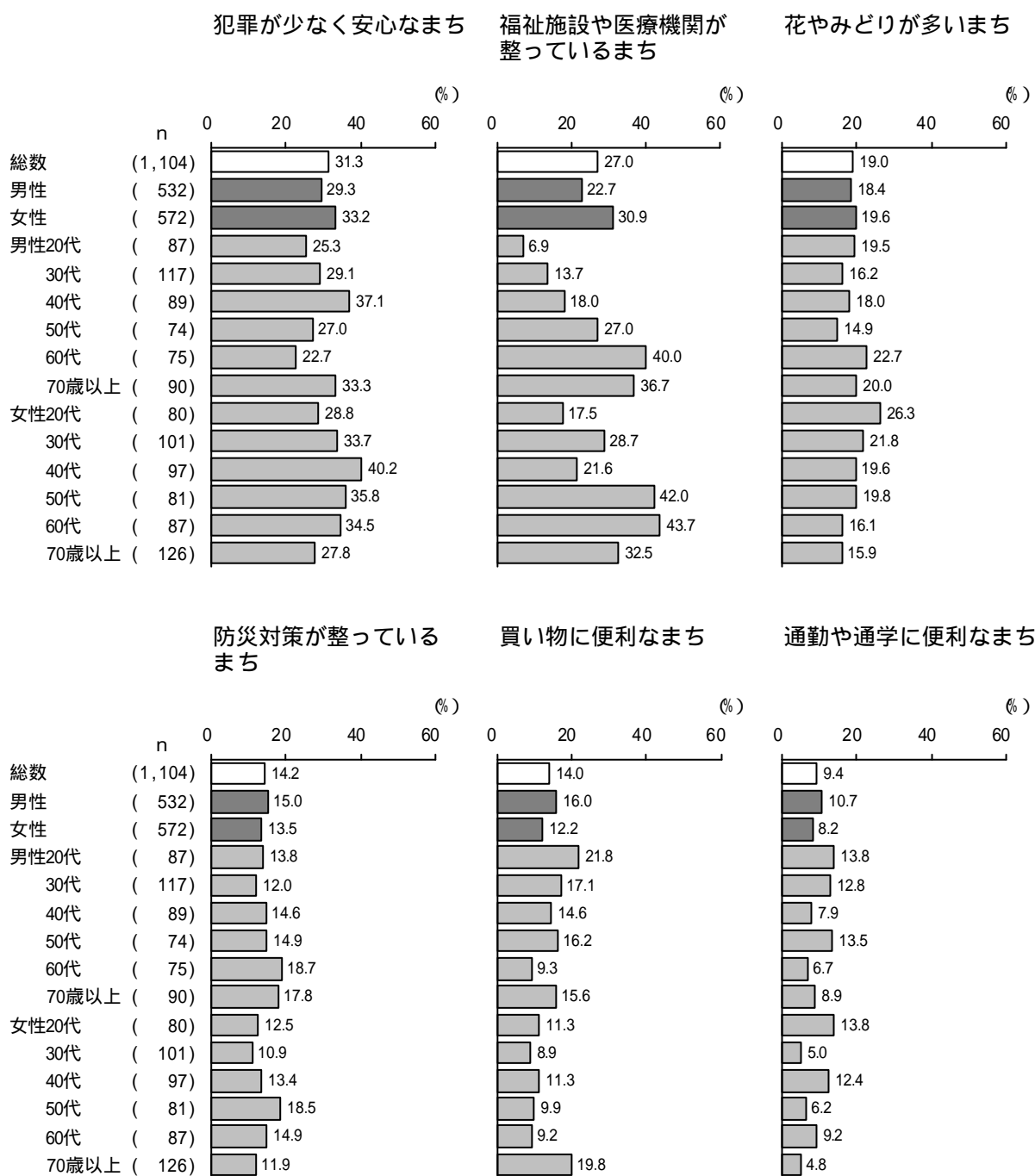


中野のまちが将来どのようなまちになれば良いと思うかを聞いたところ、「犯罪が少なく安心なまち」(31.3%)と「福祉施設や医療機関が整っているまち」(27.0%)が3割前後で高く、「花やみどりが多いまち」(19.0%)、「防災対策が整っているまち」(14.2%)、「買い物に便利なまち」(14.0%)が1割台となっている(図6-1)。

性別でみると、上位となっている項目は男女間に大きな違いはみられないが、「福祉施設や医療機関が整っているまち」では女性（30.9%）が男性（22.7%）よりも8ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「犯罪が少なく安心なまち」は男女ともに40代が最も高く、「福祉施設や医療機関が整っているまち」は男性60代・70歳以上、女性では50・60代で特に高い。「花やみどりが多いまち」は男性では60代でやや高いが、女性は年代が上がるにつれて低くなっている。「買い物に便利なまち」では男性20代（21.8%）と女性70歳以上（19.8%）が2割前後で高い（図6-2）。

図6-2 中野のまちの理想像 性別、性・年代別（上位6項目）

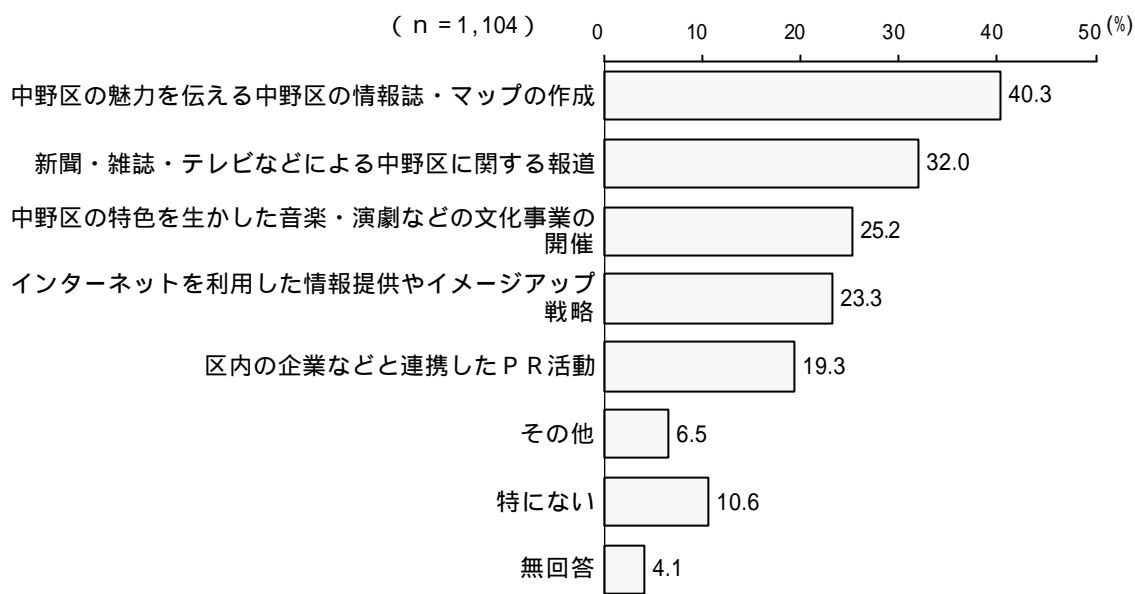


### ( 3 ) 知名度・地域イメージの向上策

「中野区の魅力を伝える中野区の情報誌・マップの作成」が4割

問7 中野区の知名度や地域イメージを向上させるために効果があると思われることは何ですか。  
(いくつでも)

図7 - 1 知名度・地域イメージの向上策



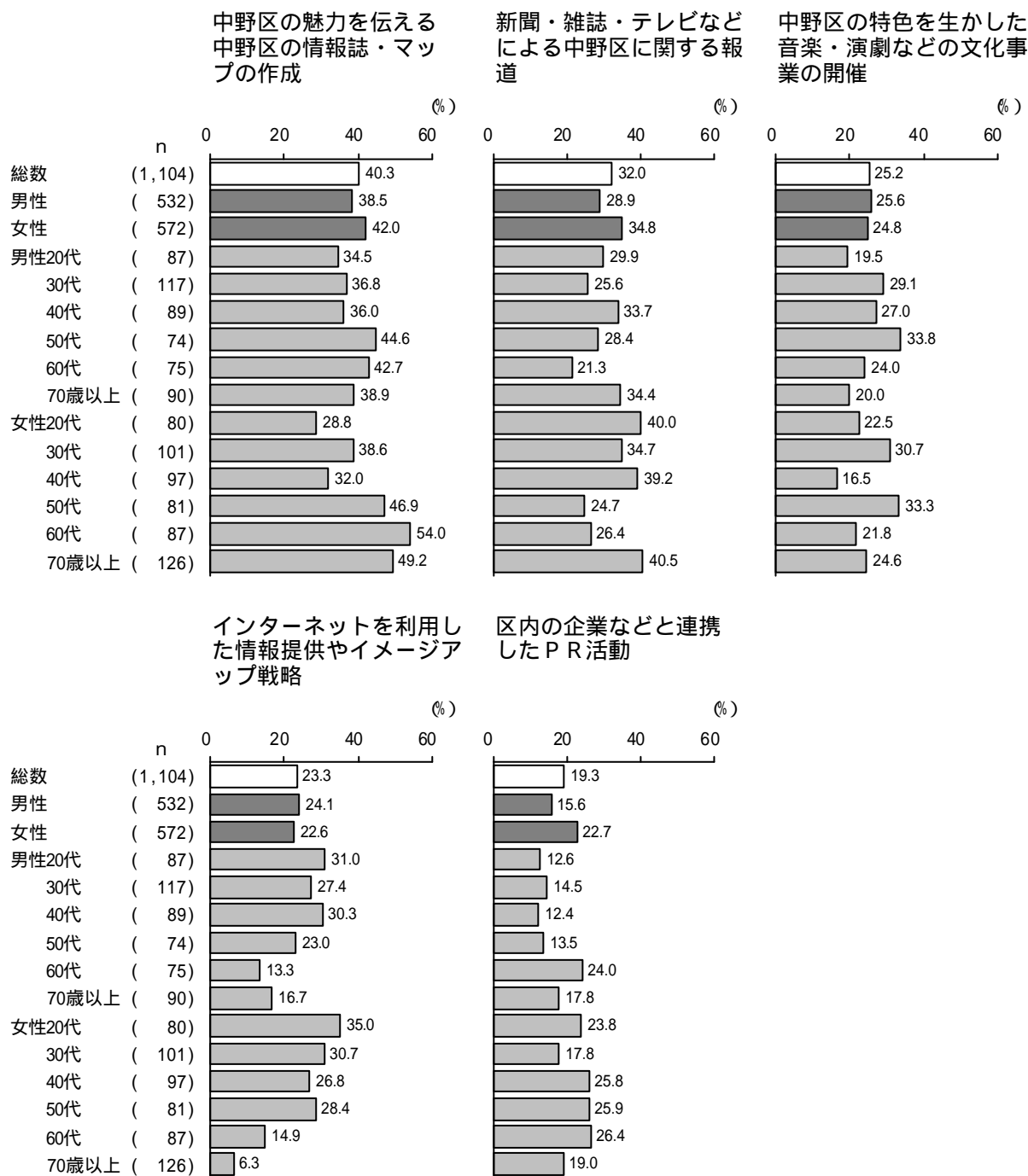
中野区の知名度や地域イメージを向上させるためには、「中野区の魅力を伝える中野区の情報誌・マップの作成」(40.3%)が4割で最も効果的とされ、次いで「新聞・雑誌・テレビなどによる中野区に関する報道」(32.0%)が3割強、「中野区の特徴を生かした音楽・演劇などの文化事業の開催」(25.2%)と「インターネットを利用した情報提供やイメージアップ戦略」(23.3%)が2割台半ばとなっている(図7 - 1)。



性別でみると、「新聞・雑誌・テレビなどによる中野区に関する報道」(男性28.9%：女性34.8%)と「区内の企業などと連携したPR活動」(男性15.6%：女性22.7%)では女性が男性よりやや高くなっている。

性・年代別でみると、「中野区の魅力を伝える中野区の情報誌・マップの作成」は男女とも50代以上で高く、その傾向は女性で特に強い。「新聞・雑誌・テレビなどによる中野区に関する報道」は女性の20代、40代及び70歳以上で約4割となっている。「中野区の特徴を生かした音楽・演劇などの文化事業の開催」は男女とも30代、50代で3割前後となっている。「インターネットを利用した情報提供やイメージアップ戦略」は男性では20代から40代、女性では20・30代で3割程度となっている(図7-2)。

図7-2 知名度・地域イメージの向上策 性別、性・年代別



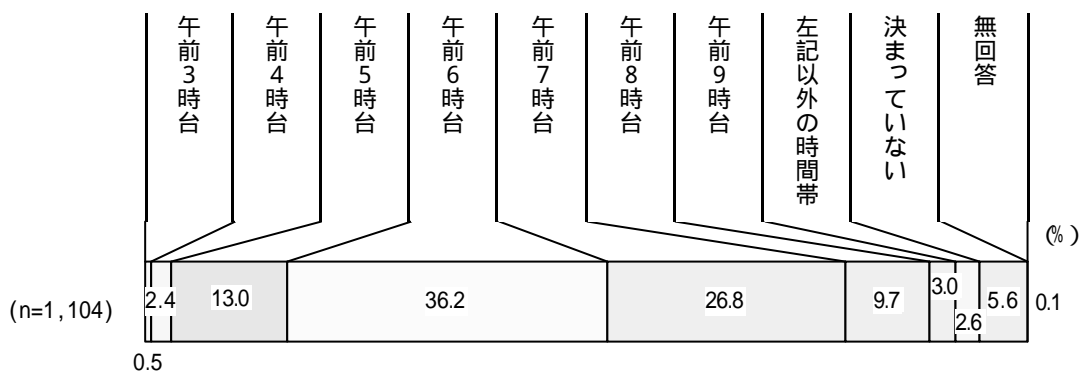
## 4 現在の生活について

### (1) 起床・就寝時間<朝起きる時間>

朝起きる時間が「午前6時台」が3割台半ば

問8 あなたのふだんの朝起きる時間、夜寝る時間について伺います。項目ごとにお答えください。(1つずつ)

図8 - 1 起床・就寝時間<朝起きる時間>

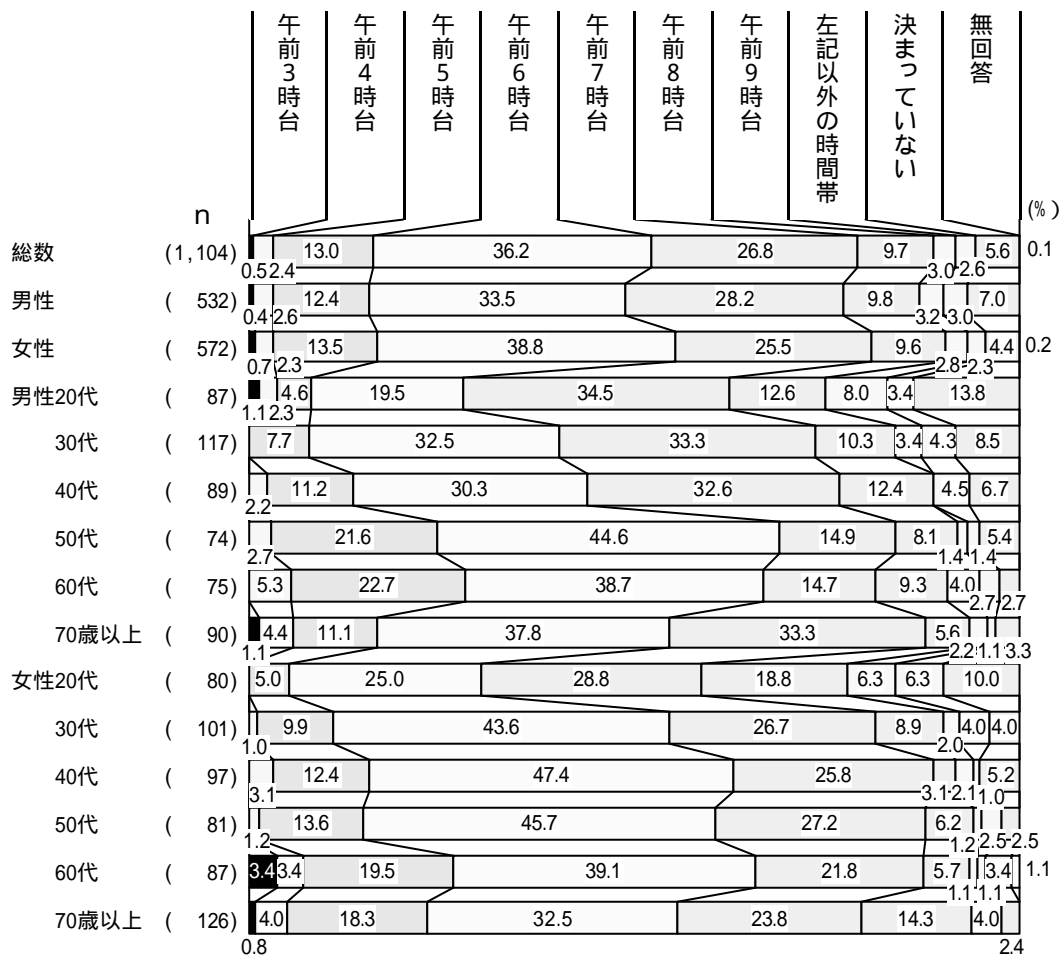


朝起きる時間を聞いたところ、「午前6時台」(36.2%)が最も高く、以下「午前7時台」(26.8%)、「午前5時台」(13.0%)となっている(図8 - 1)。

性別でみると、午前7時までに起きる割合は女性の55.3%に対して、男性は48.9%で半数以下となっている。

性・年代別でみると、午前7時までに起きる割合は男女とも20代は3割以下と低い。この割合が半数を超えるのは男性で50代以上だが、女性では30代以上となっている（図8 - 2）。

図8 - 2 起床・就寝時間<朝起きる時間> 性別、性・年代別

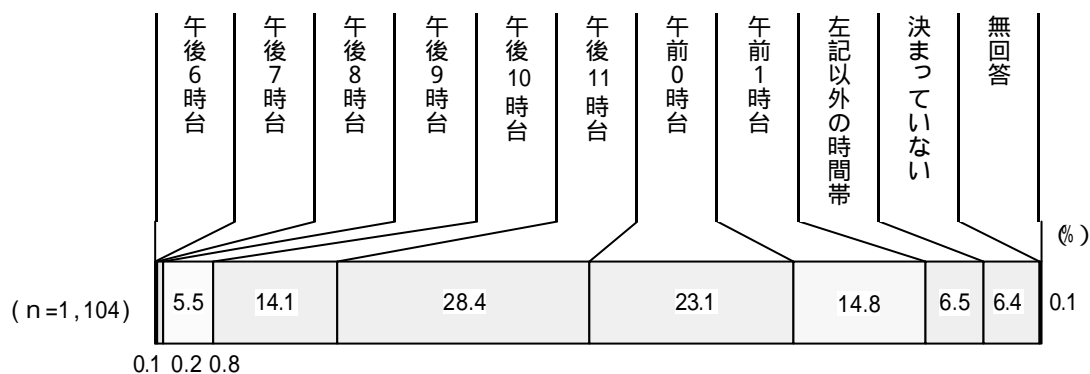


## (2) 起床・就寝時間<夜寝る時間>

午前0時までには就寝している人の割合は約半数

問8 あなたのふだんの朝起きる時間、夜寝る時間について伺います。項目ごとにお答えください。(1つずつ)

図8-3 起床・就寝時間<夜寝る時間>



夜寝る時間を聞いたところ、「午後11時台」(28.4%)と「午前0時台」(23.1%)が2割以上で、全体の半数強がこのいずれかの時間帯に就寝していることになる。また、午前0時までには就寝している人の割合は49.1%である(図8-3)。

性別でみると、「午後11時台」は女性（33.9%）が男性（22.4%）よりも12ポイント高い。男性は「午前1時台」（16.9%）が女性に比べやや高くなっている。

性・年代別でみると、午前0時までに就寝する割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、男性20代（12.6%）で1割強、女性20代（21.3%）で2割強だが、男性では50代、女性では60代で5割を超え、70歳以上では男女とも8割以上となっている（表8 - 1）。

表8 - 1 起床・就寝時間<夜寝る時間> 性別、性・年代別

(%)

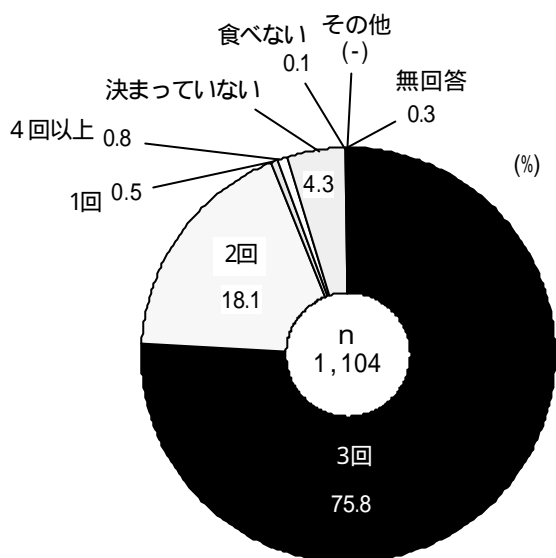
	n	午後6時台	午後7時台	午後8時台	午後9時台	午後10時台	午後11時台	午前0時台	午前1時台	時間帯 左記以外の	決ま っていない	無 回答
全 体	1,104	0.1	0.2	0.8	5.5	14.1	28.4	23.1	14.8	6.5	6.4	0.1
男性	532	0.2	-	1.3	6.4	13.0	22.4	23.3	16.9	7.9	8.6	-
女性	572	-	0.3	0.3	4.7	15.2	33.9	22.9	12.8	5.2	4.4	0.2
男性20代	87	1.1	-	-	-	2.3	9.2	29.9	27.6	16.1	13.8	-
30代	117	-	-	-	-	6.0	14.5	31.6	24.8	12.0	11.1	-
40代	89	-	-	1.1	1.1	6.7	21.3	30.3	23.6	7.9	7.9	-
50代	74	-	-	1.4	4.1	10.8	36.5	27.0	8.1	4.1	8.1	-
60代	75	-	-	-	16.0	26.7	33.3	10.7	6.7	4.0	2.7	-
70歳以上	90	-	-	5.6	20.0	28.9	25.6	6.7	5.6	1.1	6.7	-
女性20代	80	-	-	-	-	7.5	13.8	35.0	21.3	13.8	8.8	-
30代	101	-	-	-	1.0	11.9	32.7	18.8	20.8	9.9	5.0	-
40代	97	-	-	-	2.1	8.2	34.0	34.0	14.4	3.1	4.1	-
50代	81	-	-	-	2.5	9.9	37.0	29.6	13.6	4.9	2.5	-
60代	87	-	1.1	-	8.0	17.2	43.7	16.1	5.7	1.1	5.7	1.1
70歳以上	126	-	0.8	1.6	11.9	30.2	38.9	10.3	4.0	0.8	1.6	-

### (3) 1日の食事回数

1日の食事回数は「3回」が7割台半ば

問9 あなたは1日に、何回食事をしますか。(1つに )

図9 - 1 1日の食事回数



1日の食事回数を聞いたところ、「3回」(75.8%)が圧倒的多数を占め、「2回」(18.1%)がこれに次いでいる(図9 - 1)。

ライフステージ別でみると、「3回」は独身期で64.0%、家族形成期では75.7%にとどまるが、それ以外のライフステージでは8割以上となっている(表9 - 1)。

表9 - 1 1日の食事回数 ライフステージ別

	n	3回	2回	1回	4回以上	決まっていない	食べない	無回答
全体	1,104	75.8	18.1	0.5	0.8	4.3	0.1	0.3
独身期	236	64.0	25.8	0.4	1.3	8.5	-	-
家族形成期	115	75.7	20.0	1.7	-	2.6	-	-
家族成長前期	89	80.9	13.5	1.1	1.1	3.4	-	-
家族成長後期	58	86.2	10.3	-	-	3.4	-	-
家族成熟期	126	81.7	14.3	-	-	3.2	-	0.8
高齢期	293	86.3	9.6	-	1.4	2.0	-	0.7
その他	167	64.7	28.7	0.6	0.6	5.4	-	-

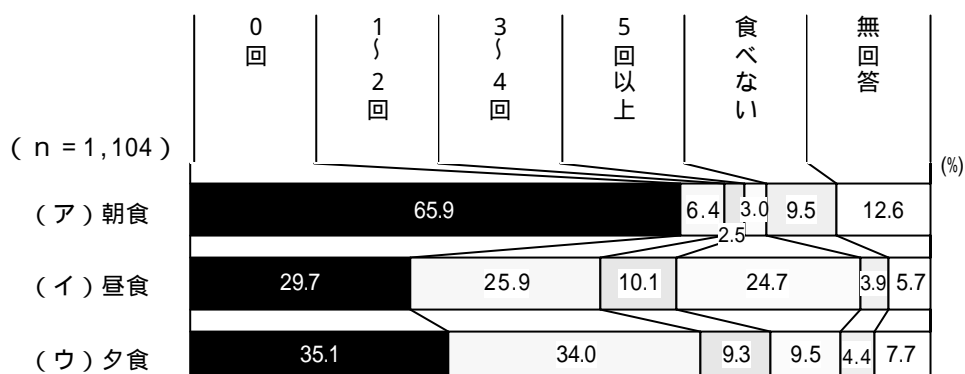
食事回数の「その他」については回答者がいないため、データを省略している

#### (4) 1週間の外食回数

朝食の外食回数は「0回」が6割台半ば

問10 あなたは最近1週間のうち、何回くらい外食をしましたか。朝食、昼食、夕食ごとにお答えください。(1つずつ)

図10 - 1 1週間の外食回数



最近1週間の外食回数を聞いたところ、朝食、昼食、夕食ともに「0回」が最も高いが、中でも朝食(65.9%)では特に高く、朝食の「1~2回」、「3~4回」、「5回以上」の合計は11.9%となっている。昼食は「1~2回」(25.9%)と「5回以上」(24.7%)でも高く、夕食は「1~2回」(34.0%)でも高い(図10 - 1)。

ライフステージ別でみると、朝食・昼食・夕食のいずれも独身期で外食頻度は高く、特に夕食では顕著である（図10 - 2 ~ 4）。

図10 - 2 1週間の外食回数（ア）朝食 ライフステージ別

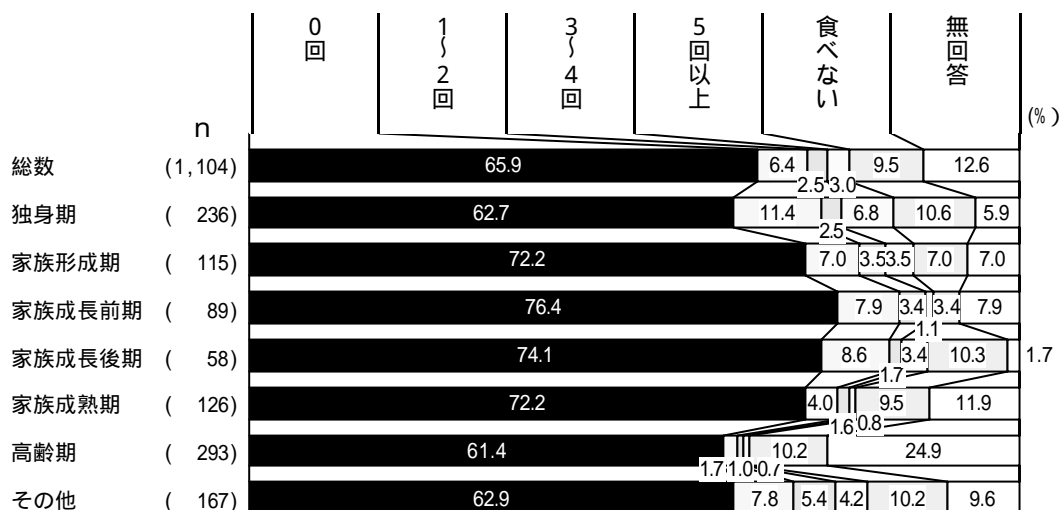


図10 - 3 1週間の外食回数（イ）昼食 ライフステージ別

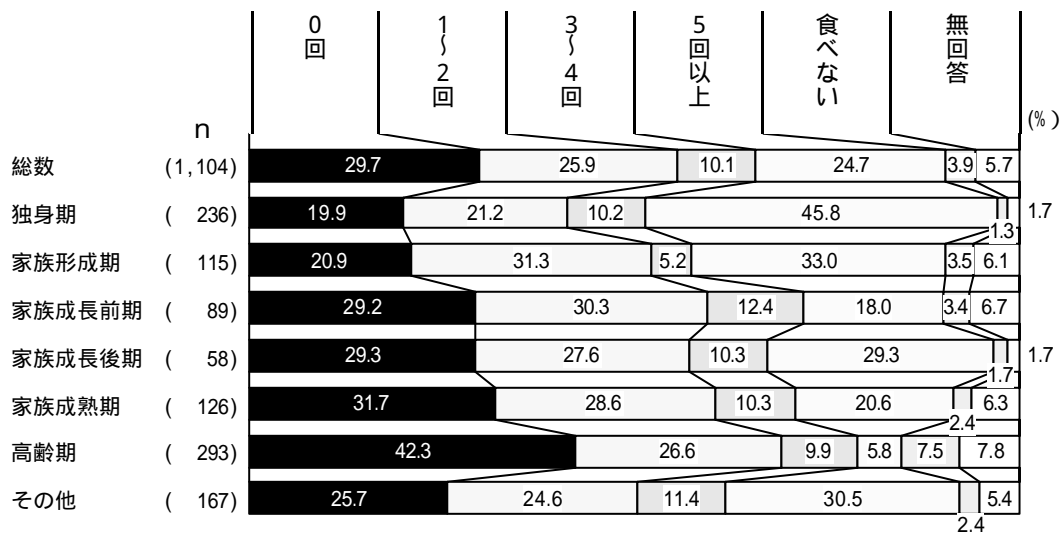
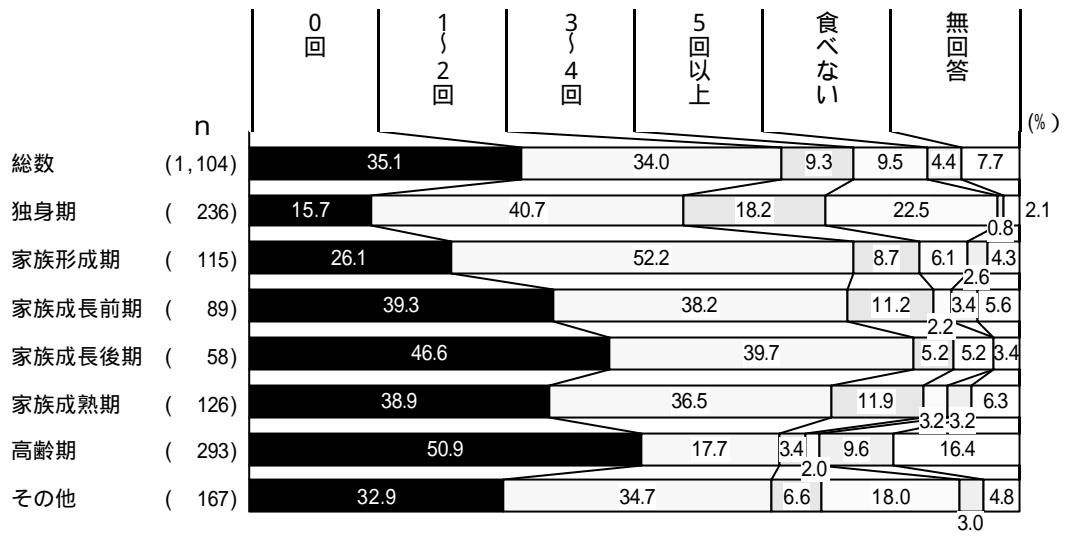




図10 - 4 1週間の外出回数(ウ)夕食 ライフステージ別



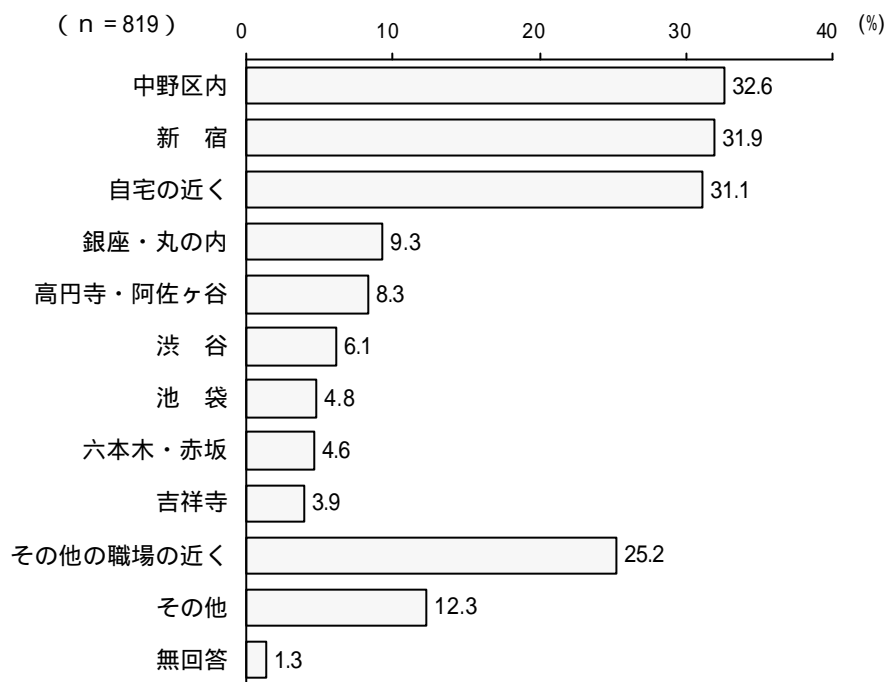
## ( 4 - 1 ) 外食をした場所

外食をした場所は「中野区内」、「新宿」、「自宅の近く」が3割強

【問10で「2」～「4」に1つでも をした方に伺います】

問10 - 1 最近1週間のうち、外食をした場所はどこですか。(いくつでも )

図10 - 5 外食をした場所



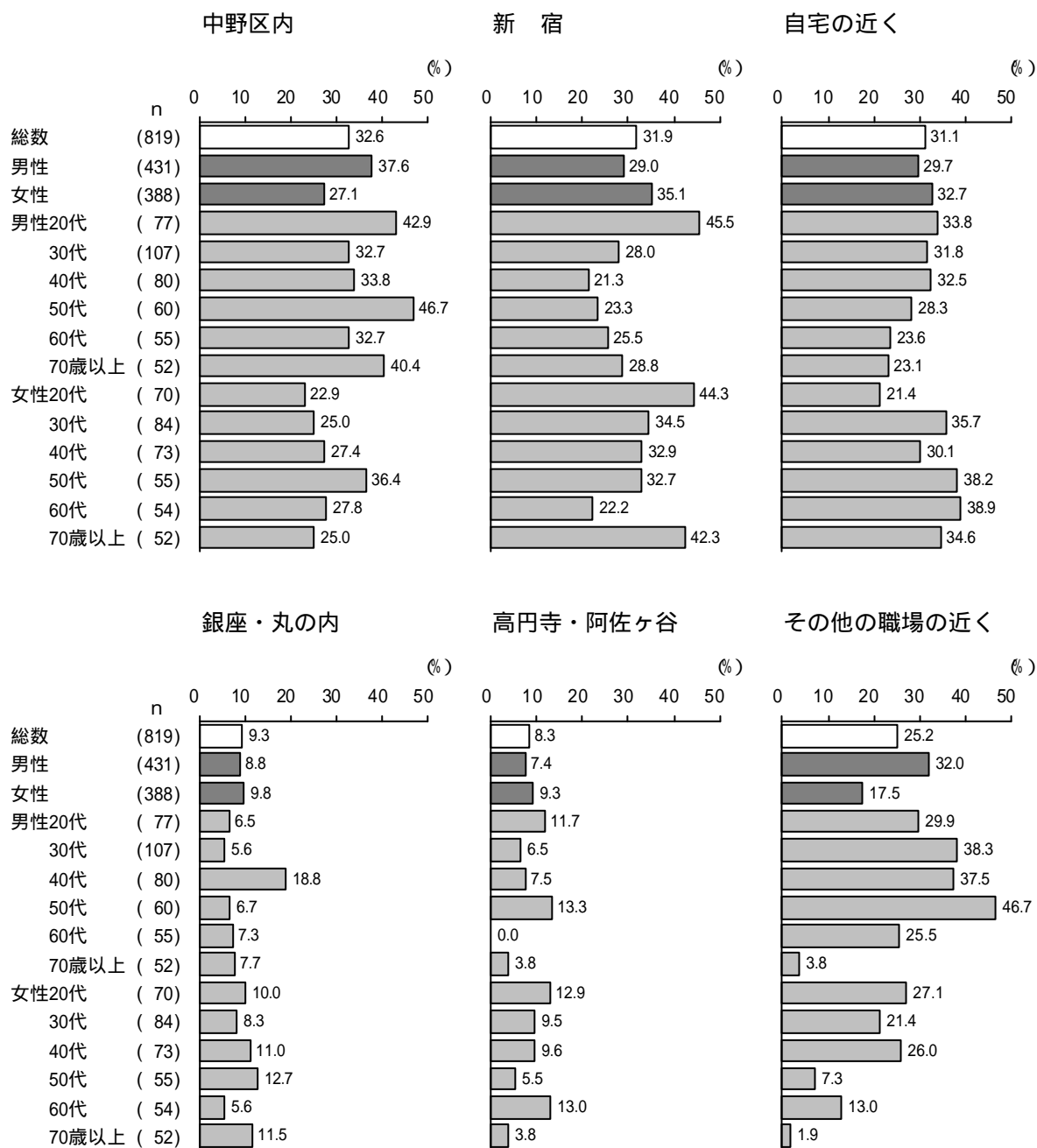
「その他の職場の近く」は、調査票で「前記以外の職場の近く」としていたものを、文脈に合わせ変更したものである。

外食をした人に、その場所を聞いたところ、「中野区内」( 32.6% )、「新宿」( 31.9% )、「自宅の近く」( 31.1% ) が3割強で高く、「その他の職場の近く」( 25.2% ) が2割台半ばでこれらに続いている( 図10 - 5 )。

性別で見ると、男性が女性に比べ、「中野区内」は11ポイント、「その他の職場の近く」が15ポイントとそれぞれ高くなっている。

性・年代別で見ると、「中野区内」では、男性では20代(42.9%)・50代(46.7%)・70歳以上(40.4%)がいずれも4割台と高く、女性では50代(36.4%)が最も高い。「新宿」は男女とも20代が4割台半ばと高く、女性の70歳以上も4割台である。「自宅の近く」は、男性では年代が上がるほど低くなる傾向にあり、女性は50代(38.2%)と60代(38.9%)が高い(図10-6)。

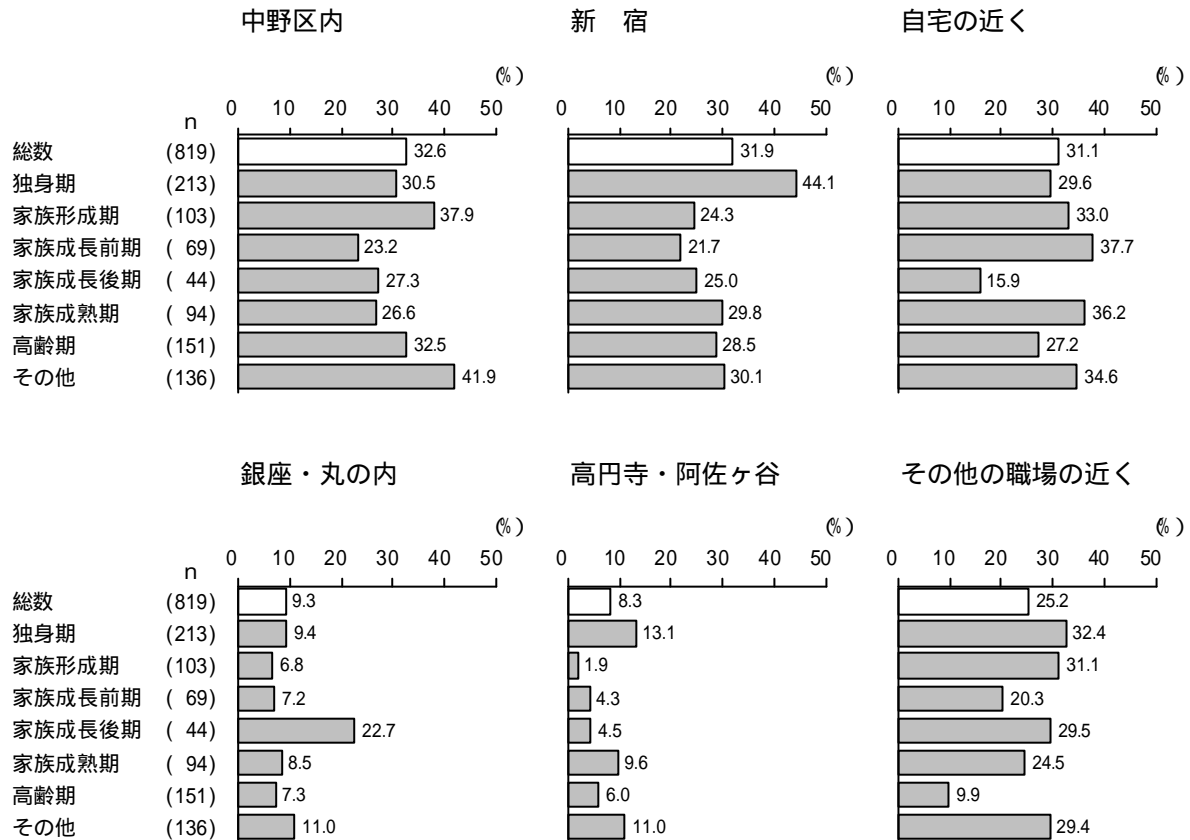
図10-6 外食をした場所 性別、性・年代別(上位5項目+「その他の職場の近く」)



「その他の職場の近く」は、調査票で「前記以外の職場の近く」としていたものを、文脈に合わせ変更したものである。

ライフステージ別でみると、「中野区内」は“その他（40～64歳で独身か夫婦のみ）”が41.9%と最も高く、続いて“家族形成期”で37.9%と高い。「新宿」は“独身期”で44.1%と突出して高い。一方、「自宅の近く」については“家族成長後期”で15.9%と最も低く、「その他の職場の近く」は“高齢期”で極めて低くなっている（図10-7）。

図10-7 外食をした場所 ライフステージ別（上位5項目＋「その他の職場の近く」）



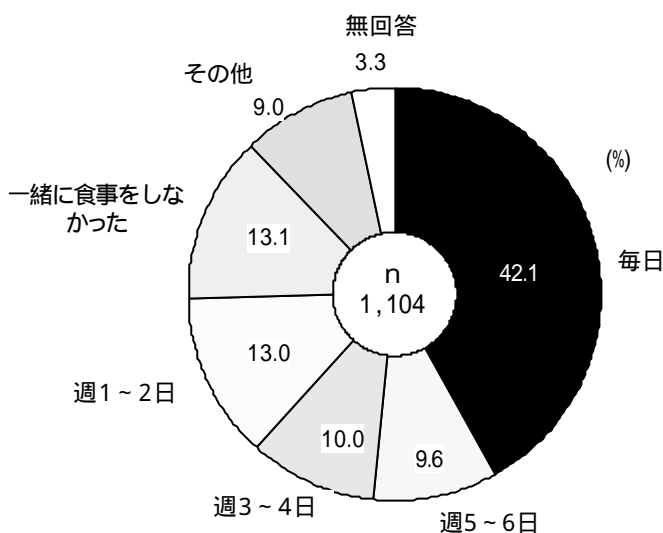
「その他の職場の近く」は、調査票で「前記以外の職場の近く」としていたものを、文脈に合わせ変更したものである。

## (5) 家族との食事

家族との食事は「毎日」が4割強

問11 あなたは最近1週間のうち、何日くらい家族と食事をしましたか。(1つに )

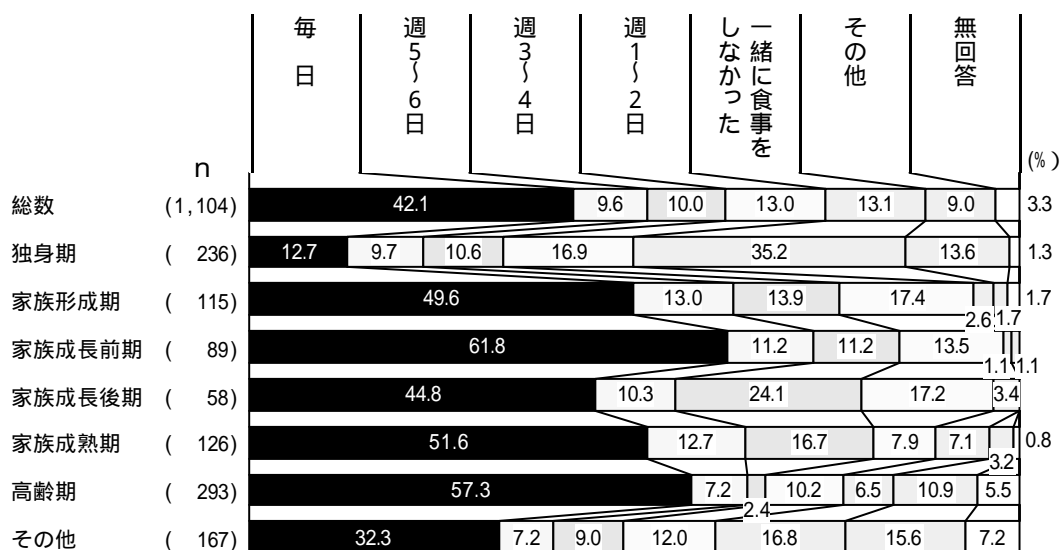
図11-1 家族との食事



最近1週間で家族と食事をした日数を聞いたところ、「毎日」(42.1%)が最も高いものの、「一緒に食事をしなかった」(13.1%)が次に高く、「週1~2日」(13.0%)と続いている(図11-1)。

ライフステージ別でみると、「毎日」の割合は家族成長前期(61.8%)で最も高く、「一緒に食事をしなかった」は独身期(35.2%)で最も高い(図11-2)。

図11-2 家族との食事 ライフステージ別

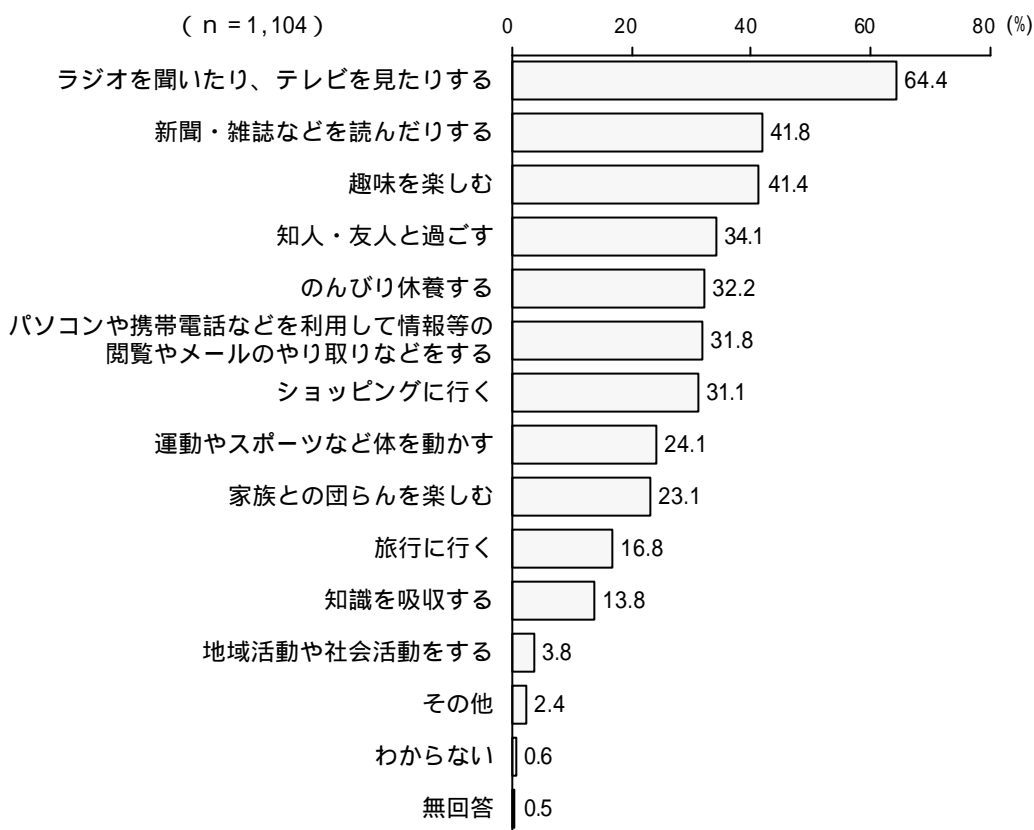


## (6) 自分の自由になる時間の過ごし方

自由時間の過ごし方は「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」が6割台半ば

問12 あなたは、現在、どのようなことをして自分の自由になる時間を過ごしていますか。  
(いくつでも)

図12 - 1 自分の自由になる時間の過ごし方



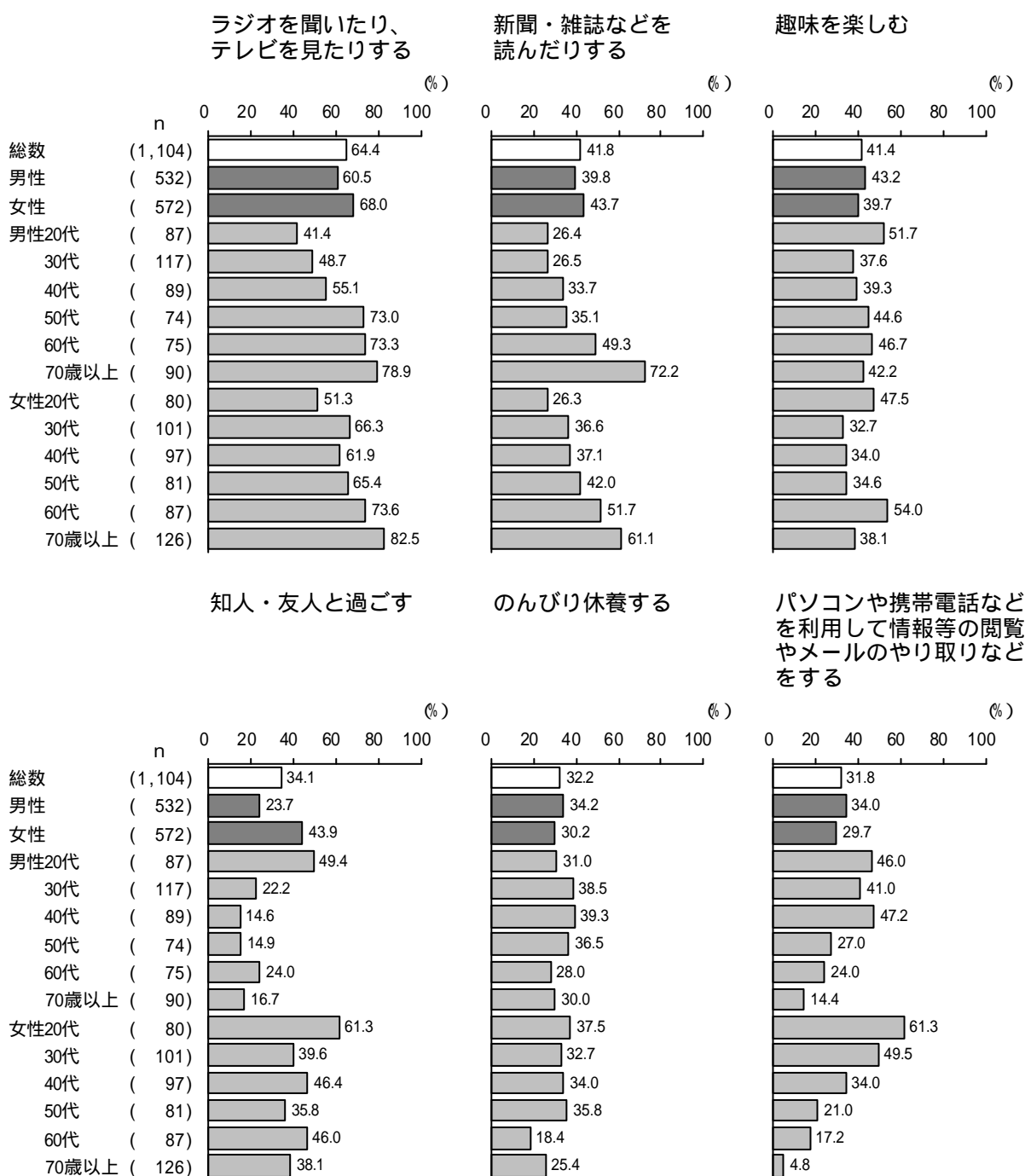
自由時間の過ごし方を聞いたところ、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」(64.4%)が6割台半ばで最も高く、「新聞・雑誌などを読んだりする」(41.8%)と「趣味を楽しむ」(41.4%)が4割強、「知人・友人と過ごす」(34.1%)、「のんびり休養する」(32.2%)、「パソコンや携帯電話などを利用して情報等の閲覧やメールのやり取りなどをする」(31.8%)、「ショッピングに行く」(31.1%)が3割台となっている(図12 - 1)。

性別でみると、男性に比べて女性の方が「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」で8ポイント、「知人・友人と過ごす」で20ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、「ラジオを聞いたり、テレビを見たりする」や「新聞・雑誌などを読んだりする」では男女とも年代が上がるにつれて高く、「知人・友人と過ごす」や「パソコンや携帯電話などを利用して情報等の閲覧やメールのやり取りなどをする」では年代が下がるにつれて高くなっている。

「知人・友人と過ごす」はすべての年代で女性の方が高く、「パソコンや携帯電話などを利用して情報等の閲覧やメールのやり取りなどをする」では女性20代（61.3%）が同年代の男性（46.0%）よりも高い点が目立っている。また、「新聞・雑誌などを読んだりする」は男性70歳以上（72.2%）が特に高い（図12-2）。

図12-2 自分の自由になる時間の過ごし方 性別、性・年代別（上位6項目）

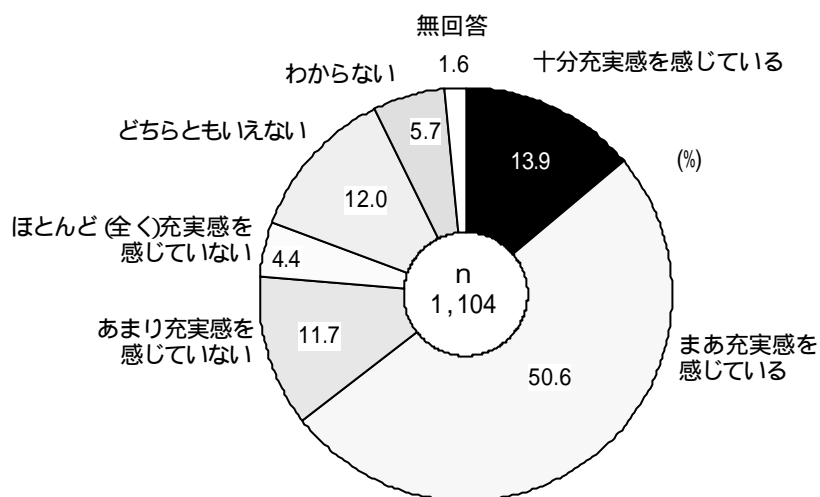


## (7) 生活の中の充実感

生活の中の充実感は『充実感を感じている層』は6割以上

問13 あなたは、日ごろの生活の中で、どの程度充実感を感じていますか。(1つに )

図13 - 1 生活の中の充実感

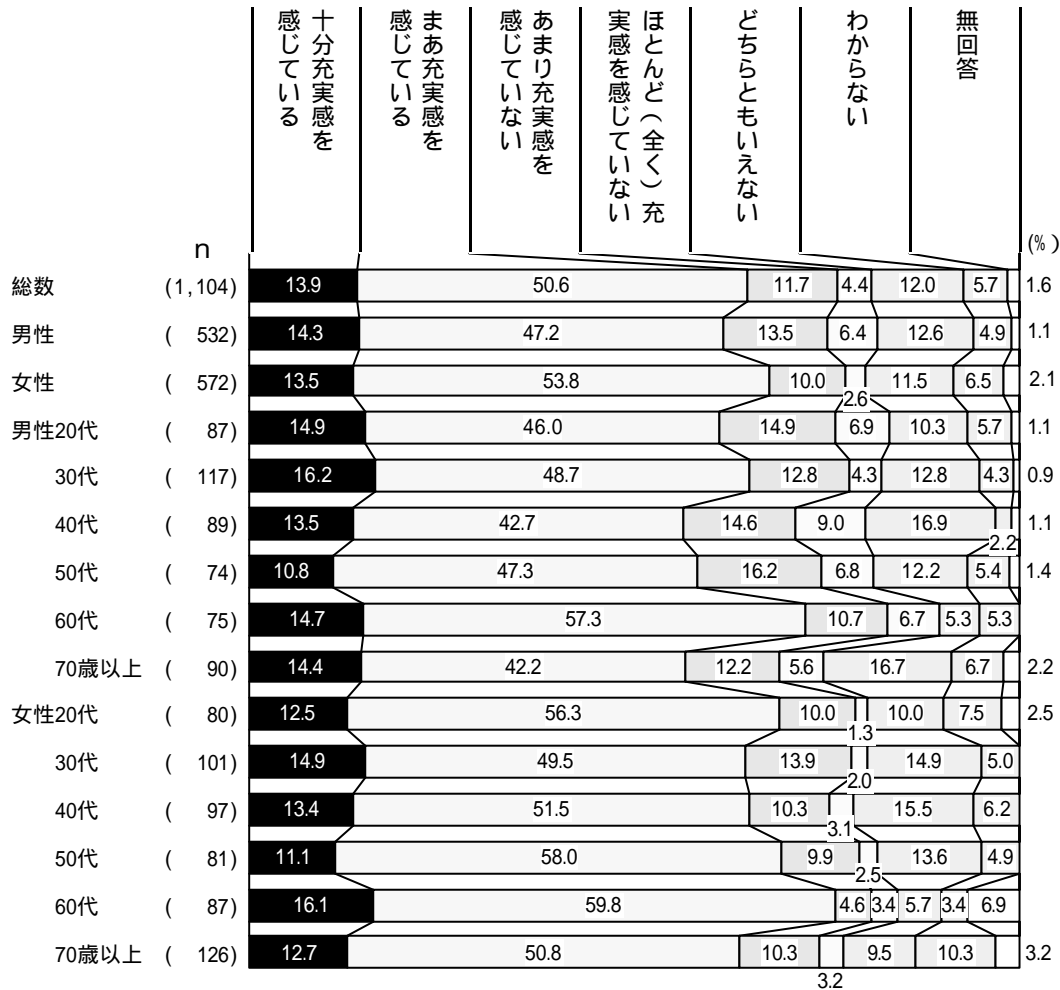


生活の中の充実感について聞いたところ、「十分充実感を感じている」(13.9%)に「まあ充実感を感じている」(50.6%)を加えた『充実感を感じている層』は64.5%を占めている。一方、「あまり充実感を感じていない」(11.7%)に「ほとんど(全く)充実感を感じていない」(4.4%)を加えた『充実感を感じていない層』は16.1%である(図13 - 1)。



性別でみると、『充実感を感じている層』は男性（61.5%）に比べ女性（67.3%）が高くなっている。  
 性・年代別でみると、『充実感を感じている層』は60代が男性（72.0%）女性（75.9%）ともに最も高くなっている（図13 - 2）。

図13 - 2 生活の中の充実感 性別、性・年代別



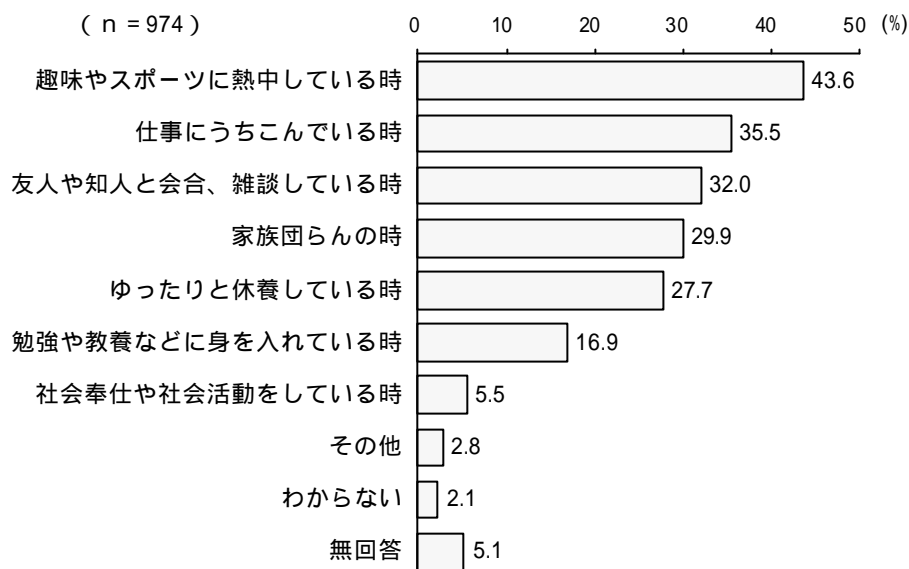
## ( 7 - 1 ) 充実感を感じる時

充実感を感じるのは「趣味やスポーツに熱中している時」が4割強

【問13で「1」～「3」、「5」に をした方に伺います】

問13 - 1 日ごろの生活の中で、充実感を感じるのは、主にどのような時ですか。(いくつでも )

図13 - 3 充実感を感じる時

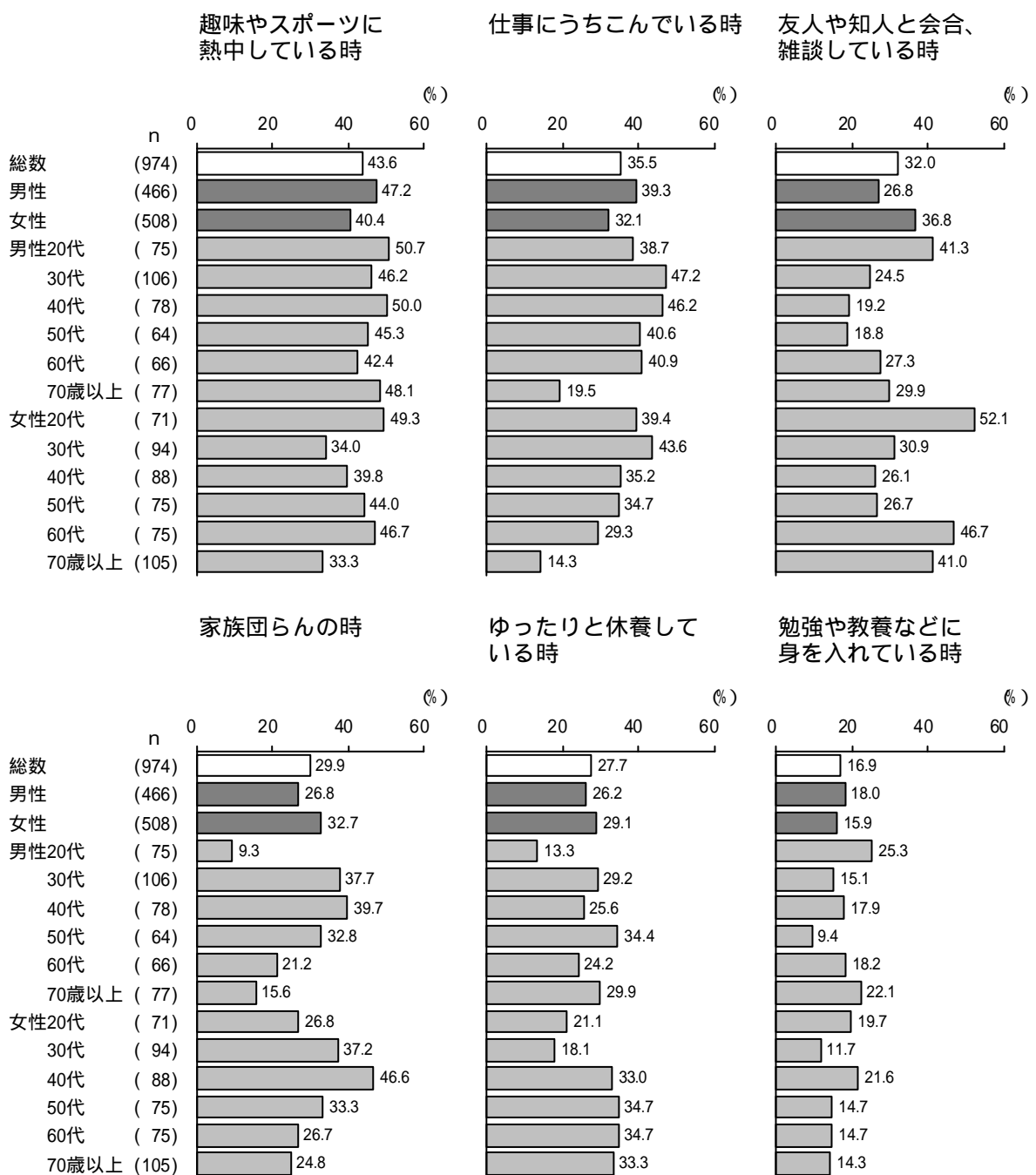


前問で「十分充実感を感じている」、「まあ充実感を感じている」、「あまり充実感を感じていない」、「どちらともいえない」と回答した人に、どのような時に充実感を感じるかを聞いたところ、「趣味やスポーツに熱中している時」(43.6%)、「仕事にうちこんでいる時」(35.5%)、「友人や知人と会合、雑談している時」(32.0%)といった時が高くなっている(図13 - 3)。

性別でみると、男性は「趣味やスポーツに熱中している時」と「仕事にうちこんでいる時」でそれぞれ7ポイント女性よりも高く、女性は「友人や知人と会合、雑談している時」で10ポイント、「家族団らんの時」で6ポイント男性よりも高い。

性・年代別でみると、「趣味やスポーツに熱中している時」は男性では各年代で4割を超えるが、女性は30代と70歳以上でやや低くなっている。「仕事にうちこんでいる時」は、男性では特に30・40代、女性では20・30代で高くなっている。一方、「友人や知人と会合、雑談している時」は男女とも20代、女性の60代・70歳以上で高くなっている。この他、男性20代は「家族団らんの時」が9.3%と特に低いが、「勉強や教養などに身を入れている時」では25.3%と高くなっているなど、性・年代による違いもみられる（図13-4）。

図13-4 充実感を感じる時 性別、性・年代別（上位6項目）

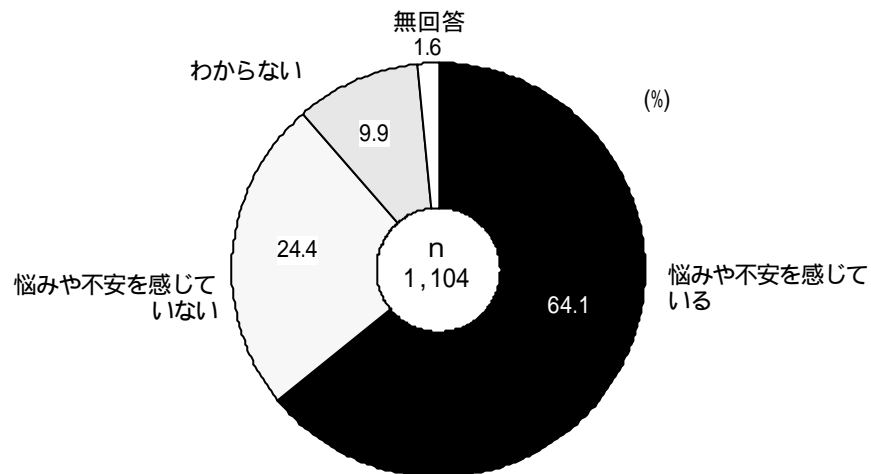


## ( 8 ) 日ごろの不安や悩み

日ごろの生活の中で「悩みや不安を感じている」が6割台半ば

問14 あなたは、日ごろの生活の中で、悩みや不安を感じていますか、それとも悩みや不安を感じていませんか。( 1つに )

図14 - 1 日ごろの不安や悩み

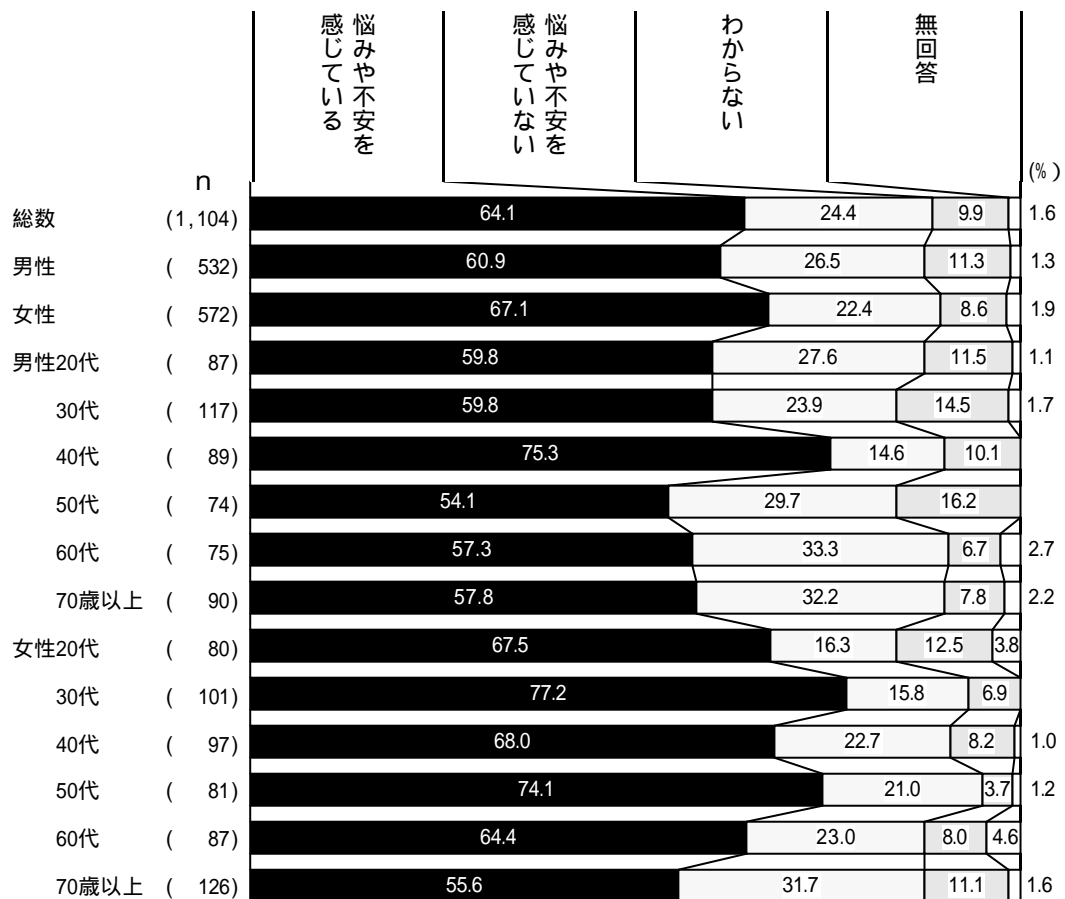


日ごろの生活の中で、悩みや不安を感じているかどうかを聞いたところ、「悩みや不安を感じている」(64.1%)が6割台半ばを占め、「悩みや不安を感じていない」(24.4%)を大きく上回っている(図14 - 1)。

性別でみると、「悩みや不安を感じている」割合は女性（67.1%）が男性（60.9%）を6ポイント上回っている。

性・年代別でみると、「悩みや不安を感じている」割合は男性では40代（75.3%）、女性では30代（77.2%）が最も高い（図14 - 2）。

図14 - 2 日ごろの不安や悩み 性別、性・年代別



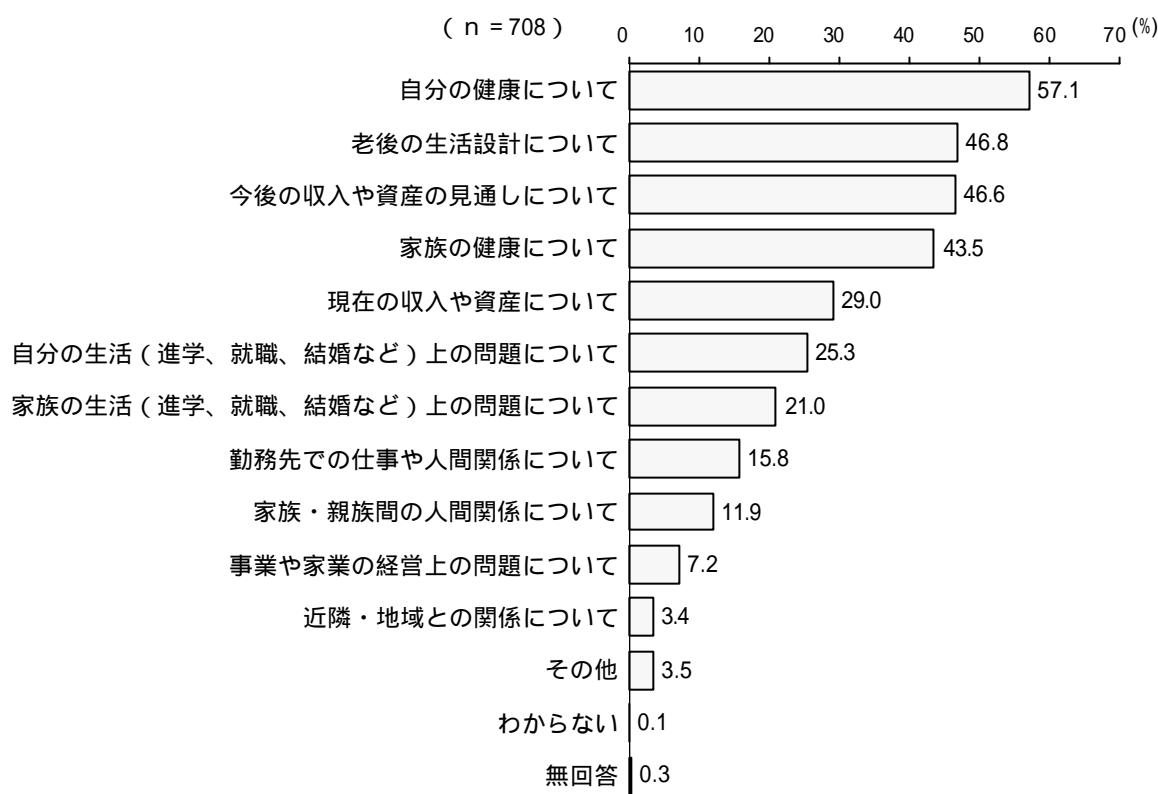
## ( 8 - 1 ) 悩みや不安を感じていること

悩みや不安を感じる内容は「自分の健康について」が5割台半ばでトップ

【問14で「1 悩みや不安を感じている」に をした方に伺います】

問14 - 1 悩みや不安を感じているのは、どのようなことについてですか。(いくつでも )

図14 - 3 悩みや不安を感じていること

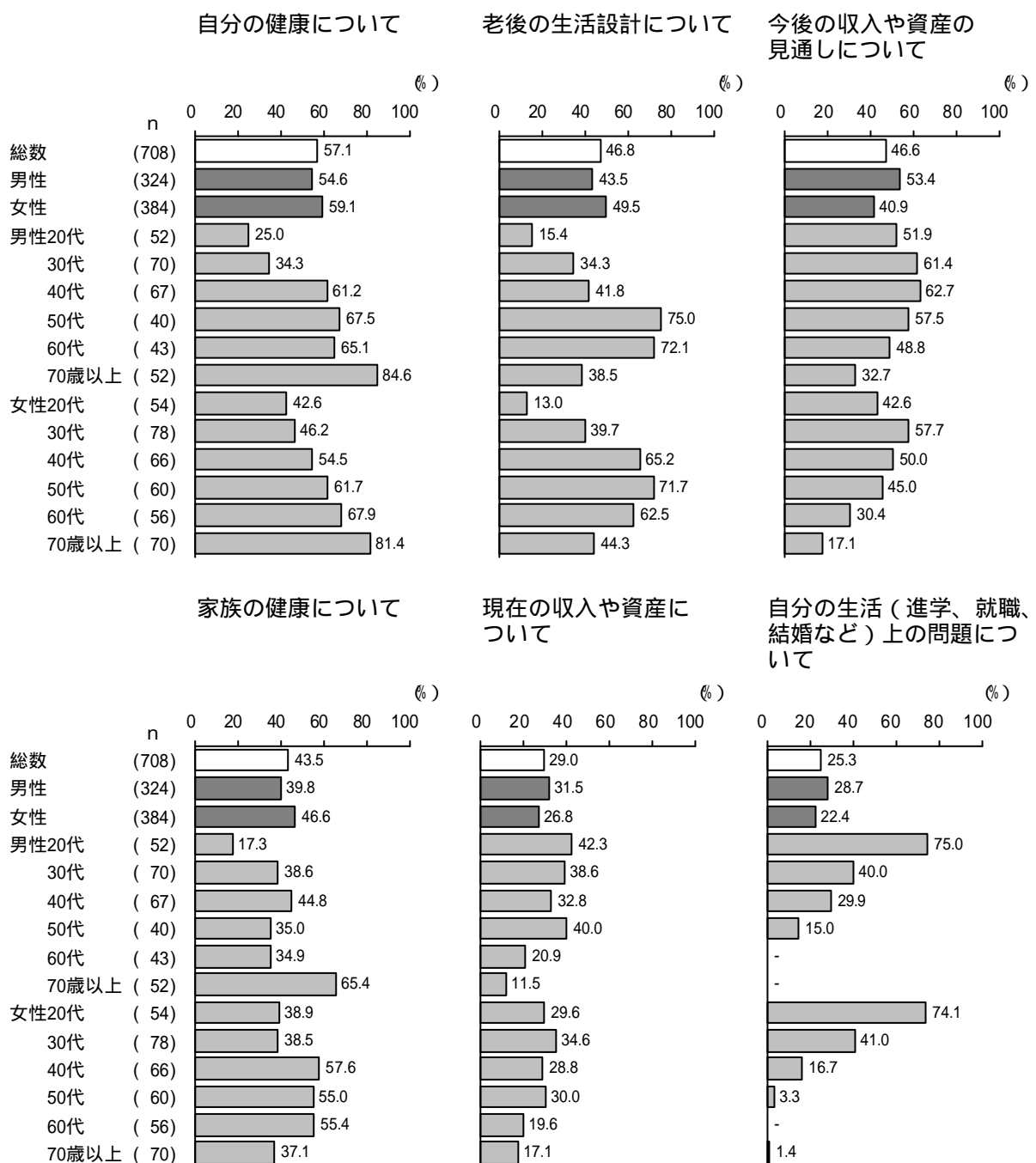


前問で悩みや不安を感じている人に、その内容を聞いたところ、「自分の健康について」( 57.1% ) が特に高く、「老後の生活設計について」( 46.8% )、「今後の収入や資産の見通しについて」( 46.6% )、「家族の健康について」( 43.5% ) が4割台半ばとなっている( 図14 - 3 )。

性別で見ると、「今後の収入や資産の見通しについて」は男性（53.4%）が女性（40.9%）よりも13ポイント高い。また、「現在の収入や資産について」や「自分の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について」でも男性がやや高く、一方、「自分の健康について」、「老後の生活設計について」、「家族の健康について」では女性の方がやや高くなっている。

性・年代別で見ると、「自分の健康について」は男女とも年代が上がるにつれて高い傾向にあり、70歳以上では8割に達している。「老後の生活設計について」は男性では50代と60代、女性では40代から60代で高くなっている。「今後の収入や資産の見通しについて」は男性の30代と40代では6割を超えている。「自分の生活（進学、就職、結婚など）上の問題について」は男女とも20代が7割台半ばで特に高くなっている（図14 - 4）。

図14 - 4 悩みや不安を感じていること 性別、性・年代別（上位6項目）



## 5 区施設の利用状況と職員対応

### (1) 区の施設の利用状況と窓口の職員の印象

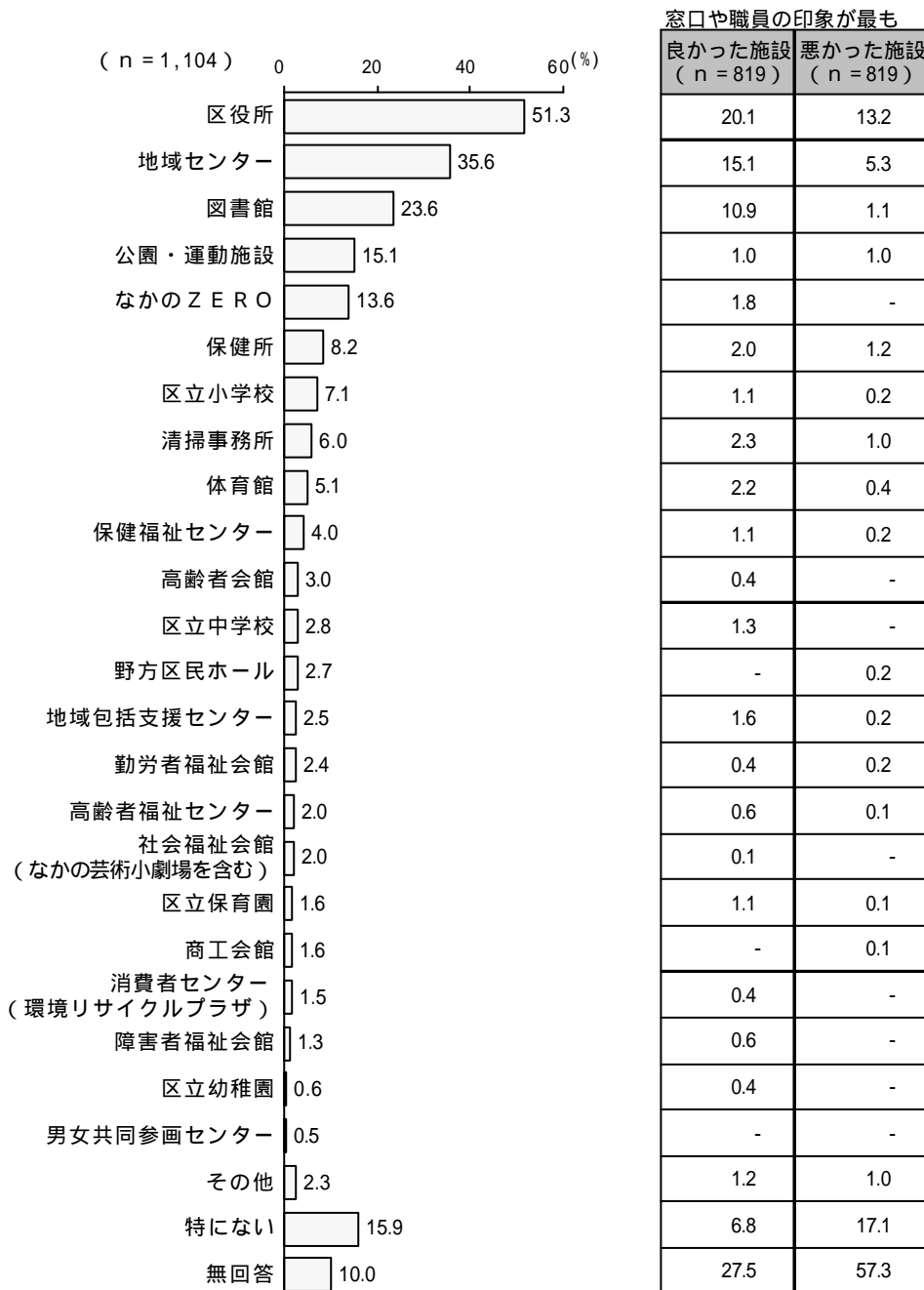
最近1年間に利用または電話をしたことがある施設は「区役所」が5割を超える

問15 次にあげる区の施設のうち、あなたがこの1年間で利用または電話をしたことがあるものはどれですか。(いくつでも)

問16 上記のこの1年間で利用または電話をしたことのある区の施設のうち、窓口や職員の印象が最も良かった施設はどこですか。問15の「1」～「25」の番号を記入してください。(1つ記入)

問17 上記のこの1年間で利用または電話をしたことのある区の施設のうち、窓口や職員の印象が最も悪かった施設はどこですか。問15の「1」～「25」の番号を記入してください。(1つ記入)

図15-1 区の施設の利用状況と窓口の職員の印象



問16と問17のnは問15の「1」～「24」に回答した人数



最近1年間に利用または電話をしたことがある施設を聞いたところ、「区役所」(51.3%)が5割を超えて高く、以下「地域センター」(35.6%)、「図書館」(23.6%)、「公園・運動施設」(15.1%)、「なかのZERO」(13.6%)と続いている(図15-1)。

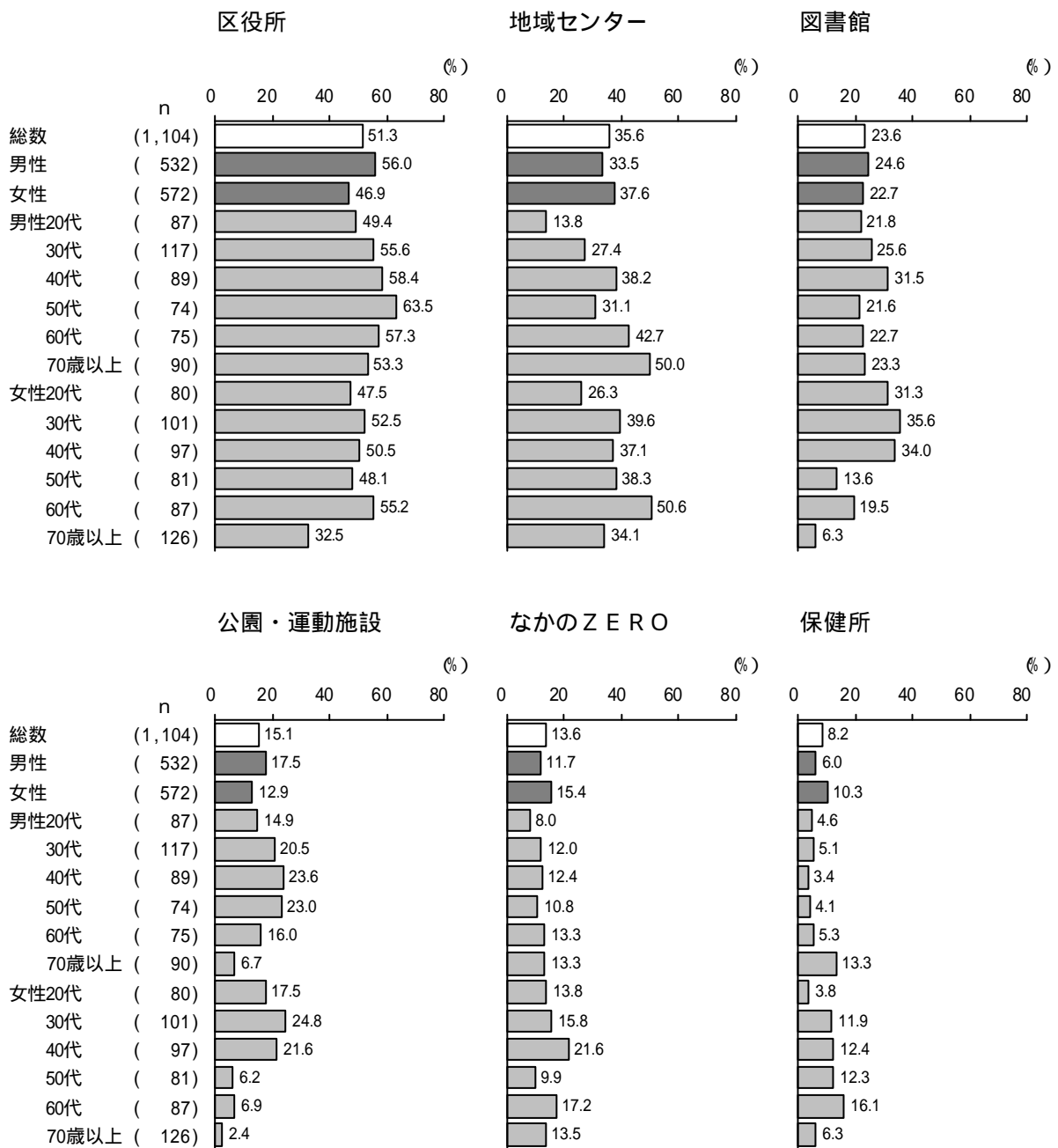
利用または電話をしたことのある区の施設のうち、印象が最も良かった施設を聞いたところ、利用率と同様に「区役所」(20.1%)、「地域センター」(15.1%)、「図書館」(10.9%)の順になっている(図15-1)。

利用または電話をしたことのある区の施設のうち、印象が最も悪かった施設を聞いたところ、回答があった施設の中では「区役所」(13.2%)や「地域センター」(5.3%)が比較的高くなっている(図15-1)。

最近1年間に利用または電話をしたことがある施設を性別で見ると、男女間で最も差が大きいのは、「区役所」で男性が女性に比べ9ポイント高くなっており、「公園・運動施設」では男性が5ポイント女性を上回っている。一方、「地域センター」、「保健所」、「なかのZERO」は女性が男性に比べて4ポイント高い。

性・年代別で見ると、「区役所」は男性50代が63.5%と最も高い。「図書館」は男性で40代、女性で20代から40代がいずれも3割台と高い。「地域センター」は、男性70歳以上と女性60代が5割台と高くなっている(図15-2)。

図15-2 区の施設の利用状況 性別、性・年代別(上位6項目)



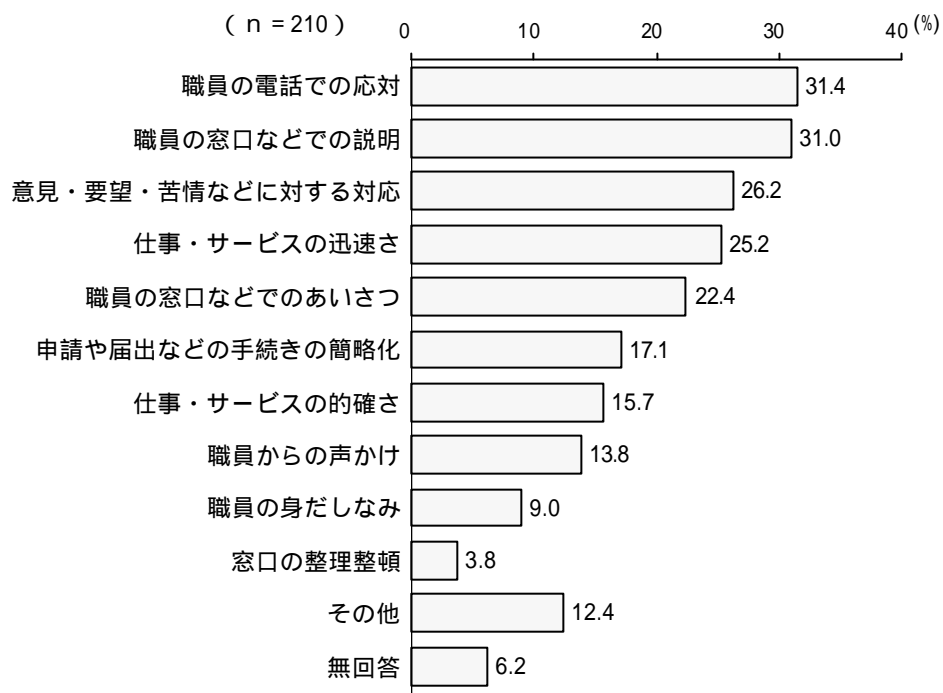
## ( 1 - 1 ) 改善に取り組むべき点

改善に取り組むべき点「職員の電話での対応」「職員の窓口などでの説明」が3割台

【問17で「1」～「24」の番号を記入した方に伺います】

問17 - 1 問17でお答えいただいた印象が悪かった施設の窓口で、今後改善に取り組むべき点は何ですか。(いくつでも )

図15 - 3 改善に取り組むべき点



印象が悪かった施設の窓口で、今後改善に取り組むべき点を聞いたところ、回答のあった210人の中では「職員の電話での対応」(31.4%)、「職員の窓口などでの説明」(31.0%)が3割台と高く、「意見・要望・苦情などに対する対応」(26.2%)、「仕事・サービスの迅速さ」(25.2%)、「職員の窓口などでのあいさつ」(22.4%)といった項目が続いている(図15 - 3)。

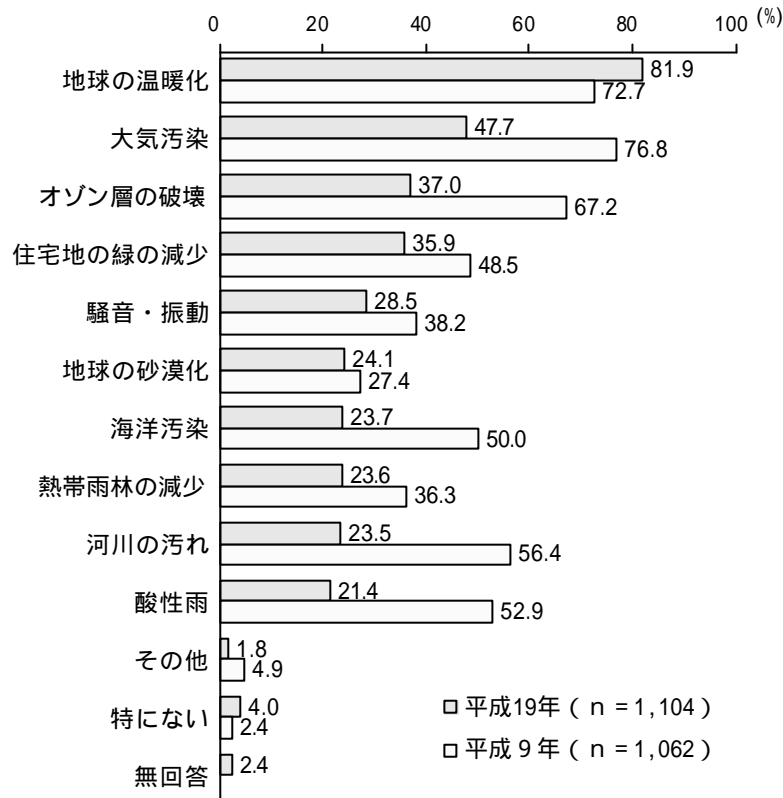
## 6 環境問題

### (1) 関心がある環境問題

関心がある環境問題は「地球の温暖化」が8割台

問18 さまざまな環境問題が指摘されていますが、次の中であなたが関心のあるものをあげてください。(いくつでも)

図16-1 関心がある環境問題



関心がある環境問題を聞いたところ、「地球の温暖化」(81.9%)が突出して高く、「大気汚染」(47.7%)が5割弱、「オゾン層の破壊」(37.0%)と「住宅地の緑の減少」(35.9%)が3割台となっている。

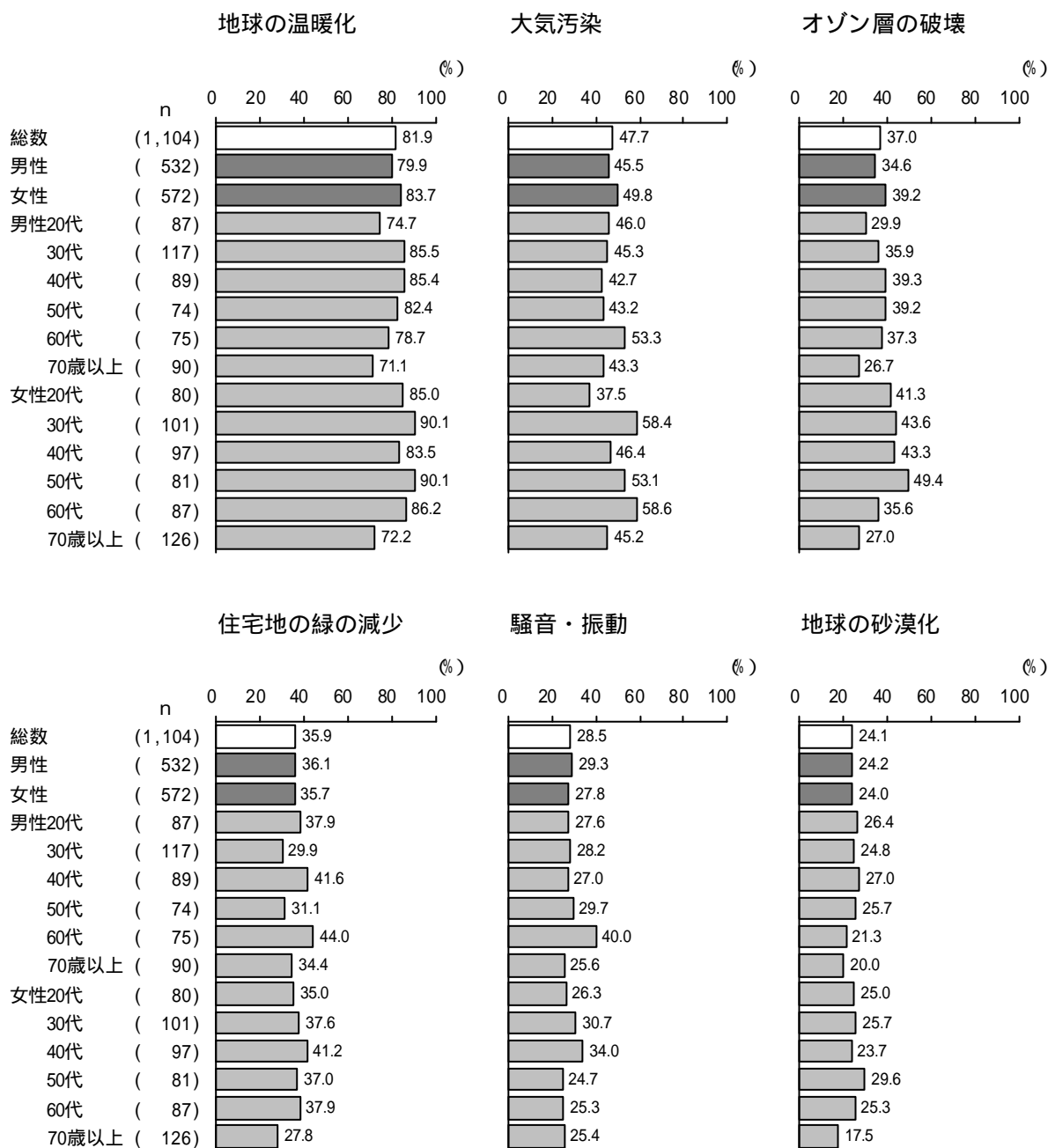
また、10年前(平成9年)の結果と比較すると、今回最も高い「地球の温暖化」を除くすべての項目で割合が低くなっている。中でも、平成9年では第4位の「河川の汚れ」は33ポイント、第5位の「酸性雨」は32ポイントと大きく減少しており、今回は「河川の汚れ」(23.5%)が第9位、「酸性雨」(21.4%)が第10位と順位を下げている。

一方、平成9年に第1位だった「大気汚染」は29ポイント、第3位だった「オゾン層の破壊」は30ポイントと大きく減少しているものの、今回も第2位、第3位と上位3項目に入っている(図16-1)。

性別でみると、男女間で特に目立った違いはみられない。

性・年代別でも大きな違いはみられないが、その中では、「地球の温暖化」は女性30代（90.1%）と50代（90.1%）の比率が9割に達しており、「大気汚染」では、男女60代と女性30代で比較的高く、「オゾン層の破壊」は女性20～50代で4割台と高い。また「住宅地の緑の減少」、「騒音・振動」といった身近な環境問題では、男性では60代、女性では40代で比較的高くなっている（図16 - 2）。

図16 - 2 関心がある環境問題 性別、性・年代別（上位6項目）

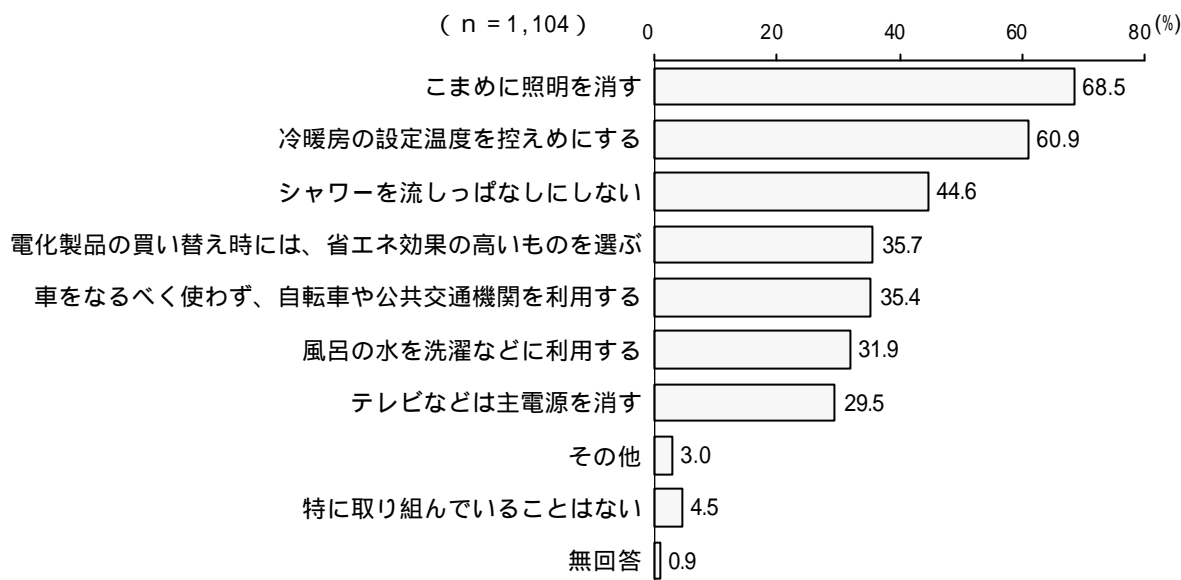


## (2) 省エネルギーのための取り組み

「こまめに照明を消す」、「冷暖房の設定温度を控えめにする」が6割台

問19 あなたの家庭では、地球温暖化防止につながる省エネルギーのため、どのような取り組みをしていますか。(いくつでも)

図17 - 1 省エネルギーのための取り組み

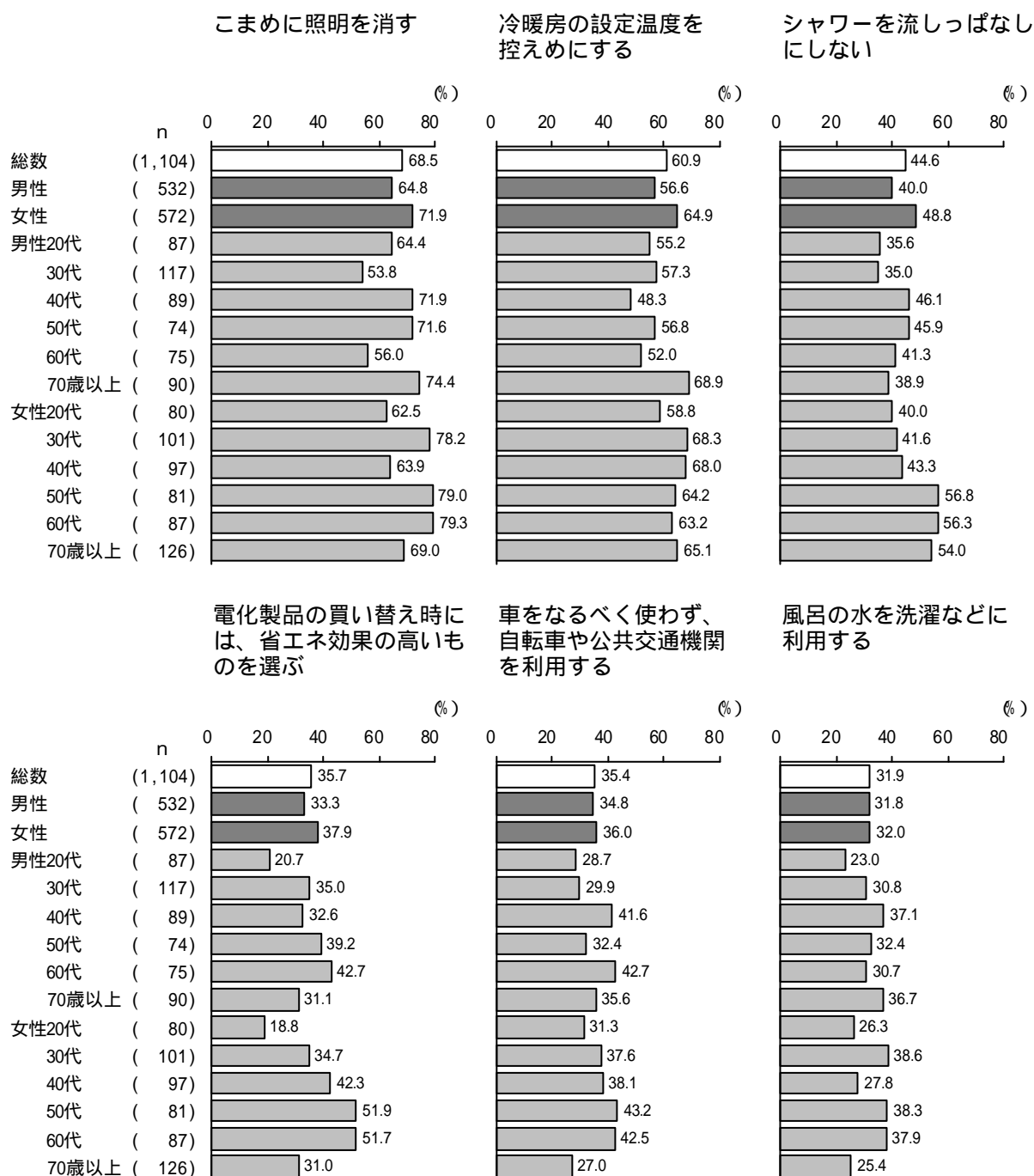


省エネルギーのための取り組みを聞いたところ、「こまめに照明を消す」(68.5%)が7割近くと高く、以下、「冷暖房の設定温度を控えめにする」(60.9%)、「シャワーを流しっぱなしにしない」(44.6%)と続いている。一方、「特に取り組んでいることはない」は4.5%で1割にも満たない(図17 - 1)。

性別でみると、上位6項目はいずれも女性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、「こまめに照明を消す」は多くの年代で6割から7割となる中で、男性の30代（53.8%）と60代（56.0%）では5割台と低くなっている。また、「冷暖房の設定温度を控えめにする」は男性の40代（48.3%）と60代（52.0%）が5割前後で低い。「シャワーを流しっぱなしにしない」は50代以上の女性が5割台半ばで高く、「電化製品の買い替え時には、省エネ効果の高いものを選ぶ」は女性の50代（51.9%）と60代（51.7%）が5割強で高い。「風呂の水を洗濯などに利用する」は女性の40代（27.8%）と70歳以上（25.4%）が同年代の男性に比べて低くなっている（図17-2）。

図17-2 省エネルギーのための取り組み 性別、性・年代別（上位6項目）



## ( 2 - 1 ) 省エネルギーのための取り組みをしない理由

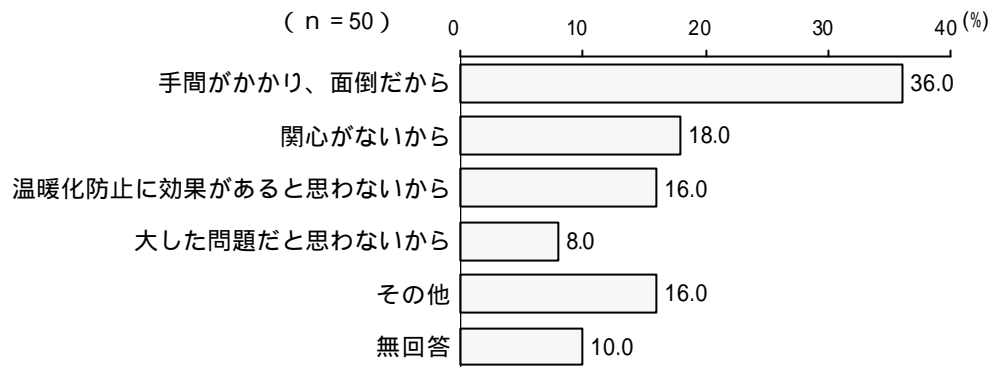
取り組みをしない理由は「手間がかかり、面倒だから」が3割台半ば

【問19で「9 特に取り組んでいることはない」にした方に伺います】

問19 - 1 あなたが、省エネルギーのための取り組みをしていない理由は何ですか。

(いくつでも)

図17 - 3 省エネルギーのための取り組みをしない理由



省エネルギーのための取り組みを特にしていない人(50人)にその理由を聞いたところ、「手間がかかり、面倒だから」(36.0%)が最も高く、3割台半ばから選ばれている(図17 - 3)。

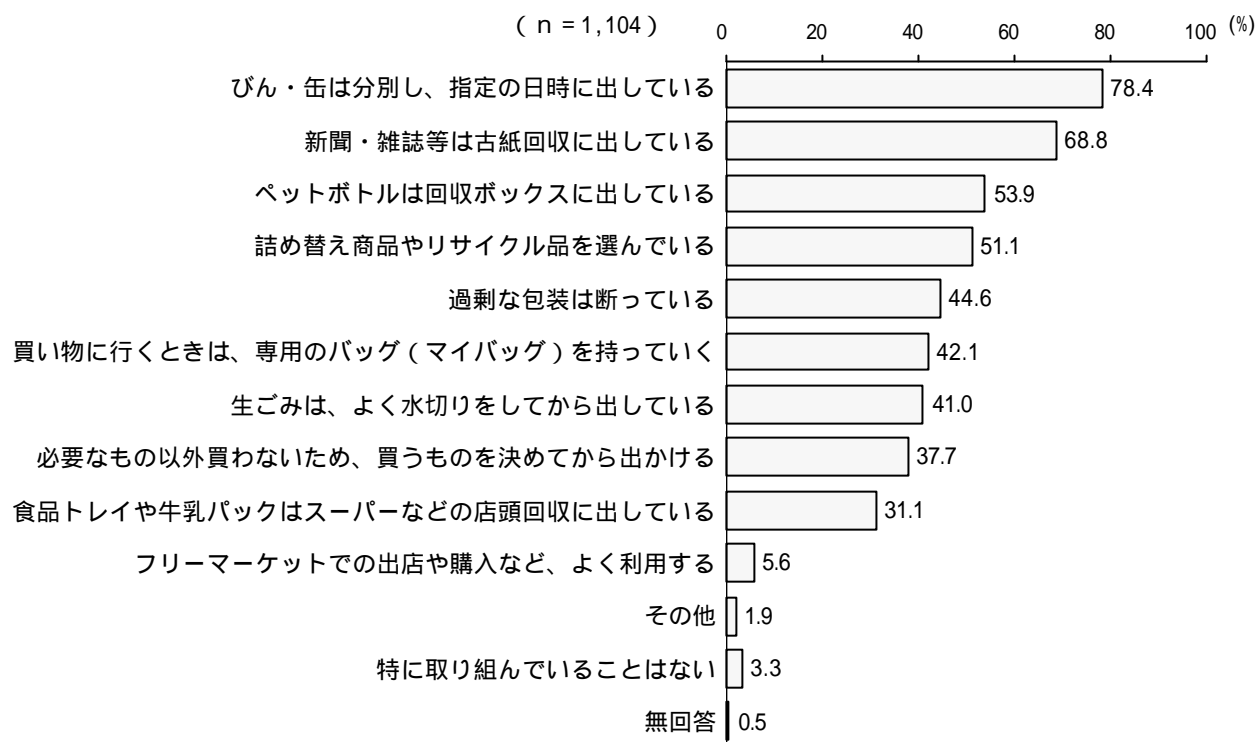


### (3) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるもの

「びん・缶は分別し、指定の日時に出している」が8割近く

問20 あなたが家庭生活の中で、ごみを減らすための実践やリサイクルに取り組んでいるものは何ですか。(いくつでも)

図18 - 1 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるもの

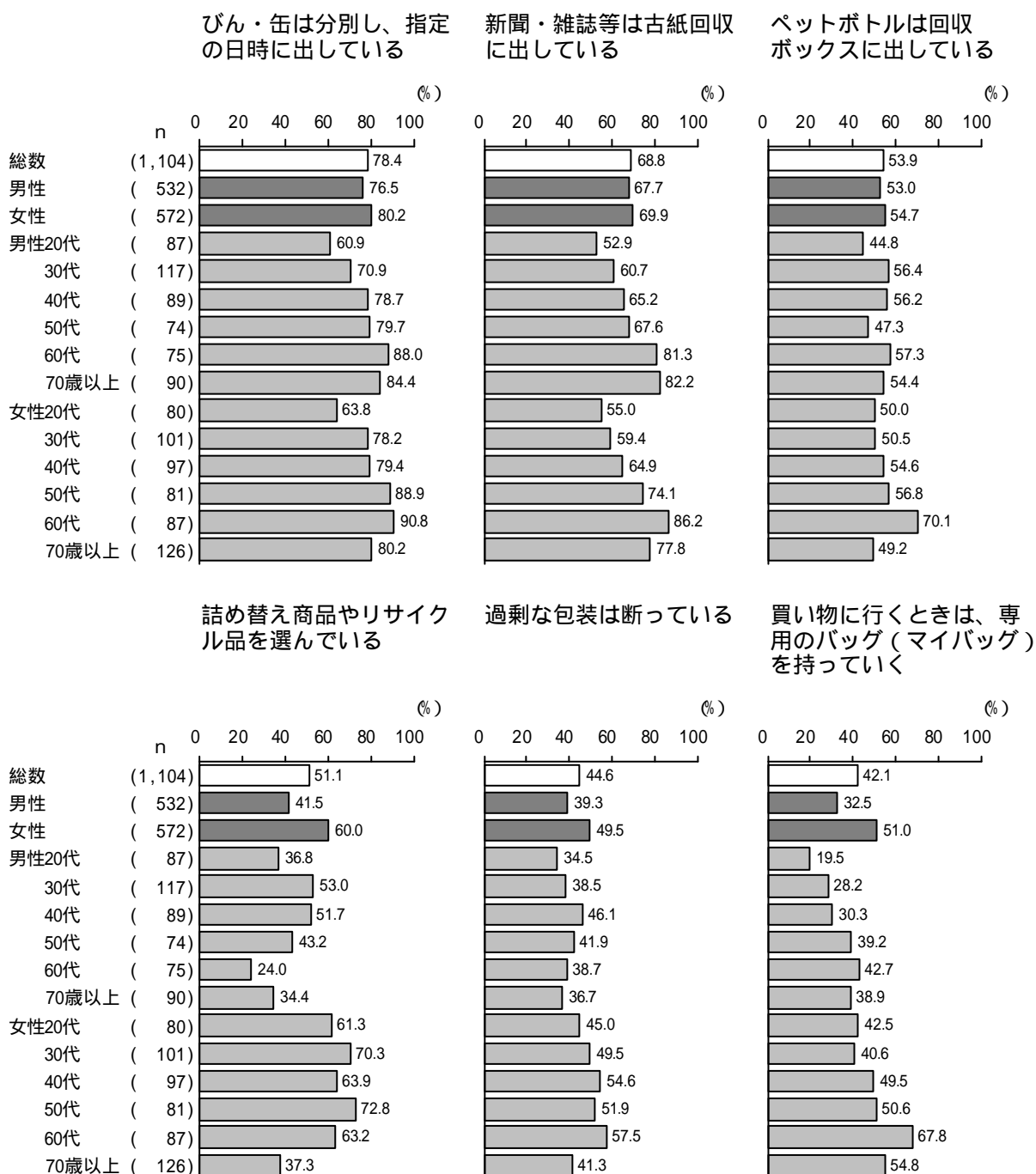


ごみの減量やリサイクルのためにしていることを聞いたところ、8割近くが「びん・缶は分別し、指定の日時に出している」(78.4%)をあげており、以下、「新聞・雑誌等は古紙回収に出している」(68.8%)、「ペットボトルは回収ボックスに出している」(53.9%)、「詰め替え商品やリサイクル品を選んでいる」(51.1%)と続いている(図18 - 1)。

性別でみると、女性は男性よりも「詰め替え商品やリサイクル品を選んでいる」と「買い物に行くときは、専用のバッグ（マイバッグ）を持っていく」で19ポイント、「過剰な包装は断っている」で10ポイントと高くなっている。

性・年代別でみると、「びん・缶は分別し、指定の日時に出している」、「新聞・雑誌等は古紙回収に出している」、「買い物に行くときは、専用のバッグ（マイバッグ）を持っていく」は男女ともに年代が下がるほど低くなる傾向がある。「詰め替え商品やリサイクル品を選んでいる」はすべての年代で女性が高く、特に20代、50代、60代では男女差が大きくなっている（図18 - 2）。

図18 - 2 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいるもの 性別、性・年代別（上位6項目）



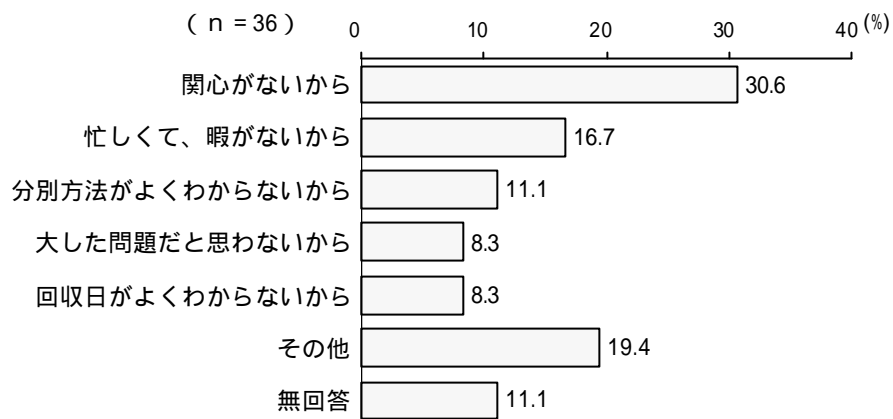
### ( 3 - 1 ) ごみの減量やリサイクルに取り組んでいない理由

取り組んでいない理由は「関心がないから」が3割台

【問20で「12 特に取り組んでいることはない」に をした方に伺います】

問20 - 1 あなたが、ごみを減らすための実践やリサイクルに取り組んでいない理由は何ですか。  
(いくつでも )

図18 - 3 ごみの減量やリサイクルに取り組んでいない理由



ごみの減量やリサイクルのために特に何もしていない人(36人)に、その理由を聞いたところ、「関心がないから」(30.6%)が3割台と最も高く、「その他」(19.4%)、「忙しくて、暇がないから」(16.7%)がこれに次いでいる(図18 - 3)。

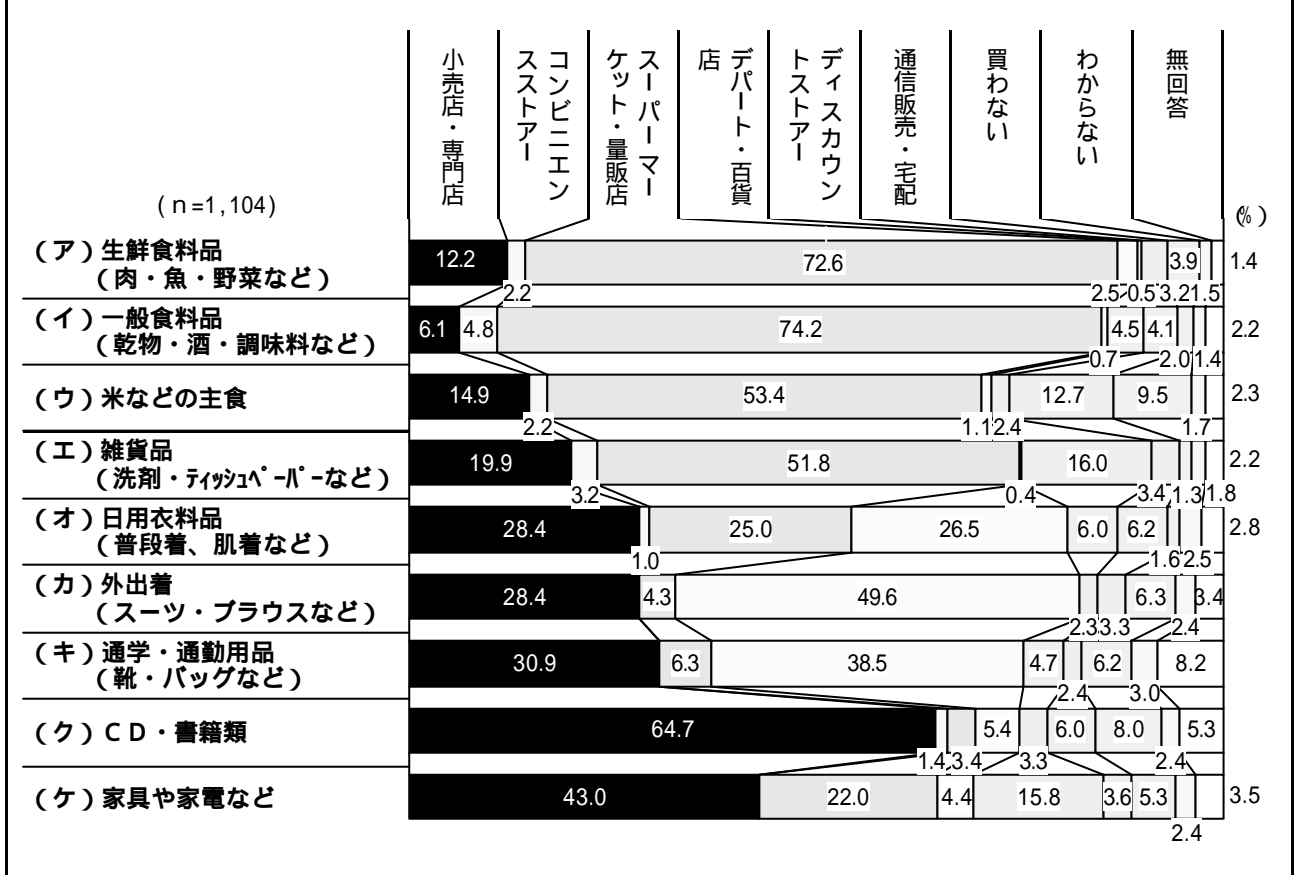
## 7 区民の買物動向

### (1) 最も多く利用する店舗

日常的なものは“スーパーマーケット・量販店”、それ以外は“小売店・専門店”や“デパート・百貨店”が多い

問21 次の(ア)～(ケ)の商品はどこで買うことが最も多いですか。あなたやあなたのご家庭で、最も多く利用している店舗についてお答えください。(それぞれ1つずつ)

図19-1 最も多く利用する店舗



各商品をどのような店舗で購入することが最も多いかを聞いたところ、「生鮮食料品(肉・魚・野菜など)」と「一般食料品(乾物・酒・調味料など)」はいずれも“スーパーマーケット・量販店”の利用率が、「生鮮食料品」(72.6%)、「一般食料品」(74.2%)と7割を超えて高い。「米などの主食」と「雑貨品(洗剤・ティッシュペーパーなど)」ではこの割合が5割強となり、その代わりに“小売店・専門店”などの利用率が高くなる。「外出着(スーツ・ブラウスなど)」と「通学・通勤用品(靴・バッグなど)」は“デパート・百貨店”(「外出着」49.6%、「通学・通勤用品」38.5%)と“小売店・専門店”(「外出着」28.4%、「通学・通勤用品」30.9%)が高いが、「日用衣料品(普段着、肌着など)」はこれらに加えて“スーパーマーケット・量販店”もよく利用されている。「CD・書籍類」や「家具や家電など」では“小売店・専門店”が最も高くなっている(図19-1)。

## (1-1) 購入店舗を選ぶ理由

店舗を選ぶ理由は、食料品では「近い・便利」、全体では「種類が豊富」と「値段が安い」

【問21で「1」～「6」に1つでも をした方に伺います】

問21-1 あなたが(ア)～(ケ)の商品を買う店を選ぶ理由について伺います。

(それぞれいくつでも)

表19-1 購入店舗を選ぶ理由

	n	(%)												
		対応が親切	ポイントサービスがある	クレジットカードが使える	営業時間が長い	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新製品・流行品がある/安全)	品質(ブランド、安心・)	近い・便利	店内が明るく清潔	売り場が広々としている
(ア)生鮮食料品	1,029	9.2	23.1	4.1	19.3	4.1	32.2	37.3	11.3	16.0	43.1	11.3	6.6	2.8
(イ)一般食料品	1,042	5.6	22.6	3.5	19.6	6.0	31.5	38.5	6.2	11.4	43.0	9.4	6.0	3.0
(ウ)米などの主食	955	8.4	16.5	1.9	11.6	16.1	14.1	28.4	4.0	20.4	33.0	5.2	2.8	4.0
(エ)雑貨品	1,046	5.2	17.2	2.2	12.0	3.2	25.5	47.5	2.7	6.5	31.5	4.7	3.3	5.4
(オ)日用衣料品	1,027	8.3	11.7	8.3	5.7	2.6	34.4	35.9	9.7	21.7	16.8	5.7	4.5	5.9
(カ)外出着	971	13.3	8.9	13.8	2.7	1.3	38.9	14.9	22.1	42.5	6.8	8.0	7.6	5.0
(キ)通学通勤用品	913	9.2	8.0	11.0	2.7	1.2	36.4	20.5	14.0	32.6	7.9	5.5	4.5	9.9
(ク)CD・書籍	930	7.0	13.2	4.1	6.6	3.1	54.4	11.5	10.0	6.1	17.3	5.1	8.5	4.4
(ケ)家具・家電	981	14.4	22.1	11.9	5.0	13.7	40.4	39.1	14.6	17.2	8.6	6.3	11.6	3.9

表の網掛けは、その項目で3割以上のもの

各商品を購入する店舗を選ぶ理由を聞いたところ、「生鮮食料品(肉・魚・野菜など)」と「一般食料品(乾物・酒・調味料など)」は「近い・便利」と「値段が安い」が4割前後で高い。「米などの主食」でもこの2点が3割前後となっている。「雑貨品(洗剤・ティッシュペーパーなど)」は「値段が安い」が5割近くを占めている。「日用衣料品(普段着、肌着など)」、「外出着(スーツ・ブラウスなど)」、「通学・通勤用品(靴・バッグなど)」はいずれも「種類や数が豊富」が重視されているが、「日用衣料品(普段着、肌着など)」で「値段が安い」が高いのに対して、「外出着(スーツ・ブラウスなど)」と「通学・通勤用品(靴・バッグなど)」では「品質(ブランド、安心・安全)」が高くなっている。「CD・書籍類」は「種類や数が豊富」が5割台半ばに達し、「家具や家電など」では「値段が安い」と「種類や数が豊富」が重視されている(表19-1)。

問21では商品別にもっとも多く利用する店舗をみており、問21 - 1では「購入店舗を選ぶ理由」についてみてきた。さらにここでは各商品について、店舗別に「購入店舗を選ぶ理由」をみていく（表19 - 2～表19 - 10）。

表19 - 2 購入店舗を選ぶ理由（ア）生鮮食料品

(%)

	n	(ア) 生鮮食料品													
		対応が親切	ポイントサービスがある	クレジツトカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新製品・流行品がある	全品（ド、品質）安心・安全	近い・便利	清潔	店内が明るく	売り場が広々
生鮮食料品	小売店・専門店	135	33.3	3.0	-	5.9	3.7	23.7	30.4	23.0	25.9	26.7	5.9	1.5	3.7
	コンビニエンスストア	24	4.2	-	-	33.3	-	8.3	25.0	-	-	41.7	4.2	-	16.7
	スーパーマーケット・量販店	802	5.1	28.2	4.6	22.4	1.2	34.4	40.9	9.1	13.2	48.3	12.7	7.7	2.4
	デパート・百貨店	28	21.4	21.4	10.7	10.7	10.7	57.1	10.7	25.0	25.0	17.9	14.3	10.7	3.6
	ディスカウントストア	5	-	20.0	-	-	-	20.0	60.0	-	-	-	-	-	-
	通信販売・宅配	35	5.7	2.9	5.7	-	68.6	11.4	8.6	14.3	48.6	14.3	2.9	2.9	-

『生鮮食料品』

全体（前表19 - 1参照）では「近い・便利」と「値段が安い」、「種類や数が豊富」が店舗選択の理由としていずれも高くなっていた。ここで店舗別にみると“スーパーマーケット・量販店”では全体と同様の傾向の他、「ポイントサービスがある」が28.2%と3割近くになっている。一方、“小売店・専門店”は「対応が親切」が33.3%で最も高く、「品質（ブランド、安心・安全）」（25.9%）、「新製品・流行品がある／商品が新鮮」（23.0%）も2割台となっている（表19 - 2）。

表19 - 3 購入店舗を選ぶ理由（イ）一般食料品

(%)

	n	(イ) 一般食料品													
		対応が親切	ポイントサービスがある	クレジツトカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新製品・流行品がある	全品（ド、品質）安心・安全	近い・便利	清潔	店内が明るく	売り場が広々
一般食料品	小売店・専門店	67	29.9	3.0	-	11.9	10.4	35.8	35.8	13.4	9.0	40.3	7.5	4.5	6.0
	コンビニエンスストア	53	1.9	3.8	-	37.7	-	15.1	22.6	1.9	1.9	49.1	1.9	1.9	13.2
	スーパーマーケット・量販店	819	3.8	27.0	3.8	19.9	2.4	33.5	39.8	5.5	10.3	45.1	10.0	6.6	2.4
	デパート・百貨店	8	37.5	12.5	50.0	25.0	12.5	75.0	12.5	25.0	37.5	25.0	37.5	12.5	-
	ディスカウントストア	50	4.0	14.0	2.0	22.0	14.0	16.0	66.0	10.0	8.0	38.0	10.0	8.0	-
	通信販売・宅配	45	2.2	4.4	-	-	62.2	17.8	11.1	6.7	46.7	11.1	4.4	-	-

『一般食料品』

全体では「近い・便利」と「値段が安い」、「種類や数が豊富」が高くなっていた。店舗別にみると、回答者数（n値）の多い“スーパーマーケット・量販店”や“小売店・専門店”では全体と同様の傾向にあるが、“コンビニエンスストア”は「近い・便利」（49.1%）に続いて「営業時間が長い」（37.7%）が選ばれている。また、“通信販売・宅配”では「配達サービスがある」（62.2%）と「品質（ブランド、安心・安全）」（46.7%）が高い（表19 - 3）。

- 1 表の網掛けは、その項目で3割以上のもの。
- 2 n = 30未満のものについては、文章ではふれていない。

表19 - 4 購入店舗を選ぶ理由（ウ）米などの主食

(%)

	n	(ウ)米などの主食													
		対応が親切	ポイントサービスがある	クレジットカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新品・流行品がある	全製・安心・安全	品質(ブランド)	近い・便利	清潔・店内が明るく	売り場が広々
米などの主食	小売店 専門店	164	29.9	2.4	-	1.8	28.7	7.3	8.5	5.5	31.1	18.9	1.8	1.2	4.9
	コンビニエンスストア	24	4.2	8.3	4.2	37.5	-	-	12.5	4.2	4.2	50.0	-	-	8.3
	スーパーマーケット 量販店	589	4.2	24.3	2.5	16.0	1.7	19.5	38.7	4.2	12.9	43.6	7.6	3.9	3.6
	デパート 百貨店	12	8.3	16.7	8.3	16.7	16.7	8.3	8.3	-	33.3	16.7	8.3	8.3	16.7
	ディスカウントストア	26	-	7.7	-	7.7	3.8	7.7	57.7	-	3.8	15.4	-	-	11.5
	通信販売 宅配	140	2.9	3.6	0.7	0.7	67.1	3.6	7.1	2.1	44.3	6.4	0.7	0.7	1.4

『米などの主食』

全体では「近い・便利」、「値段が安い」、「品質（ブランド、安心・安全）」がいずれも高くなっていた。店舗別にみると“スーパーマーケット・量販店”は「近い・便利」、「値段が安い」の他に、「ポイントサービスがある」(24.3%)が高くなっている。一方、“小売店・専門店”では「品質（ブランド、安心・安全）」(31.1%)が最も高く、これに「対応が親切」(29.9%)、「配達サービスがある」(28.7%)が続いている。また、“通信販売・宅配”は「配達サービスがある」とともに「品質（ブランド、安心・安全）」が購入理由になっている（表19 - 4）。

表19 - 5 購入店舗を選ぶ理由（エ）雑貨品

(%)

	n	(エ)雑貨品													
		対応が親切	ポイントサービスがある	クレジットカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新品・流行品がある	全製・安心・安全	品質(ブランド)	近い・便利	清潔・店内が明るく	売り場が広々
雑貨品	小売店 専門店	220	11.8	25.5	2.7	7.3	1.8	30.0	44.1	5.5	8.2	32.3	5.9	3.2	5.5
	コンビニエンスストア	35	5.7	5.7	2.9	25.7	-	14.3	25.7	-	2.9	34.3	-	2.9	20.0
	スーパーマーケット 量販店	572	3.0	18.0	2.3	14.9	0.9	26.0	44.6	1.9	6.6	36.2	4.9	3.7	5.4
	デパート 百貨店	4	-	-	-	-	-	50.0	25.0	-	-	25.0	25.0	25.0	-
	ディスカウントストア	177	4.0	10.7	1.7	8.5	-	22.0	74.0	2.8	2.3	19.2	4.0	2.8	2.8
	通信販売 宅配	38	5.3	-	-	-	63.2	15.8	10.5	-	18.4	13.2	-	-	2.6

『雑貨品』

全体では「値段が安い」、「近い・便利」、「種類や数が豊富」が高くなっていた。店舗別でも、“スーパーマーケット・量販店”と“小売店・専門店”、“ディスカウントストア”では同様の傾向がある。一方、“通信販売・宅配”では「配達サービスがある」が63.2%と高い。また、“コンビニエンスストア”では「近い・便利」(34.3%)に次いで「値段が安い」と「営業時間が長い」がともに25.7%と高い（表19 - 5）。

- 1 表の網掛けは、その項目で3割以上のもの。
- 2 n = 30未満のものについては、文章ではふれていない。

表19 - 6 購入店舗を選ぶ理由（オ）日用衣料品

(%)

		n	(オ) 日用衣料品												
			応対が親切	ポイントがある	クレジットカードが使える	長い営業時間が	があるサービス	配達サービス	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新製品・流行品がある	全製（ド品質）安心・安全	近い・便利	清潔
日用衣料品	小売店 専門店	313	13.4	5.1	3.5	2.6	-	36.1	33.2	8.0	19.5	16.9	6.1	3.8	7.7
	コンビニエンスストア	11	-	9.1	9.1	27.3	-	9.1	27.3	-	9.1	36.4	9.1	-	-
	スーパーマーケット 量販店	276	2.9	17.0	5.4	9.8	0.4	29.3	50.4	4.7	7.6	24.3	5.8	4.7	6.2
	デパート 百貨店	293	10.2	13.3	17.4	5.1	-	43.3	13.0	19.1	44.0	9.9	7.5	6.8	5.5
	ディスカウントストア	66	6.1	7.6	3.0	7.6	-	16.7	75.8	3.0	4.5	13.6	1.5	1.5	3.0
	通信販売 宅配	68	1.5	17.6	7.4	1.5	38.2	29.4	51.5	5.9	11.8	16.2	-	-	2.9

## 『日用衣料品』

全体では「値段が安い」、「種類や数が豊富」、「品質（ブランド、安心・安全）」が高くなっていった。店舗別でみると“小売店・専門店”が同様の傾向となっている。一方、“デパート・百貨店”では、「種類や数が豊富」（43.3%）、「品質（ブランド、安心・安全）」（44.0%）の2つに集中している。また、“スーパーマーケット・量販店”では「値段が安い」（50.4%）が高く、“ディスカウントストア”でも「値段が安い」（75.8%）が高くなっている。“通信販売・宅配”は「値段が安い」（51.5%）に次いで「配達サービスがある」が38.2%と高くなっている（表19 - 6）。

表19 - 7 購入店舗を選ぶ理由（カ）外出着

(%)

		n	(カ) 外出着												
			応対が親切	ポイントがある	クレジットカードが使える	長い営業時間が	があるサービス	配達サービス	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新製品・流行品がある	全製（ド品質）安心・安全	近い・便利	清潔
外出着	小売店 専門店	314	19.1	4.8	8.6	2.5	-	36.6	23.6	17.5	25.8	9.9	5.1	3.8	6.4
	コンビニエンスストア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	スーパーマーケット 量販店	48	2.1	12.5	8.3	12.5	-	22.9	45.8	2.1	10.4	12.5	6.3	10.4	2.1
	デパート 百貨店	548	12.2	10.6	18.1	1.8	0.7	42.9	4.9	28.1	58.6	3.5	10.4	9.9	4.2
	ディスカウントストア	25	4.0	4.0	-	-	-	24.0	60.0	4.0	8.0	12.0	4.0	8.0	12.0
	通信販売 宅配	36	-	16.7	11.1	5.6	25.0	30.6	19.4	11.1	11.1	19.4	2.8	2.8	5.6

## 『外出着』

全体では「品質（ブランド、安心・安全）」と「種類や数が豊富」に次いで「新製品・流行品がある／商品が新鮮」が高くなっていった。店舗別にみると、“デパート・百貨店”がこれと同じ傾向である。一方、“小売店・専門店”は「種類や数が豊富」（36.6%）に次いで、「品質（ブランド、安心・安全）」（25.8%）、「値段が安い」（23.6%）が高く、“スーパーマーケット・量販店”では「値段が安い」が45.8%と高くなっている（表19 - 7）。

- 1 表の網掛けは、その項目で3割以上のもの。
- 2 n = 30未満のものについては、文章ではふれていない。



表19 - 8 購入店舗を選ぶ理由（キ） 通学通勤用品

(%)

		n	(キ) 通学通勤用品												
			対応が親切	ポイントサービスがある	クレジツトカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新品・流行品がある	全ド品質（安心・安全）	近い・便利	清潔	店内が明るく
通学通勤用品	小売店 専門店	341	12.3	5.0	6.7	2.1	0.3	33.1	22.6	9.1	24.3	10.6	3.5	2.1	12.9
	コンビニエンスストア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	スーパーマーケット 量販店	69	1.4	11.6	2.9	8.7	-	33.3	46.4	2.9	2.9	10.1	4.3	5.8	13.0
	デパート 百貨店	425	9.4	10.8	16.7	2.6	1.2	42.8	7.5	20.2	47.5	3.8	8.2	6.8	7.5
	ディスカウントストア	52	1.9	-	1.9	-	-	19.2	73.1	7.7	13.5	11.5	-	1.9	5.8
	通信販売 宅配	26	-	7.7	11.5	3.8	19.2	15.4	30.8	19.2	15.4	26.9	-	-	7.7

『通学通勤用品』

全体では「種類や数が豊富」、「品質（ブランド、安全・安心）」、「値段が安い」が高くなっていった。店舗別にみると、「デパート・百貨店」では全体と同様の傾向だが、「品質（ブランド、安全・安心）」（47.5%）や「種類や数が豊富」（42.8%）が特に高く、次いで「新品・流行品がある / 商品が新鮮」が20.2%と高い。「小売店・専門店」と「ディスカウントストア」では全体と同様の傾向である。一方、「スーパーマーケット・量販店」は「品質（ブランド、安全・安心）」（2.9%）よりも「ポイントサービスがある」が11.6%と高くなっている（表19 - 8）。

表19 - 9 購入店舗を選ぶ理由（ク） CD・書籍

(%)

		n	(ク) CD・書籍												
			対応が親切	ポイントサービスがある	クレジツトカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新品・流行品がある	全ド品質（安心・安全）	近い・便利	清潔	店内が明るく
CD・書籍	小売店 専門店	714	8.3	11.5	3.4	6.0	0.7	57.8	7.0	11.1	6.7	16.7	5.2	9.9	4.2
	コンビニエンスストア	16	-	-	-	12.5	-	31.3	12.5	-	-	50.0	-	-	6.3
	スーパーマーケット 量販店	38	2.6	28.9	5.3	10.5	2.6	42.1	28.9	7.9	7.9	5.3	5.3	7.9	5.3
	デパート 百貨店	60	3.3	18.3	5.0	3.3	-	56.7	8.3	6.7	5.0	11.7	6.7	5.0	6.7
	ディスカウントストア	36	2.8	19.4	-	11.1	-	33.3	63.9	5.6	5.6	11.1	8.3	5.6	-
	通信販売 宅配	66	3.0	18.2	13.6	9.1	34.8	39.4	24.2	7.6	1.5	31.8	1.5	-	6.1

『CD・書籍』

全体では「種類や数が豊富」が特に高く、「近い・便利」、「ポイントサービスがある」がともに1割台と続いていた。店舗別にみても、どの店舗でも同様のものが重視されているが、「ディスカウントストア」では「値段が安い」（63.9%）が、「通信販売・宅配」では「配達サービスがある」（34.8%）も高くなっている（表19 - 9）。

- 1 表の網掛けは、その項目で3割以上のもの。
- 2 n = 30未満のものについては、文章ではふれていない。

表19 - 10 購入店舗を選ぶ理由（ケ）家具・家電

(%)

		n	(ケ)家具・家電											無回答	
			対応が親切	ポイントサービスがある	クレジットカードが使える	長い営業時間が	配達サービスがある	種類や数が豊富	値段が安い	商品が新鮮	新品・流行品がある	全品（ブランド・安心・安全）	近い・便利		清潔
家具・家電	小売店 専門店	475	22.3	21.3	10.9	4.4	11.8	40.6	26.5	14.1	20.6	8.8	6.9	12.2	4.2
	コンビニエンスストア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	スーパーマーケット 量販店	243	8.2	28.4	13.6	5.8	15.2	49.4	47.7	14.4	9.5	8.6	6.2	10.3	2.5
	デパート 百貨店	49	8.2	12.2	8.2	2.0	10.2	36.7	20.4	18.4	32.7	8.2	6.1	12.2	6.1
	ディスカウントストア	174	6.3	20.7	13.8	5.2	12.6	32.2	64.9	14.9	17.2	6.3	6.3	14.4	3.4
	通信販売 宅配	40	-	12.5	10.0	10.0	35.0	22.5	47.5	15.0	5.0	15.0	-	-	7.5

『家具・家電』

全体では「種類や数が豊富」、「値段が安い」、「ポイントサービスがある」が高くなっていった。店舗別にみると、“小売店・専門店”は「種類や数が豊富」(40.6%)、「値段が安い」(26.5%)に次いで「対応が親切」(22.3%)が高い。“スーパーマーケット・量販店”と“ディスカウントストア”については全体と同様の傾向である。さらに、“デパート・百貨店”では「種類や数が豊富」(36.7%)に次いで「品質(ブランド、安全・安心)」が32.7%と高く、“通信販売・宅配”では「配達サービスがある」が「値段が安い」に次いで高くなっている(表19-10)。

- 1 表の網掛けは、その項目で3割以上のもの。
- 2 n = 30未満のものについては、文章ではふれていない。

## (2) 購入地区

日常的な食料・雑貨は、「自宅近く」「中野区内」が多く、それ以外は「新宿」が多い

問22 次の(ア)～(ケ)の商品は、どこで買うことが最も多いですか。(それぞれ1つずつ)

表20 - 1 購入地区

n=1,104	(% )												
	自宅近く	中野区内	高円寺・阿佐ヶ谷	吉祥寺	新宿	渋谷	池袋	銀座・丸の内	左記以外の職場の近く	通信販売・宅配	その他	買わない	無回答
(ア)生鮮食料品	54.6	27.1	5.1	0.2	2.4	0.3	0.4	-	0.2	3.3	1.3	3.0	2.4
(イ)一般食料品	55.2	28.4	4.2	0.2	1.7	0.3	0.1	-	0.2	3.8	1.4	2.2	2.5
(ウ)米などの主食	45.7	22.2	3.1	0.2	1.1	0.2	-	-	0.5	12.0	3.6	7.5	4.1
(エ)雑貨品	45.2	31.3	5.8	0.4	5.4	0.5	0.3	0.2	0.5	2.7	2.2	1.5	4.1
(オ)日用衣料品	22.9	27.3	4.8	1.4	22.4	1.3	1.5	0.9	0.7	5.4	4.4	1.6	5.3
(カ)外出着	4.9	14.5	2.4	1.9	48.1	1.8	3.7	3.1	0.6	3.4	5.8	4.0	5.9
(キ)通学通勤用品	7.8	17.5	2.5	1.5	35.4	1.0	2.7	1.7	0.8	2.3	5.2	6.6	14.9
(ク)CD・書籍	16.2	22.8	4.1	0.8	26.3	2.1	2.7	0.7	1.6	5.2	2.8	5.9	8.8
(ケ)家具・家電	10.6	17.5	2.2	0.5	41.1	1.1	1.6	0.3	0.4	3.8	10.0	3.9	7.1

表の網掛けは、その項目で最も大きい値

各商品を購入する場所はどこが最も多いかを聞いたところ、「生鮮食料品(肉・魚・野菜など)」、「一般食料品(乾物・酒・調味料など)」、「米などの主食」、「雑貨品(洗剤・ティッシュペーパーなど)」はいずれも“自宅近く”が最も高く、“中野区内”がこれに次いでいる。「日用衣料品(普段着、肌着など)」は“中野区内”、“自宅近く”、“新宿”が2割台となっている。「外出着(スーツ・ブラウスなど)」、「通学・通勤用品(靴・バッグなど)」、「CD・書籍類」、「家具や家電など」は“新宿”が最も高く、“中野区内”がこれに次いでいる(表20 - 1)。

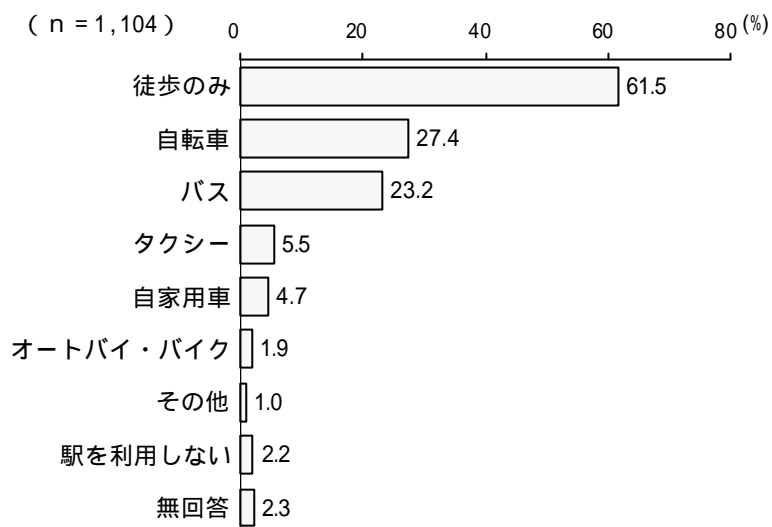
## 8 交通手段

### (1) 最寄り駅までの交通手段

最寄りの駅までの交通手段は「徒歩のみ」が6割強

問23 あなたは通勤・通学を含め最寄りの駅までの交通手段として、ふだん何を利用していますか。(いくつでも)

図21 - 1 最寄り駅までの交通手段

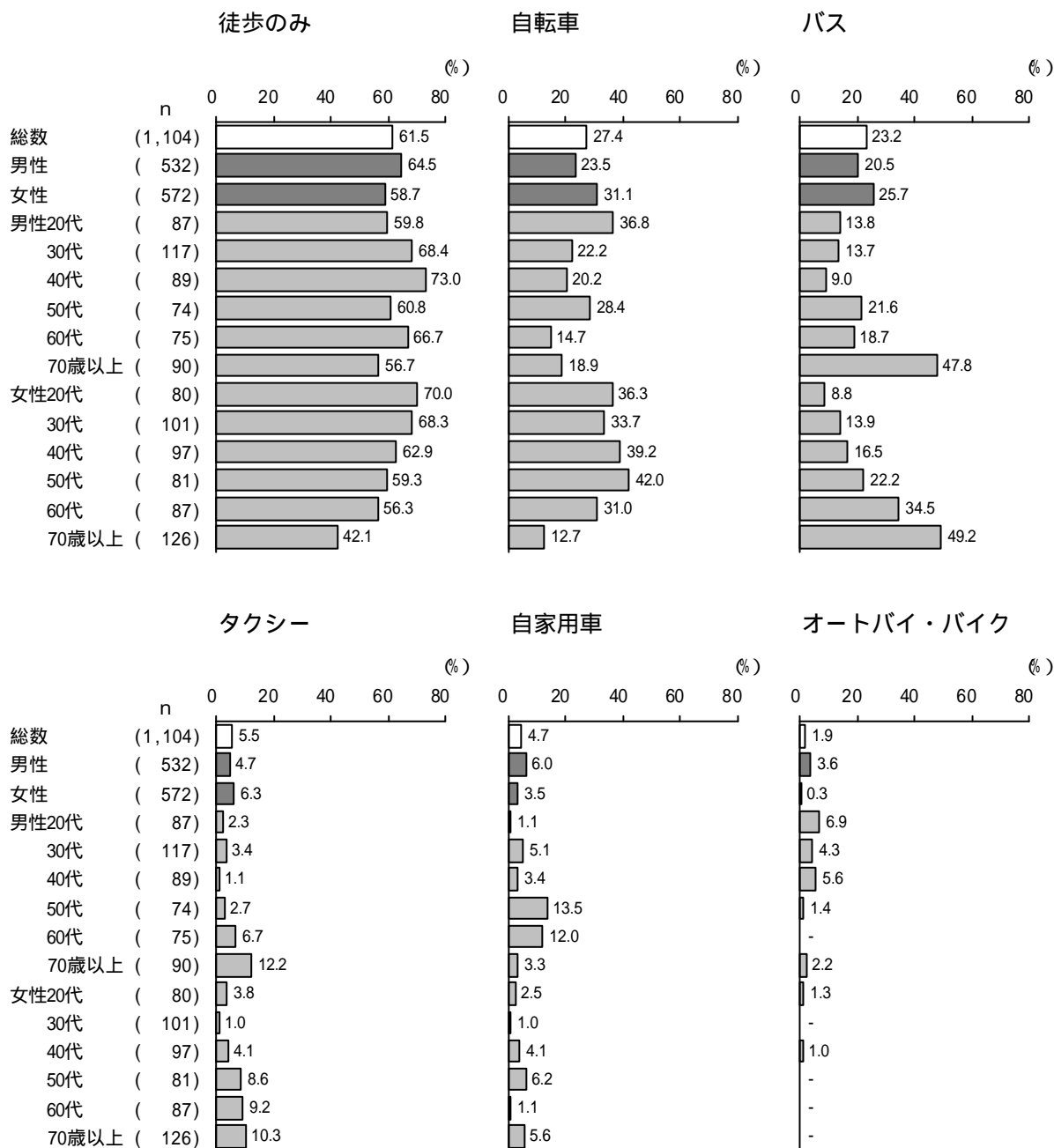


最寄りの駅までの交通手段を聞いたところ、「徒歩のみ」(61.5%)が6割強で突出しており、「自転車」(27.4%)と「バス」(23.2%)が2割台でこれに続いている(図21 - 1)。

性別でみると、男女間で最も差が大きい「自転車」は女性が男性に比べて8ポイント高く、「バス」についても5ポイント高い。一方、「徒歩のみ」は男性が女性に比べて6ポイント高い。

性・年代別でみると、「徒歩のみ」については、女性では年代が下がるにつれ高い傾向にあり、男性では40代が73.0%と最も高い。「自転車」は男性では20代が高く、女性では40代と50代が4割前後と高くなっている。「バス」は男女とも70歳以上で約5割と高い(図21-2)。

図21-2 最寄り駅までの交通手段 性別、性・年代別

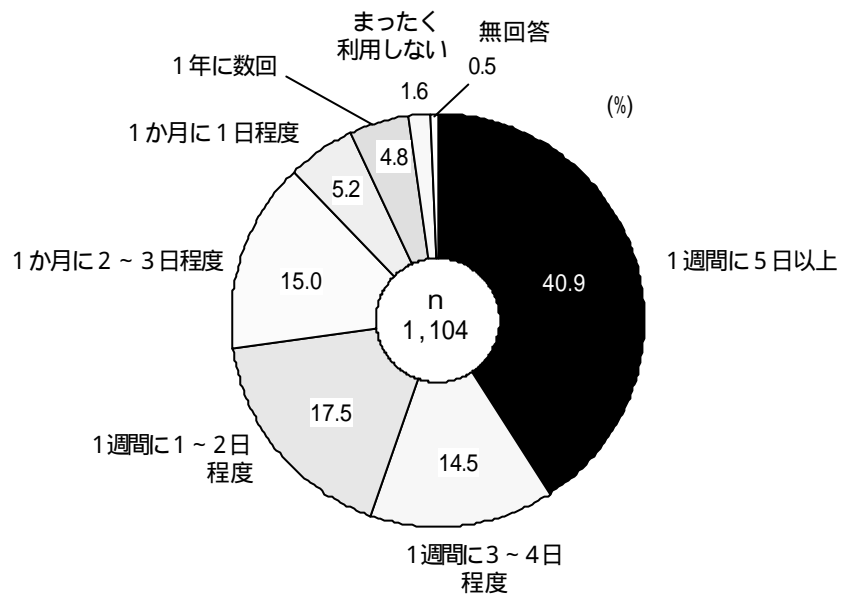


## (2) 公共交通機関の利用頻度

「1週間に5日以上」が4割を占める

問24 あなたは電車や路線バスなどの公共交通機関をどのくらい利用しますか。(1つに )

図22 - 1 公共交通機関の利用頻度

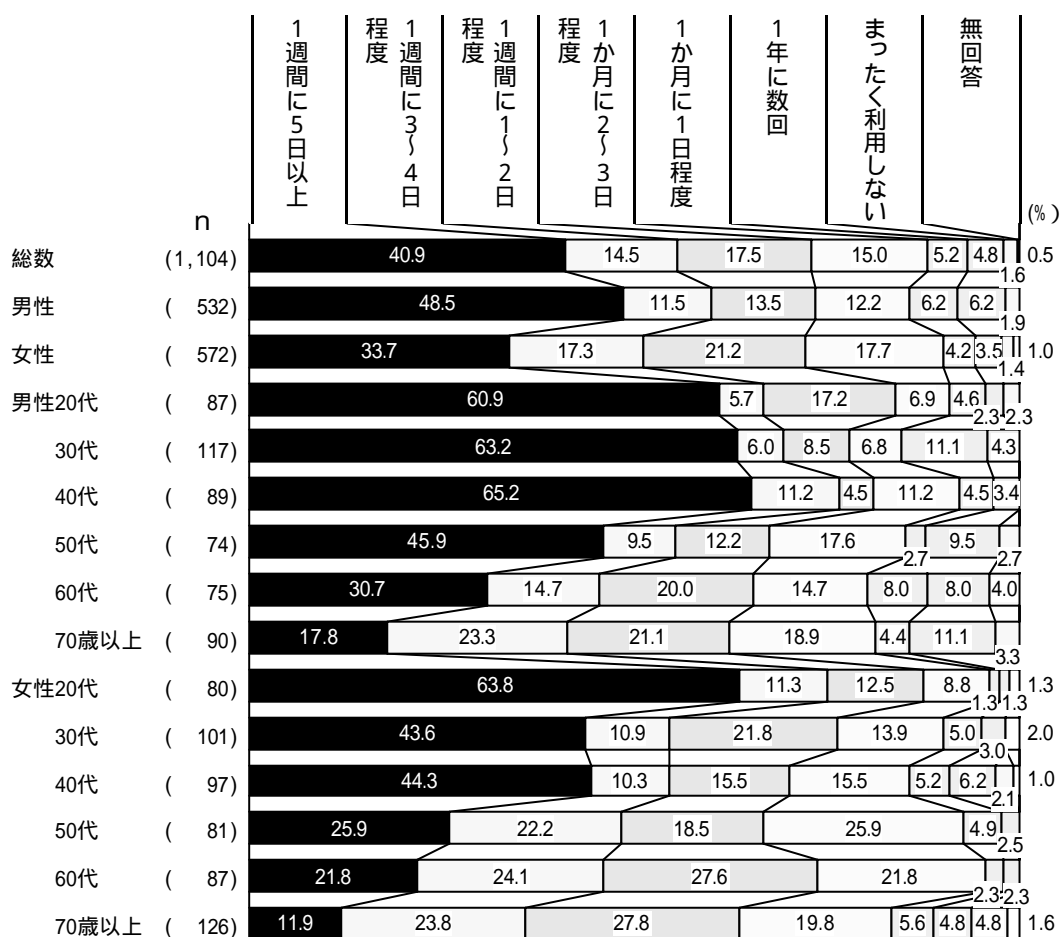


電車や路線バス等の公共交通機関の利用頻度を聞いたところ、「1週間に5日以上」(40.9%)が4割を占め、「1週間に3~4日程度」(14.5%)、「1週間に1~2日程度」(17.5%)、「1か月に2~3日程度」(15.0%)はいずれも1割台となっている(図22-1)。

性別でみると、男性の半数近くが「1週間に5日以上」(48.5%)であるのに対して、女性は33.7%となっている。

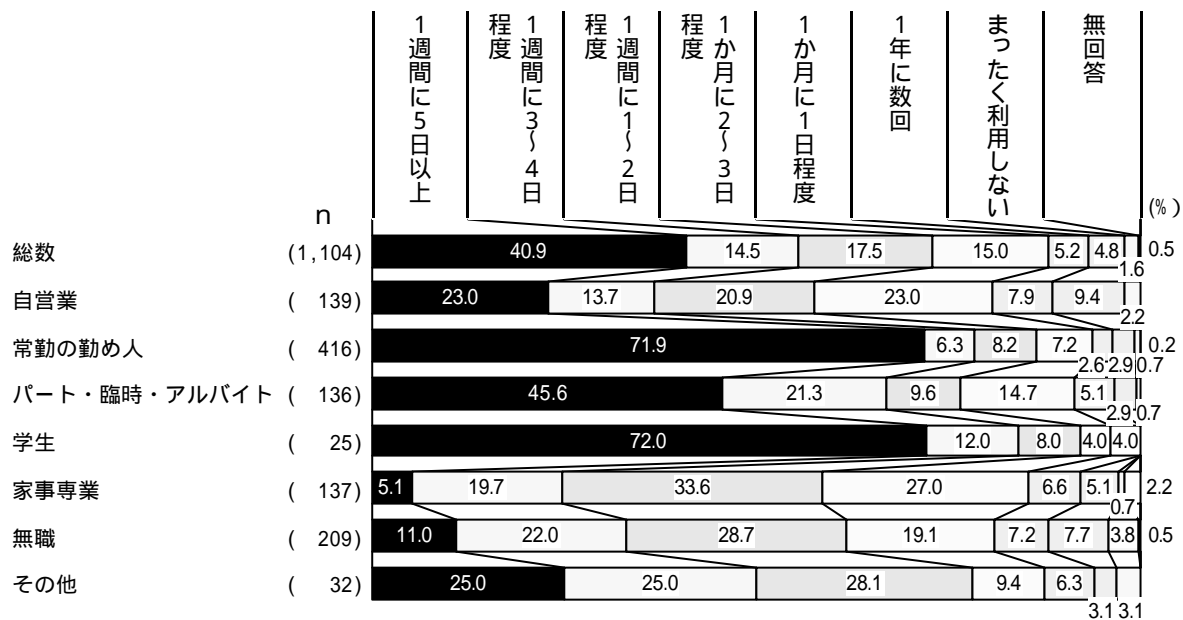
性・年代別でみると、「1週間に5日以上」は男性の20~40代で6割台だが、女性は20代(63.8%)のみが6割台となっている(図22-2)。

図22-2 公共交通機関の利用頻度 性別、性・年代別



職業別でみると、「1週間に5日以上」は常勤の勤め人（71.9%）、パート・臨時・アルバイト（45.6%）で高く、家事専業と無職では「1週間に1～2日程度」が最も高くなっている（図22-3）。

図22-3 公共交通機関の利用頻度 職業別





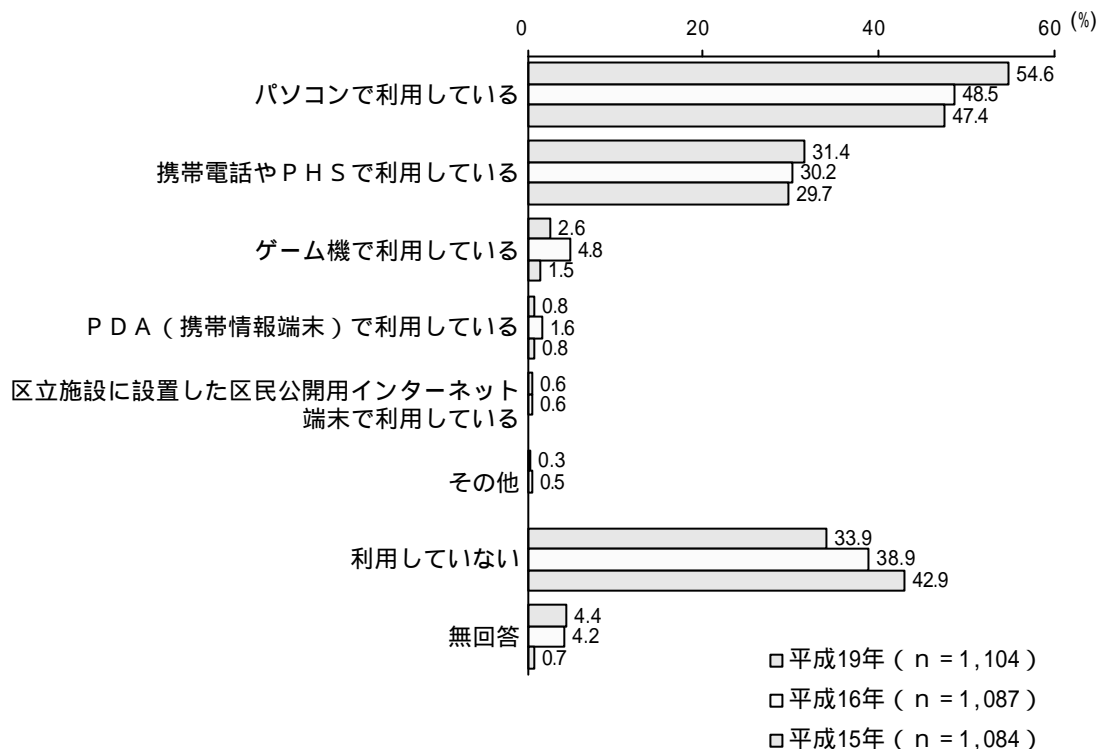
## 9 インターネットの利用状況

### (1) インターネットの利用状況

「パソコンで利用している」が5割半ばでトップ、一方、「利用していない」は3割以上

問25 現在、あなたは、仕事以外でインターネットを利用していますか。(いくつでも)

図23 - 1 インターネットの利用状況



平成15年は「区立施設に設置した区民公開用インターネット端末で利用している」、「その他」はなし

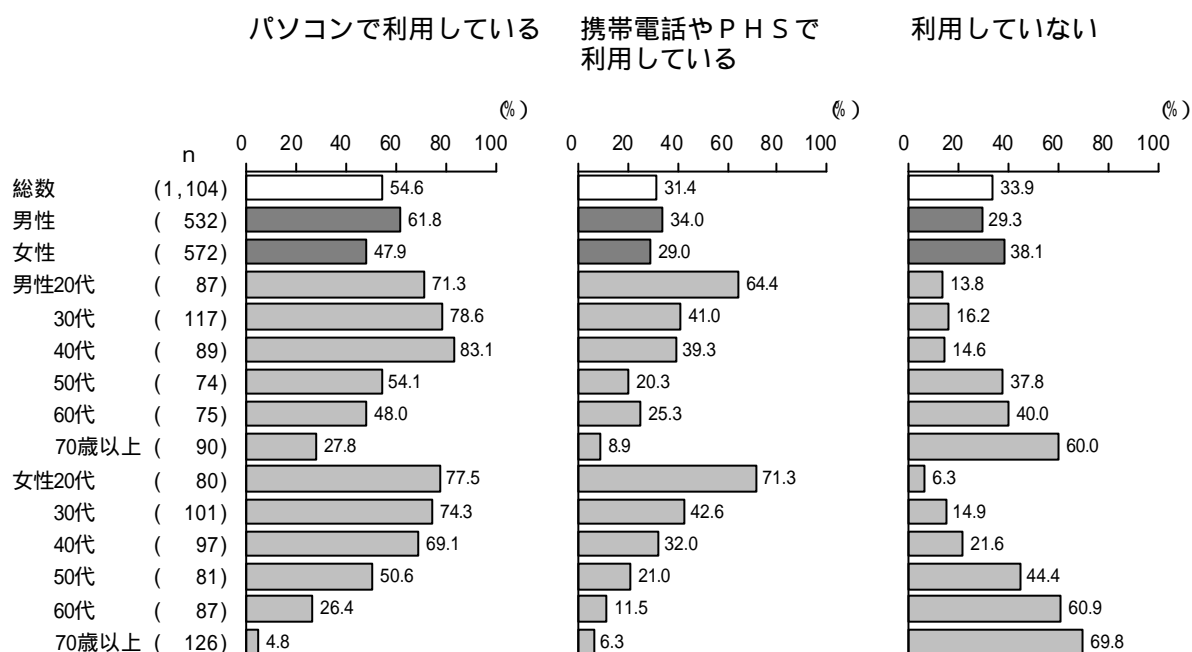
仕事以外のインターネット利用状況を聞いたところ、「パソコンで利用している」(54.6%)が5割半ばで最も高く、「携帯電話やPHSで利用している」(31.4%)が続いている。一方、「利用していない」は33.9%であり、全体の6割強が何らかの方法でインターネットを利用していることがわかる。

過去の結果(平成15年、平成16年)と比較すると、平成15年、平成16年についても「パソコンで利用している」と「携帯電話やPHSで利用している」が突出して高く、次いで「ゲーム機で利用している」、「PDA(携帯情報端末)で利用している」の第4位までについても順位は変わらない。さらに比率は「パソコンで利用している」と「携帯電話やPHSで利用している」で増加しており、逆に「利用していない」は減少している(図23-1)。

性別でみると、「パソコンで利用している」は男性（61.8%）が女性（47.9%）を14ポイント上回っている。

性・年代別でみると、「パソコンで利用している」は男女とも40代までの層で高くなっている。「携帯電話やPHSで利用している」は男女とも年代が下がるほど高い傾向にある。一方、「利用していない」は男女とも50代以上では年代が上がるほど高く、特に女性70歳以上（69.8%）はほぼ7割と高い。（図23 - 2）

図23 - 2 インターネットの利用状況 性別、性・年代別（主なもの）



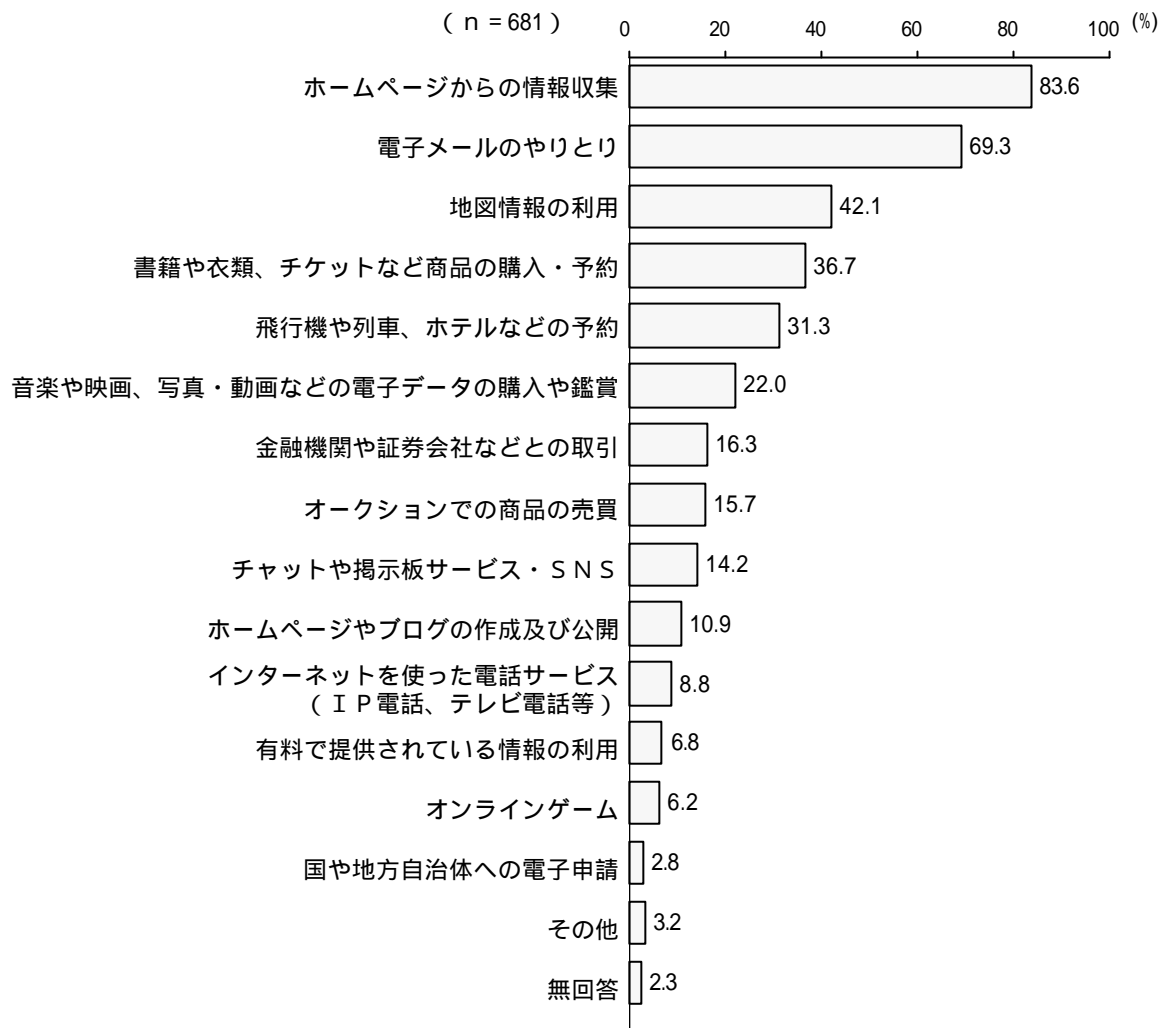
## ( 1 - 1 ) インターネットの利用目的

利用目的は、「ホームページからの情報収集」に続き、「電子メールのやりとり」が高い

【問25で「1」～「6」に をした方に伺います】

問25 - 1 インターネットを利用する目的は何ですか。(いくつでも )

図23 - 3 インターネットの利用目的

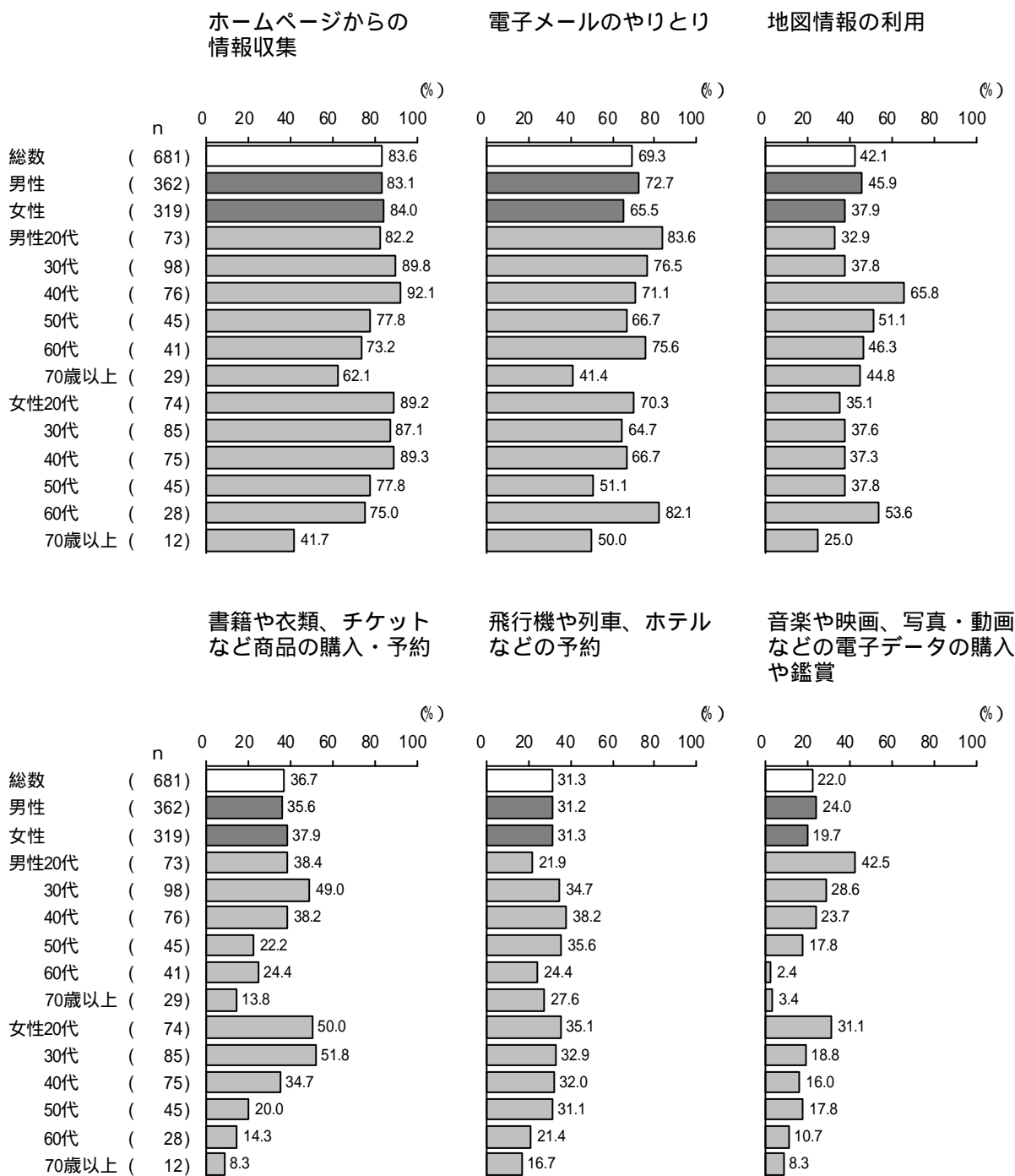


インターネット利用者に利用の目的を聞いたところ、「ホームページからの情報収集」(83.6%)に続いて「電子メールのやりとり」(69.3%)の2つが高く、以下、「地図情報の利用」(42.1%)、「書籍や衣類、チケットなど商品の購入・予約」(36.7%)、「飛行機や列車、ホテルなどの予約」(31.3%)と続いている(図23 - 3)。

性別でみると、「電子メールのやりとり」で7ポイント、「地図情報の利用」で8ポイント男性の方が高くなっている。

性・年代別でみると、「ホームページからの情報収集」は男女とも年代が上がるにつれて、低くなる傾向にある。「電子メールのやりとり」では男性20代（83.6%）と30代（76.5%）、女性20代（70.3%）が高くなっている。「地図情報の利用」は男性40代（65.8%）で高い（図23 - 4）

図23 - 4 インターネットの利用目的 性別、性・年代別（上位6項目）



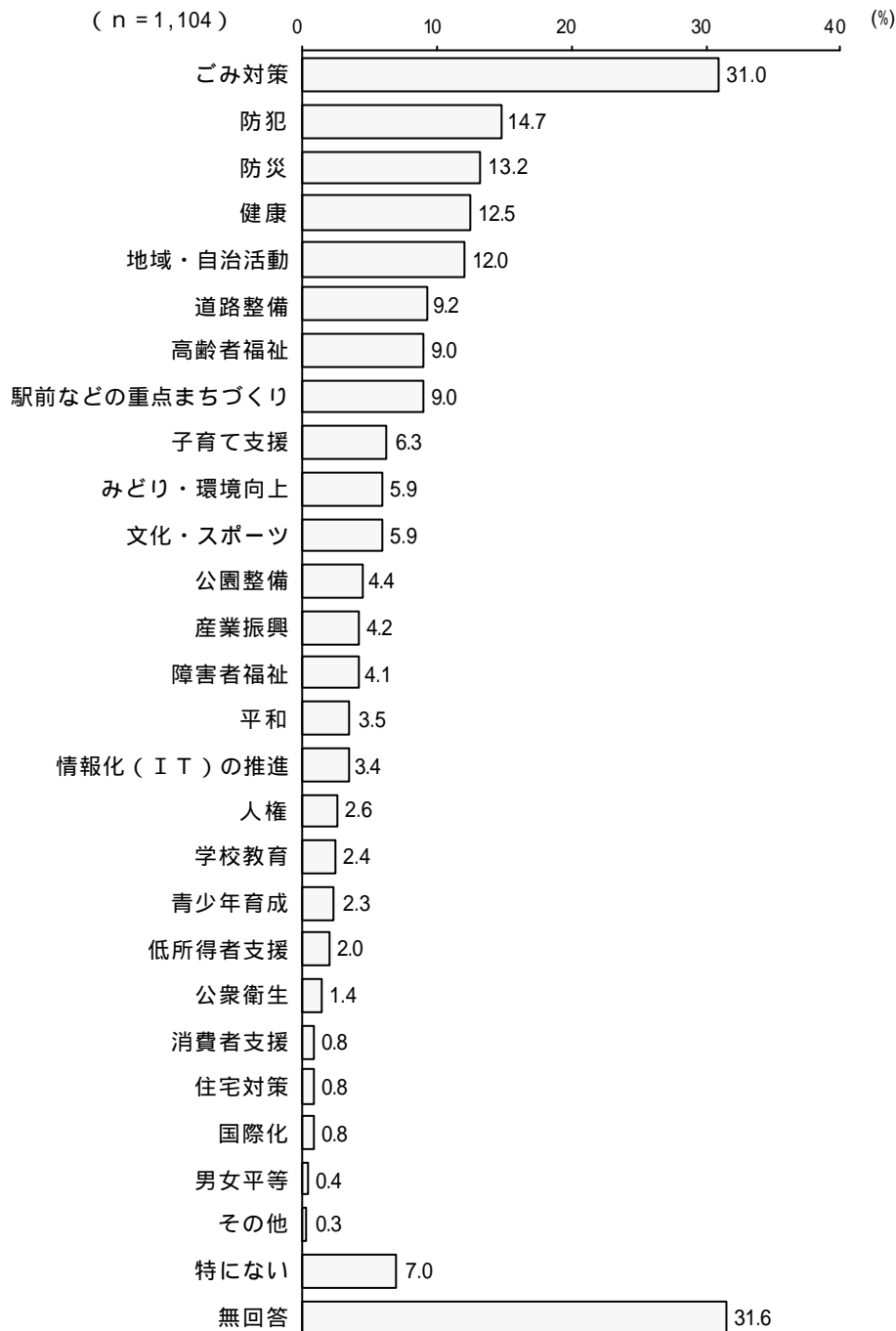
## 10 施策への要望

### (1) 区の施策への評価

区が力を入れていると評価できる施策は「ごみ対策」が3割以上でトップ

問26 つぎにあげる施策の中で、中野区が力を入れていると評価できるものを3つ以内で選び、番号を 内に記入してください。

図24 - 1 区の施策への評価

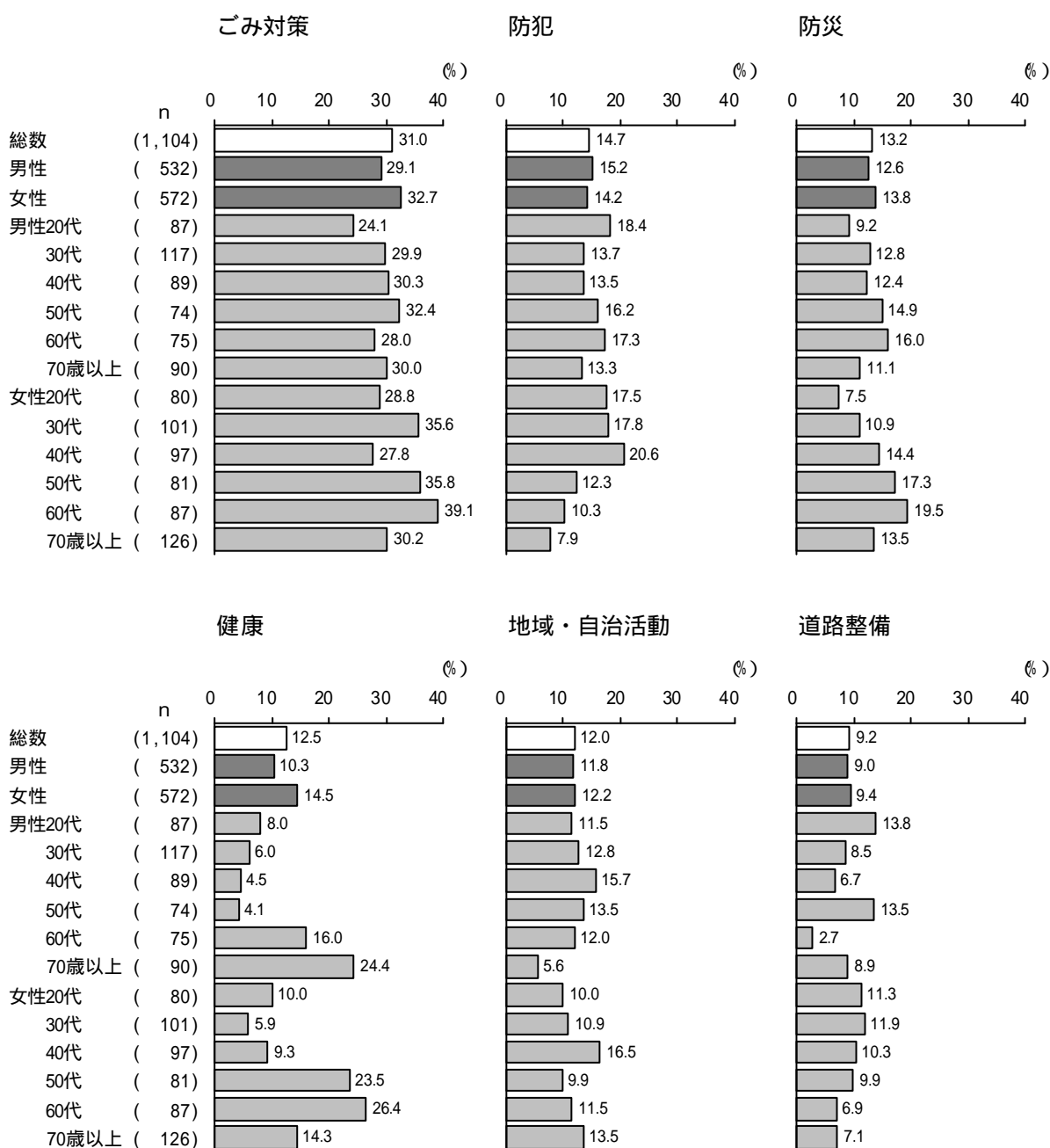


区が力を入れていると評価できる施策を聞いたところ、「ごみ対策」(31.0%)が3割以上と最も高く、「防犯」(14.7%)、「防災」(13.2%)、「健康」(12.5%)、「地域・自治活動」(12.0%)が1割前半となっている(図24 - 1)。

性別でみると、男女間で特に目立った違いはない。

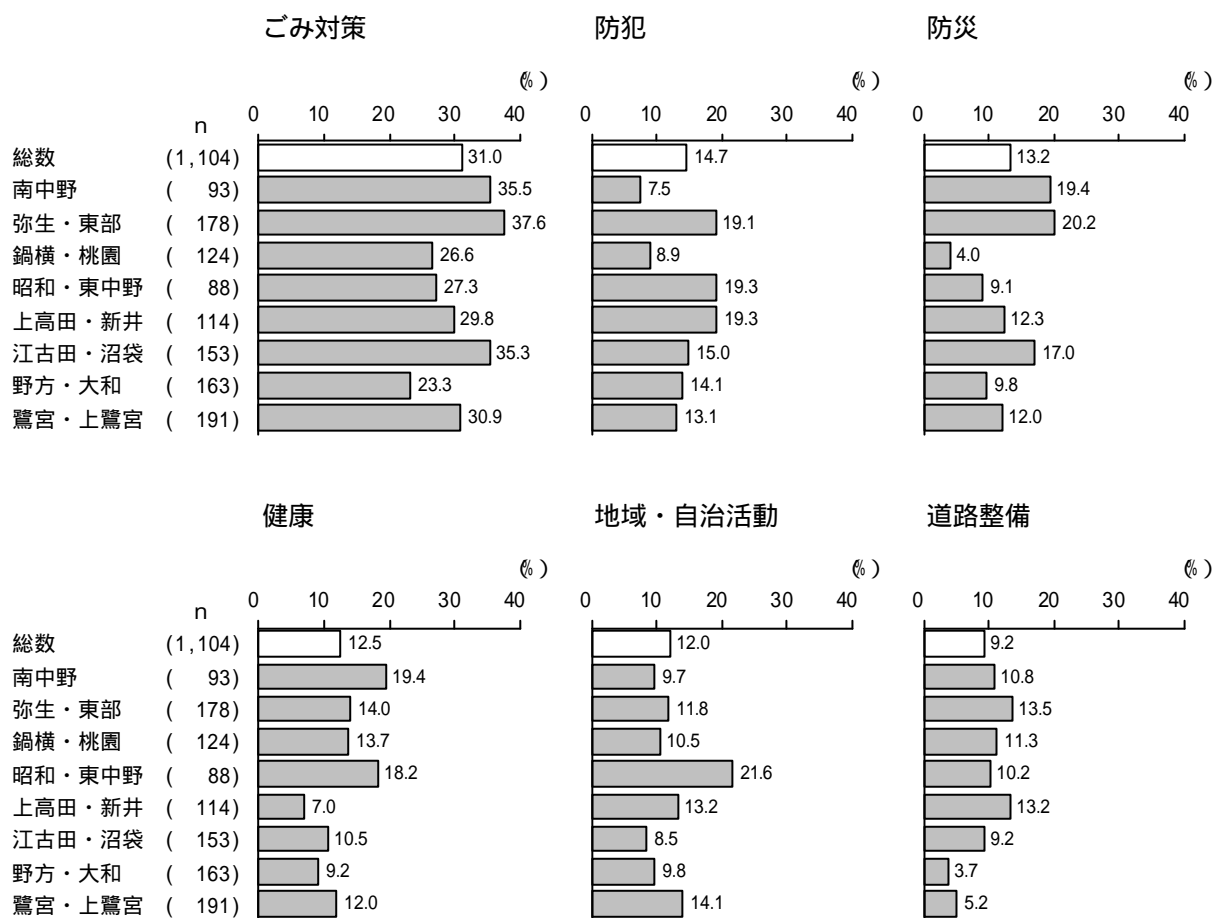
性・年代別でみると、「ごみ対策」は女性の30代（35.6%）、50代（35.8%）、60代（39.1%）で3割後半と比較的高い。「防犯」は女性40代（20.6%）が2割を超え高くなっているものの、女性70歳以上（7.9%）では1割未満と低い。「防災」は女性60代（19.5%）が最も高く、男女とも20代が1割未満と低い。「健康」は男性70歳以上（24.4%）と女性の50代（23.5%）、60代（26.4%）が2割台と高くなっている（図24-2）。

図24-2 区の施策への評価 性別、性・年代別（上位6項目）



地域別でみると、「ごみ対策」は弥生・東部（37.6%）で比較的高い。「防犯」は弥生・東部（19.1%）、昭和・東中野（19.3%）、上高田・新井（19.3%）で高く、「防災」は南中野（19.4%）、弥生・東部（20.2%）で2割前後と高い。「健康」は南中野（19.4%）と昭和・東中野（18.2%）、「地域・自治活動」は昭和・東中野（21.6%）で高くなっている。一方、割合が低く目立つのは、「防犯」の南中野（7.5%）と鍋横・桃園（8.9%）が1割未満、「防災」の鍋横・桃園（4.0%）、「健康」の上高田・新井（7.0%）、「道路整備」の野方・大和（3.7%）となっている（図24-3）。

図24-3 区の施策への評価 地域別（上位6項目）

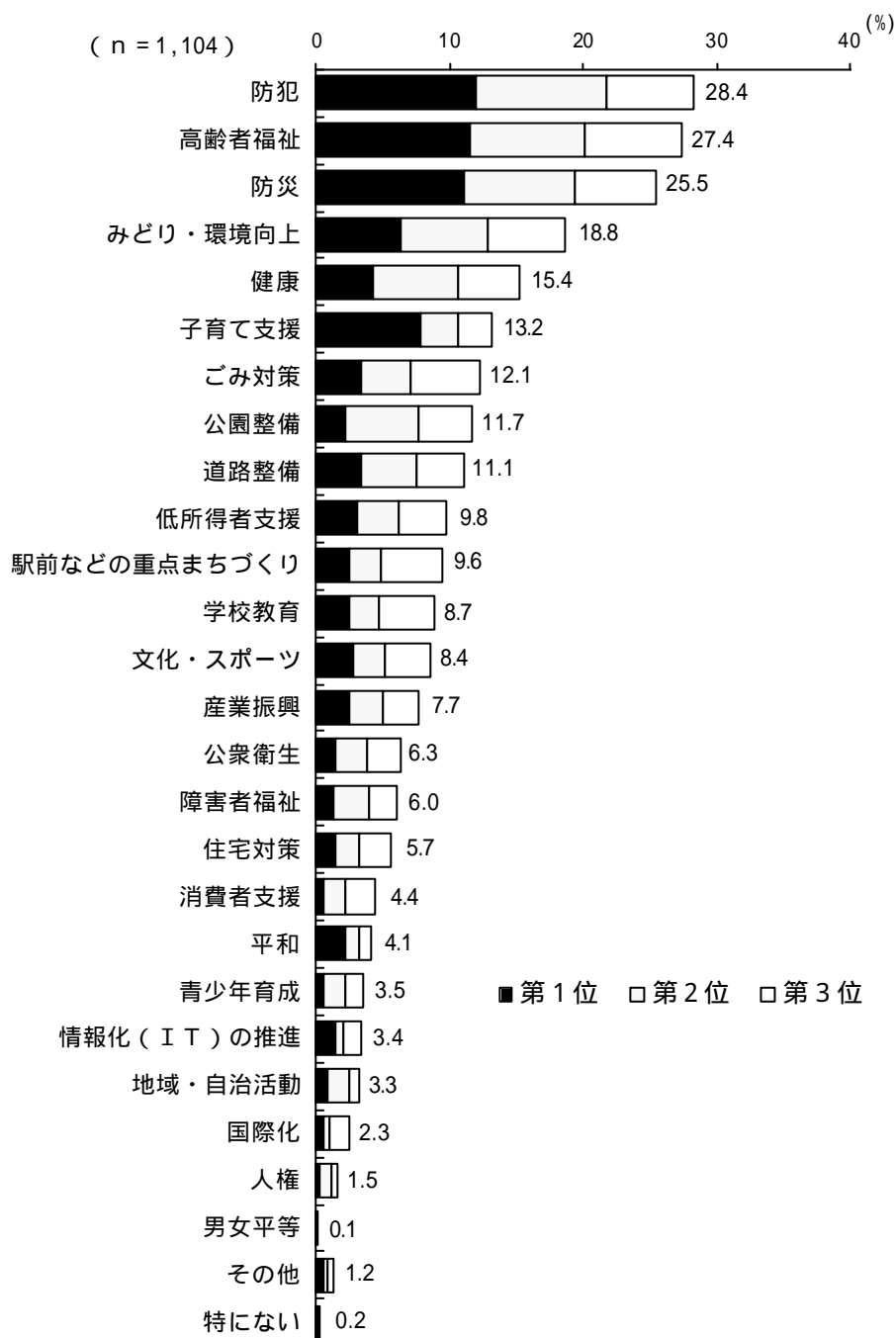


## (2) 区の施策への要望

「防犯」、「防災」は昨年に引き続きトップ3に入っている

問26 - 1 また、今後特に力をいれてほしいものを3つ以内で選び、第1位から第3位までの順位をつけて、それぞれの番号を 内に1つずつ記入してください。

図25 - 1 区の施策への要望



今後特に力をいれてほしい施策を、第1位から第3位の順位をつけてあげてもらったところ、その合計では「防犯」(28.4%)、「高齢者福祉」(27.4%)、「防災」(25.5%)が2割台後半で高くなっている。この3項目は第1位の部分でも1割以上を占めている。これに「みどり・環境向上」(18.8%)を加えた4項目を、“評価できる施策”の結果と比べると“要望”の高さが目立っている(図25 - 1)。



過去11年間の上位6位の推移をみると、2004年度にトップであった「防犯」が、昨年に引き続き今回も1位であり、一方、昨年は2位だった「防災」は今回3位である。また、4位だった「高齢者福祉」が2位となり、8位だった「みどり・環境」も4位となっている（表25 - 1、図25 - 2）。

表25 - 1 2007（平成19年度）までの区の施策への要望の時系列推移  
第1位～第3位の合計値による上位6項目

(%)

実施年度 ( )は回答者数	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
1997年 (1,062)	高齢者福祉 (50.4)	環境・公害対策 (28.7)	防災対策 (26.8)	公園・緑化推進 (21.8)	障害者福祉 (17.3)	住宅施策 (16.0)
1998年 (1,063)	高齢者福祉 (53.5)	環境・公害対策 (35.6)	防災対策 (21.1)	公園・緑化推進 (18.2)	省資源施策 (リサイクル等) (15.6)	障害者福祉 (15.2)
1999年 (1,057)	高齢者福祉 (44.9)	防災対策 (32.3)	環境・公害対策 (30.8)	住宅施策 (20.0)	省資源施策 (リサイクル等) (19.3)	公園・緑化推進 (19.0)
2000年 (1,067)	高齢者福祉 (47.1)	環境・公害対策 (36.3)	防災対策 (23.5)	省資源施策 (リサイクル等) (20.5)	学校教育 (17.3)	住宅施策 (16.1)
2001年 (1,122)	高齢者福祉 (45.3)	環境・公害対策 (32.0)	防災対策 (25.3)	省資源施策 (リサイクル等) (20.2)	学校教育 (15.3)	住宅施策 (15.3)
2002年 (1,070)	高齢者福祉 (49.2)	環境・公害対策 (31.6)	防災対策 (19.4)	学校教育 (17.5)	住宅施策 (15.4)	省資源施策 (リサイクル等) (12.7)
2003年 (1,084)	高齢者福祉 (38.4)	環境・公害対策 (29.6)	防災対策 (27.7)	住宅施策 (14.8)	公園・緑化推進 (14.7)	文化・スポーツ 施策 (13.7)
2004年 (1,087)	防犯 (43.6)	高齢者福祉 (25.5)	健康 (24.9)	防災 (20.2)	みどり・環境 向上 (17.6)	平和 (16.8)
2005年 (1,064)	防災 (34.5)	防犯 (34.1)	健康 (31.7)	高齢者福祉 (28.8)	子育て支援 (16.8)	ごみ対策 (15.6)
2006年 (1,012)	防犯 (39.5)	防災 (33.4)	健康 (28.0)	高齢者福祉 (27.1)	平和 (19.0)	子育て支援 (16.9)
2007年 (1,104)	防犯 (28.4)	高齢者福祉 (27.4)	防災 (25.5)	みどり・環境 向上 (18.8)	健康 (15.4)	子育て支援 (13.2)

図25 - 2 区の施策への要望 順位の変化

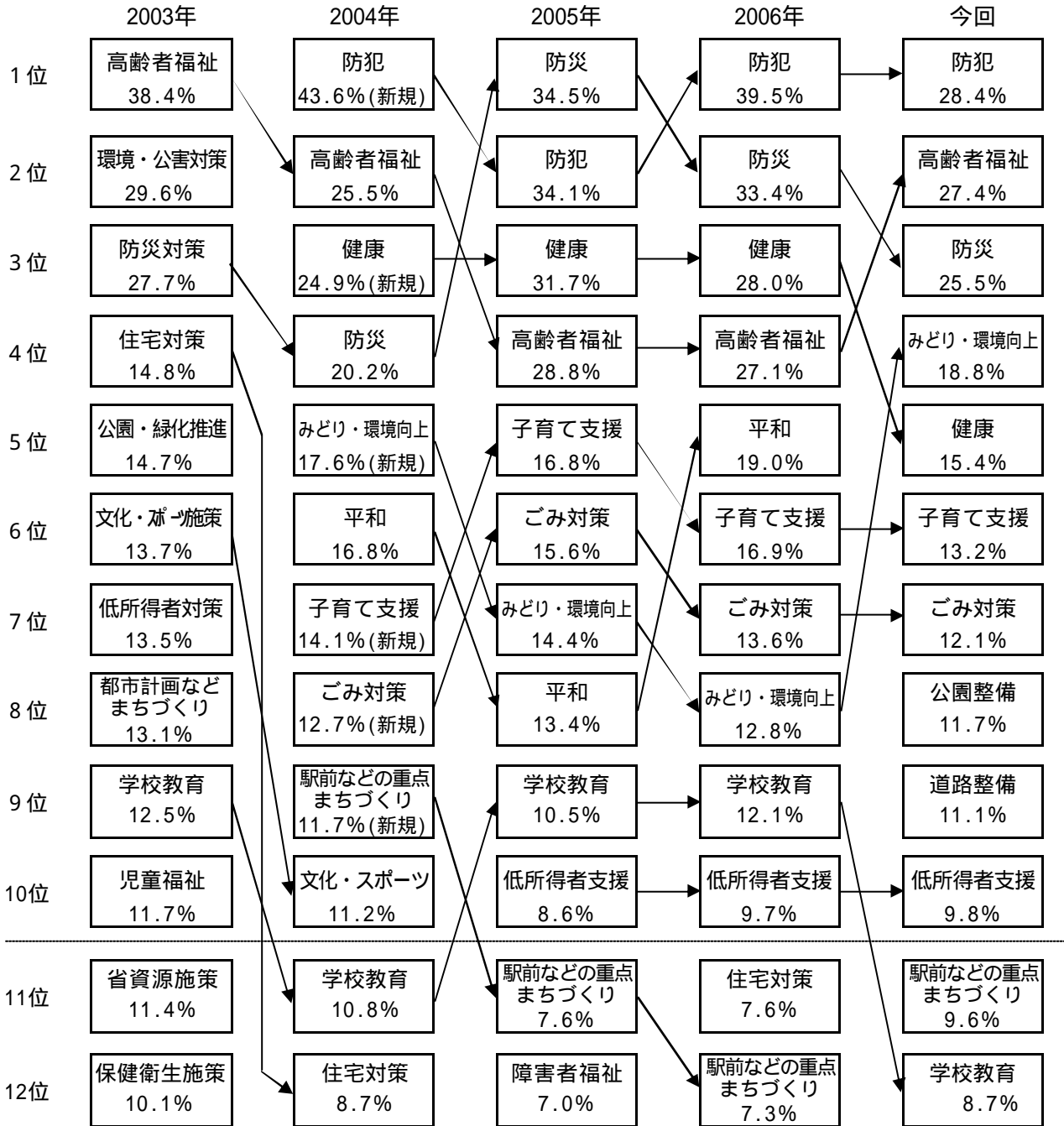


図25 - 3 - 区の施策への要望 割合の変化

<注> ( ) は2003年度までの旧名称

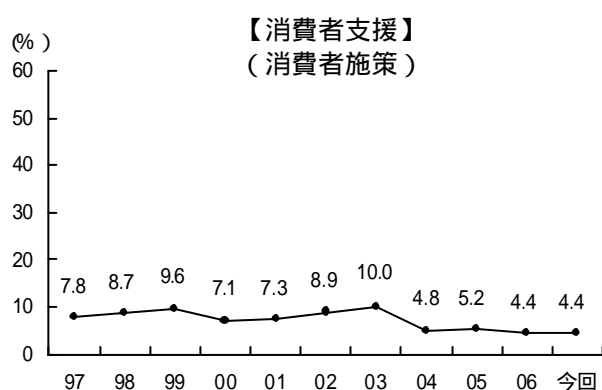
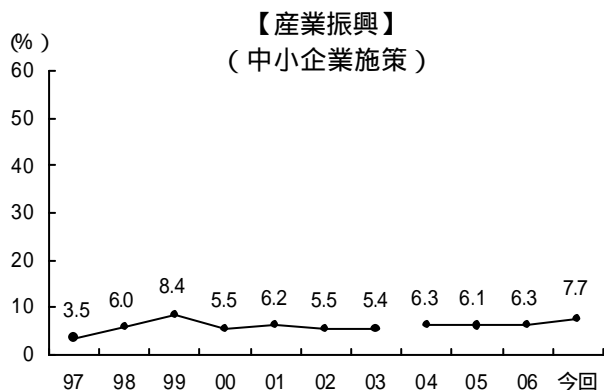
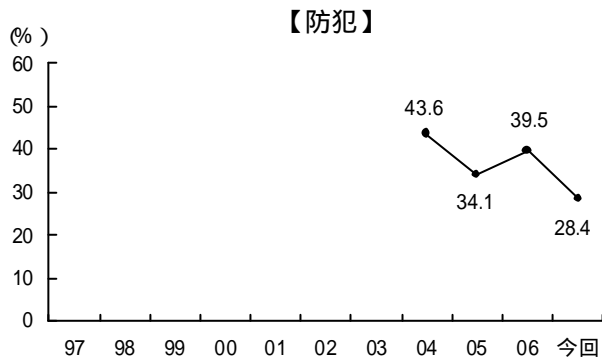
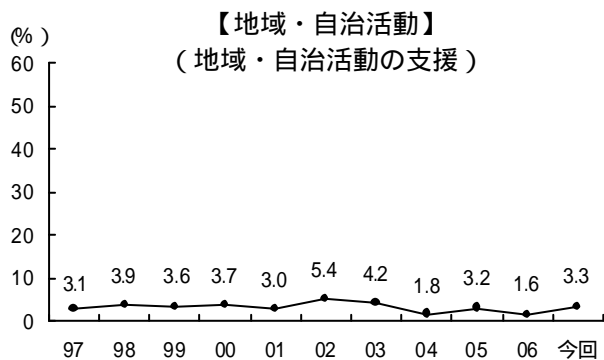
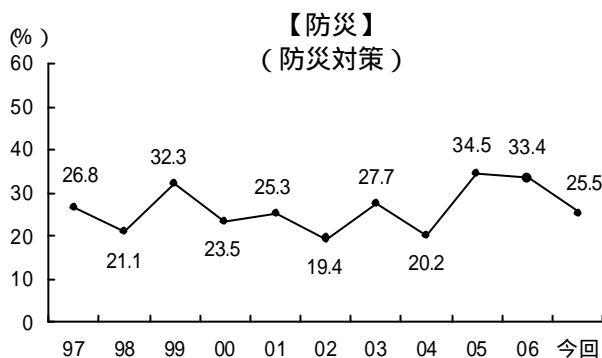
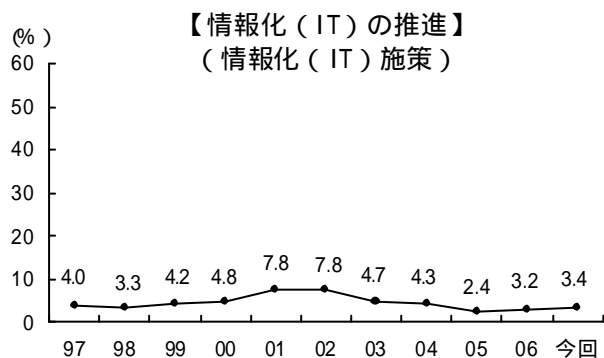
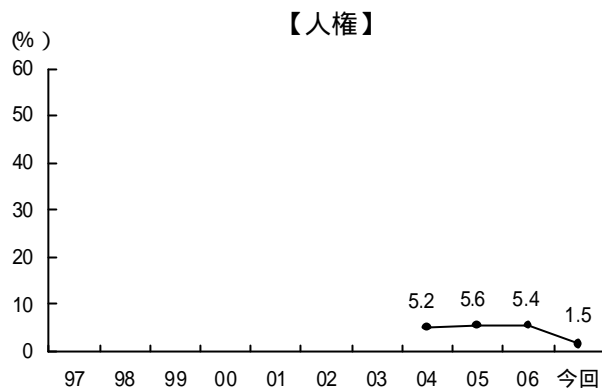
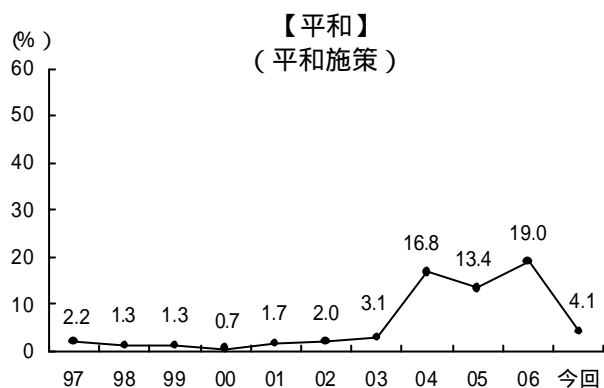


図25 - 3 - 区の施策への要望 割合の変化

<注> ( ) は2003年度までの旧名称

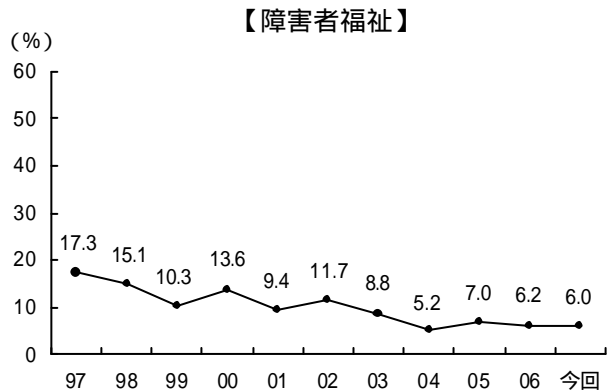
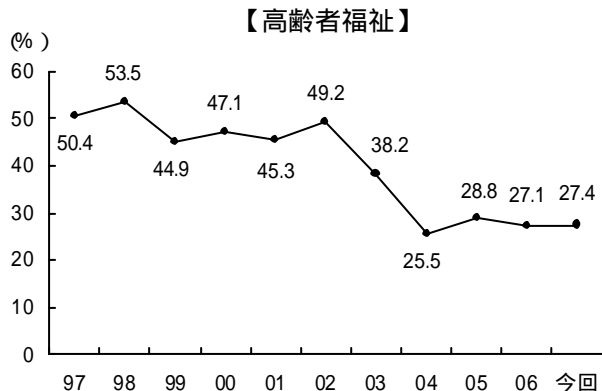
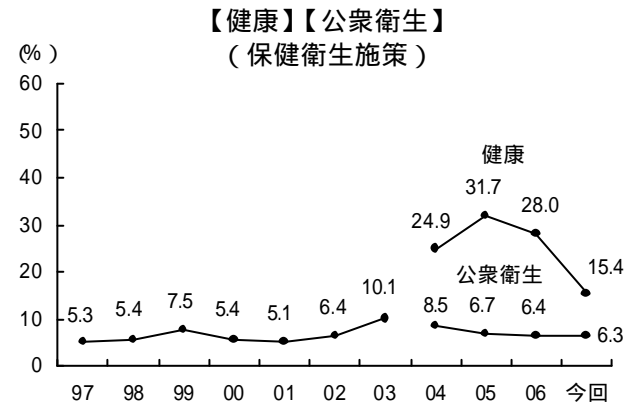
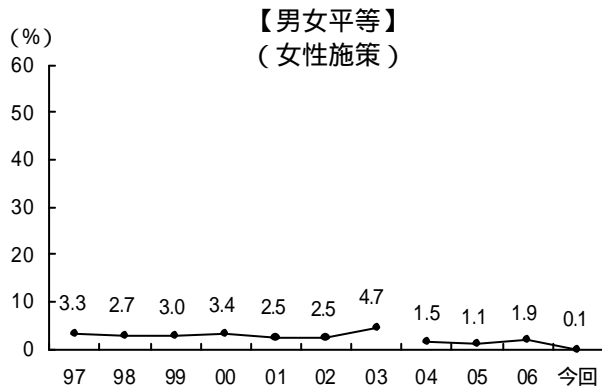
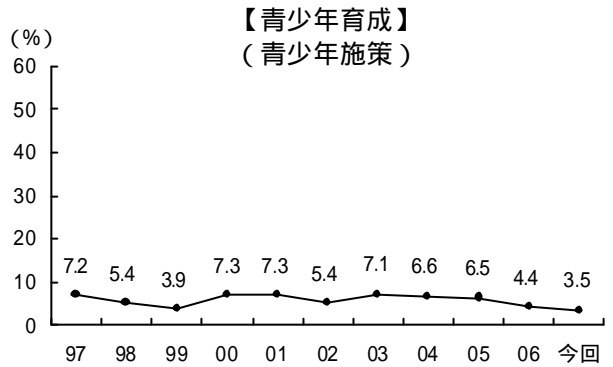
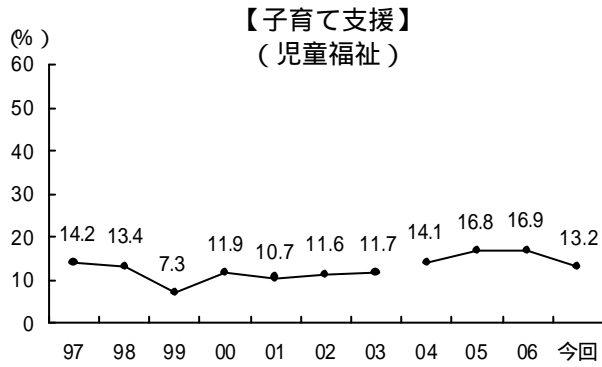
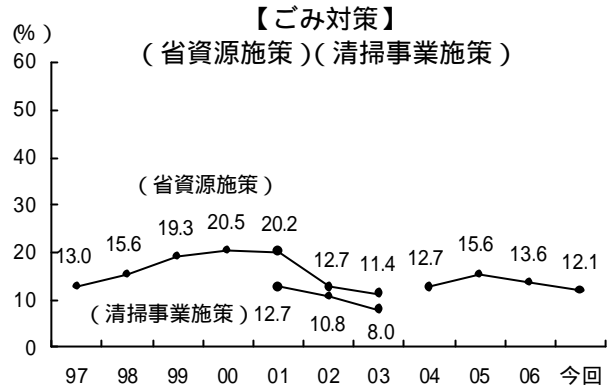
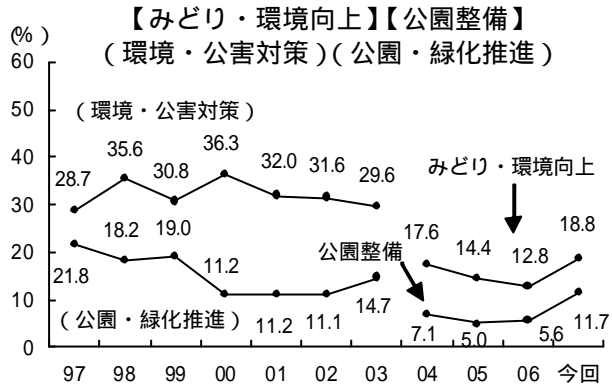
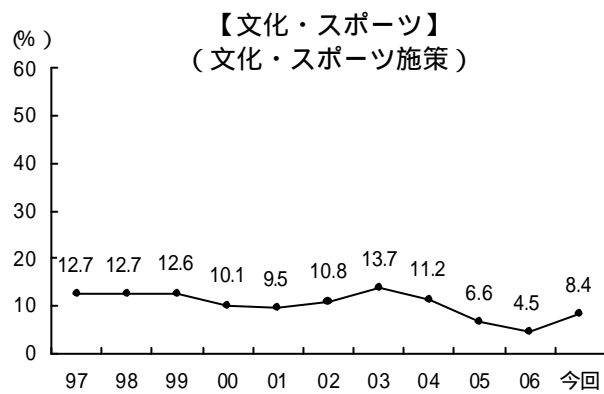
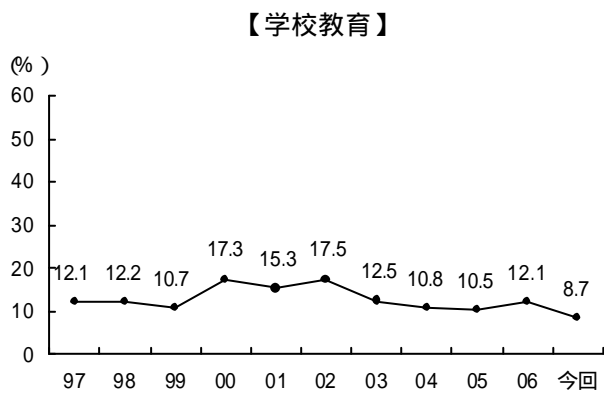
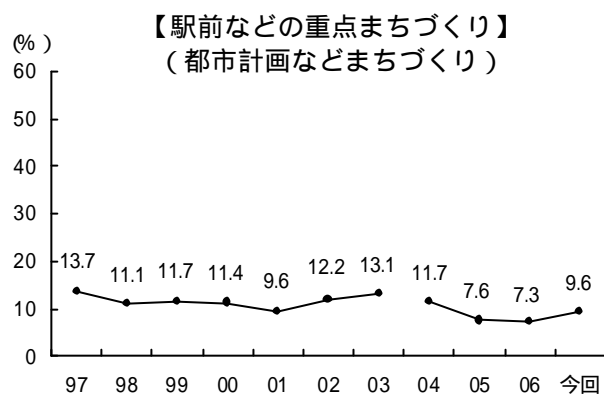
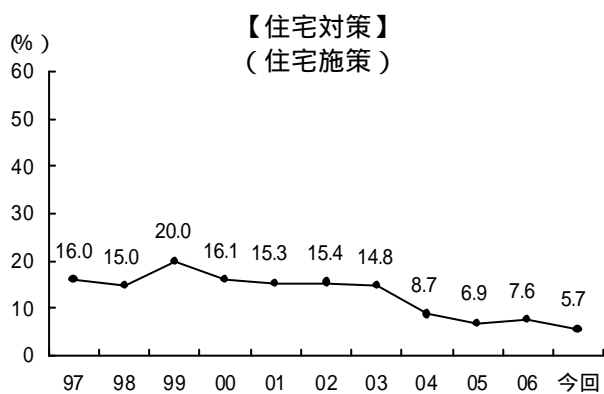
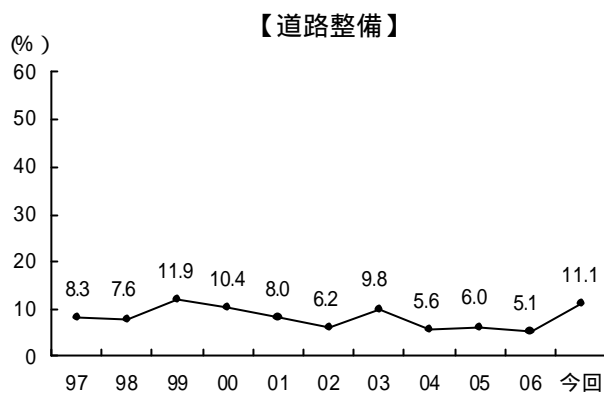
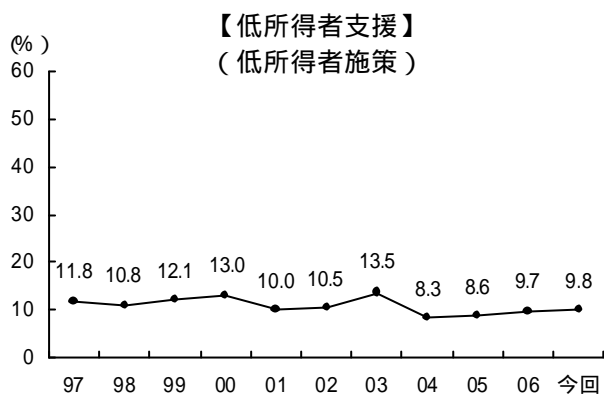


図25 - 3 - 区の施策への要望 割合の変化

<注> ( ) は2003年度までの旧名称



性別でみると、男女とも「防犯」、「防災」、「高齢者福祉」、「みどり・環境向上」、「子育て支援」が上位にあげられているが、男性では「道路整備」、女性では「健康」もそれぞれ上位にあげられている。

性・年代別でみると、各層で「防犯」、「防災」、「みどり・環境向上」が上位にあげられている。その他は男女とも各年代で共通する項目として、男女50代以上では「高齢者福祉」が1位となっており、男女20・30代では「子育て支援」が上位にあげられている。また、男性20・30代では「文化・スポーツ」が上位にあげられるなど、性・年代による要望の違いも見られる結果となっている。(表25-2)

表25-2 区の施策への要望 性別、性・年代別(上位6項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
全体 (n=1,104)	防犯 28.4%	高齢者福祉 27.4%	防災 25.5%	みどり・環境向上 18.8%	健康 15.4%	子育て支援 13.2%
男性 (n=532)	防犯 28.6%	防災/ 高齢者福祉 23.9%		みどり・環境向上 18.4%	子育て支援 13.2%	道路整備 12.6%
女性 (n=572)	高齢者福祉 30.8%	防犯 28.1%	防災 26.9%	健康 19.4%	みどり・環境向上 19.1%	子育て支援 13.3%
男性20代 (n=87)	防犯/ みどり・環境向上 21.8%		文化・スポーツ 19.5%	ごみ対策/ 子育て支援 16.1%		防災 14.9%
30代 (n=117)	防犯 30.8%	防災 27.4%	公園整備 24.8%	子育て支援 21.4%	ごみ対策 18.8%	みどり・環境向上/ 文化・スポーツ 16.2%
40代 (n=89)	防犯 30.3%	防災 23.6%	みどり・環境向上 21.3%	高齢者福祉 20.2%	駅前などの重点まちづくり 18.0%	子育て支援/ 学校教育 14.6%
50代 (n=74)	高齢者福祉 39.2%	防犯 32.4%	防災 29.7%	低所得者支援 16.2%	みどり・環境向上 14.9%	健康/ 駅前などの重点まちづくり 12.2%
60代 (n=75)	高齢者福祉 40.0%	防災 25.3%	防犯 21.3%	みどり・環境向上 18.7%	子育て支援/ 健康 14.7%	
70歳以上 (n=90)	高齢者福祉 36.7%	防犯 33.3%	防災 22.2%	道路整備 20.0%	みどり・環境向上 17.8%	健康 13.3%
女性20代 (n=80)	防災 32.5%	防犯 23.8%	みどり・環境向上/ 子育て支援/ 高齢者福祉 18.8%			健康 16.3%
30代 (n=101)	防犯 31.7%	みどり・環境向上 30.7%	子育て支援 28.7%	公園整備 24.8%	防災 23.8%	健康/ 学校教育 17.8%
40代 (n=97)	防犯 35.1%	防災 33.0%	みどり・環境向上 23.7%	高齢者福祉 22.7%	ごみ対策/ 健康 15.5%	
50代 (n=81)	高齢者福祉 35.8%	防災 32.1%	健康 25.9%	防犯 22.2%	ごみ対策 16.0%	みどり・環境向上 14.8%
60代 (n=87)	高齢者福祉 54.0%	防犯 29.9%	防災 23.0%	みどり・環境向上 19.5%	健康 18.4%	道路整備 14.9%
70歳以上 (n=126)	高齢者福祉 42.1%	防犯 25.4%	健康 22.2%	防災 20.6%	ごみ対策/ 低所得者支援 10.3%	

職業別でみると、順位に違いはあるが、おおむね全体と同様の項目が上位となっている。その中では、パート・臨時・アルバイトと無職層では「低所得者支援」が、家事専業では「学校教育」が6位までに入っている（表25 - 3）。

表25 - 3 区の施策への要望 職業別（上位6項目）

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
全体 (n=1,104)	防犯 28.4%	高齢者福祉 27.4%	防災 25.5%	みどり・環境向上 18.8%	健康 15.4%	子育て支援 13.2%
自営業 (n=139)	高齢者福祉 29.5%	防犯 26.6%	防災 23.7%	みどり・環境向上 18.0%	子育て支援 16.5%	ごみ対策/公園整備 13.7%
常勤の勤め人 (n=416)	防犯 30.5%	防災 26.0%	みどり・環境向上 22.4%	高齢者福祉 20.7%	子育て支援 16.3%	ごみ対策 15.1%
パート・臨時・アルバイト (n=136)	防犯/健康 24.3%		防災/高齢者福祉 22.8%		みどり・環境向上 19.1%	低所得者支援 18.4%
学生 (n=25)	防災 32.0%	みどり・環境向上 28.0%	防犯/子育て支援/ 文化・スポーツ 20.0%			ごみ対策/高齢者福祉 16.0%
家事専業 (n=137)	高齢者福祉 37.2%	防犯 32.1%	防災 31.4%	健康 20.4%	みどり・環境向上 19.0%	学校教育 14.6%
無職 (n=209)	高齢者福祉 36.4%	防犯 26.3%	防災 21.5%	健康 17.7%	低所得者支援 13.4%	みどり・環境向上/ 道路整備 12.4%
その他 (n=32)	防災/高齢者福祉 37.5%		防犯 31.3%	健康/ 公園整備 18.8%		みどり・環境向上/ 子育て支援 12.5%

地域別にみると、多くの地域では「防犯」「高齢者福祉」「防災」が3位までとなっているが、弥生・東部と昭和・東中野では「みどり・環境向上」が3位までの上位の要望となっている。その他、江古田・沼袋では「駅前などの重点まちづくり」が5位となるなど、地域ごとの違いも生じている(表25-4)。

表25-4 区の施策への要望 地域別(上位6項目)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位
全体 (n=1,104)	防犯 28.4%	高齢者福祉 27.4%	防災 25.5%	みどり・環境向上 18.8%	健康 15.4%	子育て支援 13.2%
南中野 (n=93)	防犯 37.6%	防災 36.6%	高齢者福祉 35.5%	健康 14.0%	みどり・環境向上/子育て支援/ 低所得者支援 12.9%	
弥生・東部 (n=178)	防犯 34.8%	防災 28.7%	みどり・環境向上 27.5%	高齢者福祉 26.4%	道路整備 15.7%	健康 14.6%
鍋横・桃園 (n=124)	高齢者福祉 24.2%	防犯 23.4%	防災 21.0%	みどり・環境向上 18.5%	健康 16.9%	道路整備 15.3%
昭和・東中野 (n=88)	防犯 30.7%	みどり・環境向上/ 公園整備 19.3%		ごみ対策 18.2%	防災 17.0%	子育て支援/ 高齢者福祉 15.9%
上高田・新井 (n=114)	高齢者福祉 28.1%	防犯 27.2%	防災 20.2%	みどり・環境向上 18.4%	道路整備 15.8%	健康 14.9%
江古田・沼袋 (n=153)	高齢者福祉 32.0%	防犯 26.8%	防災 26.1%	健康 19.0%	駅前などの重点まちづくり 15.7%	みどり・環境向上 15.0%
野方・大和 (n=163)	防災 28.2%	防犯 25.8%	高齢者福祉 25.2%	みどり・環境向上 22.7%	ごみ対策/ 子育て支援 17.2%	
鷺宮・上鷺宮 (n=191)	高齢者福祉 29.8%	防災/ 防犯 24.1%		子育て支援 17.3%	健康 14.1%	みどり・環境向上 13.1%

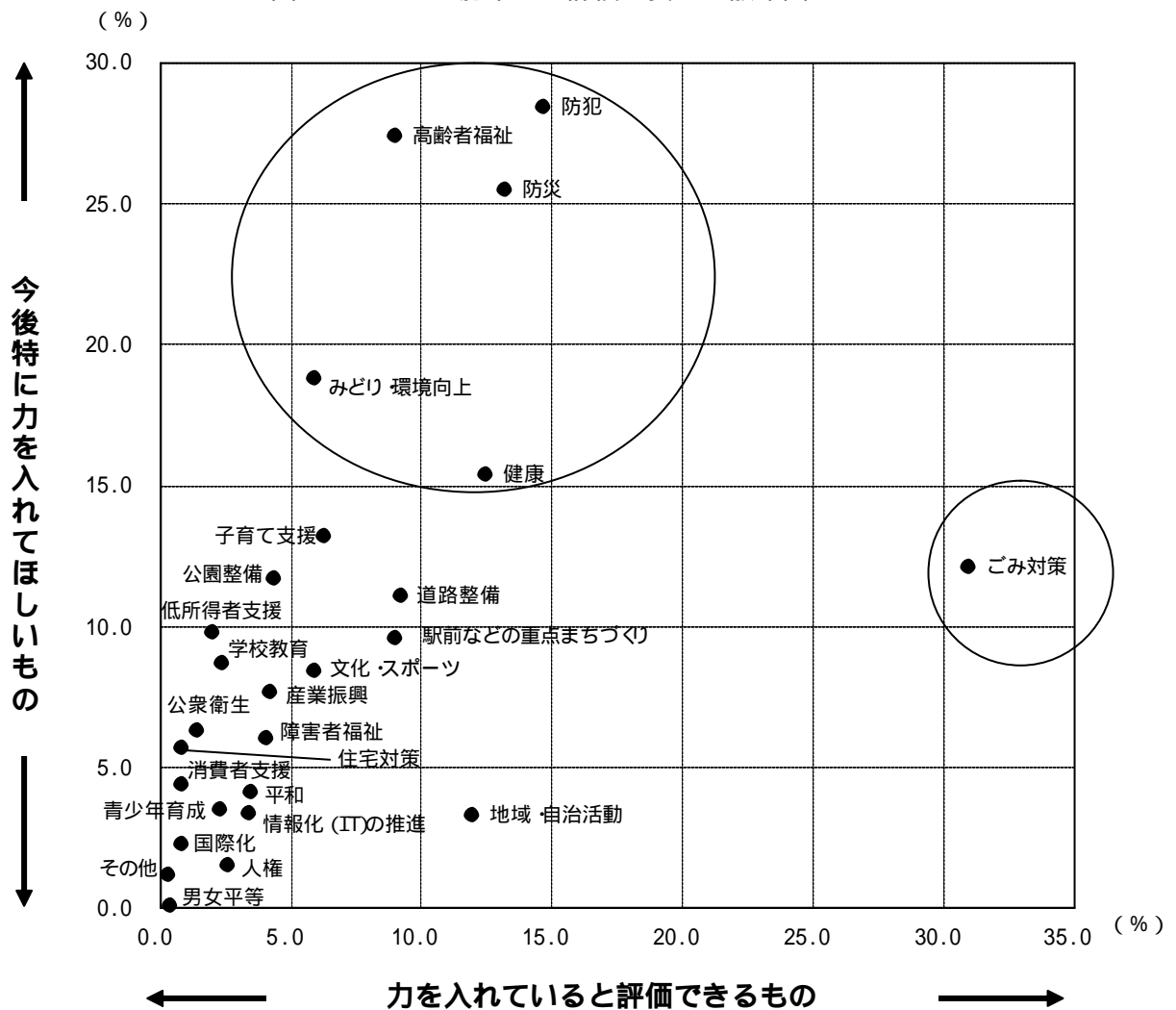


区の施策への“評価”と“要望”との関係を見るために、「力を入れていると評価できるもの」を横軸に、「今後特に力を入れてほしいもの」を縦軸にとり、25項目とその他の位置をあらわしたのが以下の図である。

この図では、左下に位置するほど「評価」が低く、「要望」も低い項目であることを、逆に図の右上に位置するものほど「評価」が高く、「要望」も高い項目を意味している。さらに、左上に位置するほど「評価」が低く、「要望」が高い項目であることを、逆に右下に位置するものほど「評価」が高く、「要望」が低いことを意味している。

それぞれのカテゴリー別にみると、左上には「防犯」や「高齢者福祉」、「防災」、「みどり・環境向上」、「健康」が位置づけられている。またこれらに準じて「子育て支援」、「公園整備」、「道路整備」も比較的要望の高いものとなっている。また、右下には、唯一「ごみ対策」が位置づけられている(図25 - 4)。

図25 - 4 区の施策への評価と要望 散布図



## 2007中野区区民意識調査

2008年3月発行 文書番号19中政区第1070号

発行 中野区政策室区民の声担当

東京都中野区中野4-8-1

電話 03-3228-8988 (直通)

委託先 株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

電話 03-3802-6724